

オーナーズマニュアル

***SUPERBIKE***

***1299*** PANIGALE



オーナーズマニュアル

日本人

***SUPERBIKE***

***1299*** PANIGALE

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管してください。

所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。

本取扱説明書は大切に保管してください。損傷や紛失した場合は、速やかに Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターに新しい取扱説明書をご請求ください。

ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は本書内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に記載する参照図と異なる場合があります。

本マニュアルの全部または一部を複製、配布することは禁じられています。すべての権利は Ducati モーターホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで（書面による）許可の申請をしなければなりません。

**楽しいライディングを！**

# 目次

はじめに	7
安全性ガイドライン	7
本取扱説明書で使用されている警告シンボルマーク	8
用途	9
ライダーの義務	10
ドライバーのトレーニング	12
服装	12
安全のための“ベストプラクティス”	13
燃料の補給	15
最大積載時の運転	16
危険物 - 注意事項	17
車両識別番号	19
エンジン識別番号	20

インストルメントパネル(ダッシュボード)	21
インストルメントパネル	21
本マニュアルで使用されている頭字語及び略語	26
技術用語	26
機能ボタン	29
パラメータ設定/表示	30
メイン機能	37
ライディングモード (Riding Mode)	44
DQS	49
DTC	51
EBC	58
DWC	63
ABS	70
メニュー1の機能 :	78
メニュー1: オドメーター (TOT)	79
メニュー1: トリップメーター 1 (TRIP 1)	81
メニュー1: トリップメーター 2 (TRIP 2)	83
メニュー1: 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)	85
メニュー1: ラップタイム (LAP time)	87
メニュー 1: リーンアングル (LEAN ANGLE)	91
メニュー2の機能	92

メニュー2: エンジンクーラント温度	93
メニュー2: 瞬間燃費	95
メニュー2: 平均燃費	96
メニュー2: 平均スピード	98
メニュー2: 走行時間	100
メニュー2: 外気温	101
サブ機能	103
時計 (CLOCK)	104
メンテナンス表示 (SERVICE)	105
OIL SERVICEゼロ表示	106
OIL SERVICE又はDESMO SERVICE表示	108
警告/アラーム	109
エラー表示	113
エラー表示の説明	115
サイドスタンドステータスの表示	120
設定メニュー	121
ライディングモード のパーソナライズ (Riding Mode)	124
ライディングモードのパーソナライズ: ABS調整	127
ライディングモードのパーソナライズ: ディスプレイの設定	130
ライディングモードのパーソナライズ: DQSの起動/解除	133
ライディングモードのパーソナライズ: DTCレベルの設定	136

ライディングモードのパーソナライズ: エンジンの調整	139
ライディングモードのパーソナライズ: EBCレベルの設定	142
ライディングモードのパーソナライズ: DWC レベルの設定	144
ライディングモードのパーソナライズ: デフォルト設定の回復	147
エンジン回転数のデジタル表示 (RPM)	149
バッテリー電圧	150
DDA	152
Pin Code	157
PIN CODEの変更	161
時計の調整	165
日付の調整	169
ディスプレイの背景の調整	174
LAP	176
単位の設定	182
タイヤのセットアップ	182
ディスプレイの背景色	198
ランプコントロール	200
イモビライザーシステム	205
キー	206
作業	207
キーの複製	208
PIN CODEによる車両ブロックの解除	209

運転時に必要なコマンド	213
コマンド類の配置	213
イグニッションスイッチ / ステアリングロック	214
左側スイッチ	215
クラッチコントロールレバー	216
右側スイッチ	217
スロットルグリップ	218
フロントブレーキレバー	219
リアブレーキペダル	220
ギアチェンジペダル	221
ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの配置調整	222

主要構成部品 / 装備	224
車両上の配置	224
燃料フィルタープラグ	225
シートロック	226
サイドスタンド	228
ステアリングダンパー	230
フロントフォーク調整	231
リアショックアブソーバー調節	233
車高の調整	235

運転のしかた	237
慣らし運転の方法	237
走行前の点検事項	240
エンジンの始動	243
車両の発進	245
ブレーキ操作	245
ABSシステム	245
車両の停止	247
パーキング	247
燃料の補給	248
付属アクセサリー	249

主な整備作業とメンテナンス	250
装飾部品の取り外し	250
サイドフェアリング	251
エアフィルターの交換	252
クーラントレベルの点検および補充	253
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検	255
ブレーキパッドの摩耗点検	257
バッテリーの充電	258
バッテリー充電および冬季の断熱	261
トランスミッションチェーン張力の点検	263
チェーンの潤滑	265
ハイ/ロービーム電球の交換	266

リアターンインジケータ	267
ヘッドランプの光軸調整	268
リアビューミラーの調整	270
チューブレスタイヤ	271
エンジンオイルレベル点検	273
スパークプラグの清掃と交換	275
車両の清掃	276
長期間の保管	277
重要注意事項	278

## メンテナンスプログラム 279

メンテナンスプログラム：ディーラーで行うメンテナンス	279
メンテナンスプログラム：お客様が行うメンテナンス	283

## テクニカルデータ 284

重量	284
寸法	285
給油	286
エンジン	288
タイミングシステム	289
性能データ	290
スパークプラグ	290

燃料供給	290
ブレーキ	290
トランスミッション	291
フレーム	292
ホイール	292
タイヤ	292
サスペンション	292
エキゾーストシステム	293
カラーバリエーション	293
エレクトリカルシステム	294

## 定期点検メモ 300

定期点検メモ	300
--------	-----

# はじめに

## 安全性ガイドライン

この度はDucati製品をお買い上げ頂きありがとうございます。貴方をドゥカティストの仲間としてお迎えられるのは、私達にとって何よりの喜びです。この新しいバイクでは日常的に利用されるだけではなく、ロングツーリングも楽しめることと思えます。Ducatiモーターホールディング社は、そのライディングが常に快適で楽しいものであるようお願いいたします。

お客様のモーターサイクルはDucatiモーターホールディング社の絶え間ない研究と開発から得られたものであり、メンテナンスプログラムに従い、オリジナルスペアパーツを使用することで品質を維持することが重要です。

本取扱説明書には簡単なメンテナンス作業の実施方法が記載されています。より重要なメンテナンス作業は、Ducatiオフィシャルディーラーまたはサービスセンターに配備されているディーラーマニュアルに記載されています。

あなた自身のため、また製品の安全性及び信頼性を保証するために、定期メンテナンスプログラムで行

うあらゆる作業は、Ducatiオフィシャルディーラーまたはサービスセンターにご依頼頂くよう強くお勧めいたします ページ 279 参照。

Ducatiオフィシャルディーラーの熟練したスタッフが、どのような整備作業にも対応できる専用器具と適切な工具、完璧な交換可能性、円滑な作動、ロングライフを保証するDucatiオリジナルパーツのみを使用し、最善のサービスを提供致します。

全てのDucatiモーターサイクルには保証書が付属しています。車両を競技やそれに類する目的に使用する場合は保証の対象外となります。車両や部品の一部でも交換したり、改造したり、変更した場合、保証は適用されません。メンテナンスが正しく行われなかったり、不十分だったり、オリジナルでない又はDucatiに承認されていないスペアパーツが使用されている場合、車両に損傷を招いたり、期待される性能が得られないばかりでなく、保証が適用されなくなることがあります。

お客様とその他の人の安全性は非常に重要です。Ducatiモーターホールディング社はお客様にモーターサイクルを責任をもって使用されることをお願いいたします。

お客様のモーターサイクルをはじめてご使用になる前に、本取扱説明書を最初から最後まで注意深くお読みになり、記載されているガイドラインに忠実に従ってください。正しい使用法とメンテナンスに關



するすべての情報を得ることができます。車両について不明な点、さらに詳しくお知りになりたい点がある場合は、ご購入先のオフィシャルディーラーにお問い合わせ下さい。

## 本取扱説明書で使用されている警告シンボルマーク

お客様又はその他の人に負わす可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

- モーターサイクルの安全性に関するラベル
- 注意シンボル、及び警告又は重要シンボルのうちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ。



### 警告

これらの注意事項が守られない場合、ライダーまたは他の人の重大なけがや死亡事故を招くおそれがあります。



### 重要

車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。



### 参考

作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は乗車位置から見た位置です。

## 用途

本モーターサイクルはアスファルト舗装、または平らで整備された路面状態の道路においてのみ使用してください。未舗装道路やオフロードでは本モーターサイクルを使用することはできません。



### 警告

オフロード走行に使用すると車両のコントロールを失い、車両の損傷、身体の傷害または死亡事故にいたるおそれがあります。



### 警告

本モーターサイクルでのトレーラーのけん引やサイドカーの取り付けは行わないでください。車両のコントロールを失い、事故を招くおそれがあります。

本モーターサイクルには、付属のキットを取り付けた状態でライダーが搭乗し、パッセンジャーを一人乗せることができます。付属キットは Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターでのみ取り付けることができます。



## 警告

ライダー、パッセンジャー、荷物、オプションパーツを含む車両総重量が 370kg を超えないようにしてください。



## 重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

## ライダーの義務

すべてのライダーは運転免許証を所持していなければなりません。



### 警告

無免許運転は違法です。こうした行為は法律で罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運転免許証を携帯していることを必ず確認してください。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運転をさせないようにしてください。

飲酒後や麻薬の使用後には運転しないでください。



### 警告

アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。こうした行為は法律で罰せられます。

薬の副作用に関する情報をかかりつけの医師から説明を受けていない場合は、運転前の薬の服用は避けてください。



### 警告

薬によっては眠気やその他の症状を引き起こすことがあります。運転者が思うようにモーターサイクルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれがあります。

保険の加入を義務付けている国があります。



### 警告

現地の法律をご確認ください。保険に加入し、保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大切に保管してください。

ドライバー及び必要に応じてパッセンジャーの安全を守るため、規格に適合したヘルメットの着用を法律で義務付けている国があります。



### 警告

現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。



### 警告

事故が起こったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。



### 警告

ヘルメットが安全規格に適合していること、十分な視野が取れていること、頭に合ったサイズであること、ご使用になる国の基準適合マークが貼付されていることを確認してください。道路交通法は各国で異なります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律を確認し、必ずそれに従ってください。

## ドライバーのトレーニング

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。



### 警告

ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因になるおそれがあります。

## 服装

モーターサイクル使用時の服装は安全性の面で非常に重要です。モーターサイクルは衝撃に対して車のように人を保護することができません。

適切な服装とは、ヘルメット、目を保護するゴーグル、手袋、ブーツ、長袖ジャケット、長ズボンです。

- ヘルメットは ページ 10 に記載されている要件を満たしていなければなりません。バイザーの付いていないモデルのヘルメットを使用する場合には、適切なメガネを使用してください。
- 手袋は革製又は摩耗に耐える素材のもので、5本指のものでなければなりません。

- 運転用ブーツ又は靴は、滑り止めソール及び足首のプロテクションが付いていなければなりません。
- ジャケット及びズボン、又は防護スーツは、革製又は摩耗に耐える素材のもので、非常に目立つ色でなければなりません。



### 重要

車両の部品に巻き込まれるおそれがあるような、ゆったりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてください。



### 重要

安全のために夏冬季節に関係なく適切な装備を着用してください。



### 重要

パッセンジャーも安全のため、適切な服を着用してください。

## 安全のための“ベストプラクティス”

使用前、使用中、使用后、人の安全性の確保に非常に重要な簡単な作業及びモーターサイクルの有効なメンテナンスを忘れずに行ってください。



### 重要

慣らし運転期間中は、本冊子の“使用規定”の章に記載されている指示に従ってください。この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。



### 警告

運転する上で必要なコマンド類について十分な知識がない状態で運転を行わないでください。

起動前には本取扱説明書に記載されている点検を行ってください（ページ 245参照）。



### 警告

これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーに重大な傷害を招くおそれがあります。



### 警告

エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジンを始動しないでください。排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。走行中は適切な姿勢を保ち、パッセンジャーも同様に正しい姿勢で乗車していることを確認してください。



### 重要

ライダーはハンドルから絶対に手を離さないでください。



### 重要

走行中、ライダーおよびパッセンジャーは必ず足をペダルに乗せてください。



### 重要

パッセンジャーは、パッセンジャーシートに取り付けられているベルトを常に両手で握ってください。



### 重要

私有地や駐車場からの出口、または高速道路の入口などでの交差点では十分に注意してください。



### 重要

相手から良く見えるように心がけ、前方車両の死角に入って走行することは避けてください。



### 重要

右左折や走行車線を変更する際は、常に十分な余裕を持ってターンインジケーターで意思表示を行ってください。



### 重要

モーターサイクルはサイドスタンドを使用し、他の邪魔にならないように駐車してください。路面の悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。モーターサイクルが転倒する危険がありません。



### 重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。



### 警告

エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。



### 警告

モーターサイクルの傍から離れる際は、必ずイグニッションキーを抜き取り、他人が勝手に使用できない場所にキーを保管してください。

## 燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で行います。

給油時には絶対に喫煙せず、火気を近づけないでください。

エンジン及びエキゾーストチューブに燃料がかからないように注意してください。

給油中、燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。

給油中、燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないようにし、目、皮膚、服に触れないようにしてください。



### 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。



### 警告

燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに水と石鹸で洗ってください。



### 警告

燃料は非常に引火しやすいため、間違っても衣服に付着した場合には着替えてください。



## 最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。

重量をバランス良く配分することは、通常の安全走行に必要な注意事項です。凸凹な道を走行したり、急な進路変更を必要とする際のトラブルを避けるために非常に重要です。



### 警告

最大許容重量を超えないようにしてください。また以下に記載されている車両への積載に関する注意事項をよくお読みください。

## 積載容量について



### 重要

積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位置に配置してください。



### 重要

車両が不安定になりますので、ステアリングヘッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむものを固定しないでください。



### 重要

バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。



### 重要

車両の可動部分の妨げになるおそれがありますので、フレームのすき間に絶対に物を挟まないでください。



### 警告

タイヤの空気圧が適正であり、コンディションが良好であることを確認してください。

ページ 271の“タイヤ”の章を参照してください。

## 危険物 - 注意事項 使用済みエンジンオイル



### 警告

使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があります。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場合、作業後すぐに水と石鹸で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

## ブレーキダスト

ブレーキユニットを清掃する際、圧縮空気のジェットやドライブラシは絶対に使用しないでください。

## ブレーキフルード



### 警告

車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手の届かないところに保管してください。



### 警告

ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

## クーラント

特定の条件下ではエンジンクーラントに含まれるエチレングリコールが発火し、その炎は目に見えません。エチレングリコールが発火するとその炎は目に見えず、重大なやけどの原因になることがあります。



### 警告

エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかからないようにしてください。

これらの部位は高温のためクーラントを発火させる危険があり、見えない炎で焦げてしまいます。クーラント(エチレングリコール)は皮膚の炎症の原因になることがあります。飲み込むと有毒です。子供の手の届かない場所に保管してください。エンジンがまだ熱いときにはラジエーターのキャップを取り外さないでください。クーラントは圧力がかかっており、やけどの原因になることがあります。クーリングファンは自動的に作動するので手や衣服を近づけないでください。

## バッテリー



### 警告

バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

## 車両識別番号



### 参考

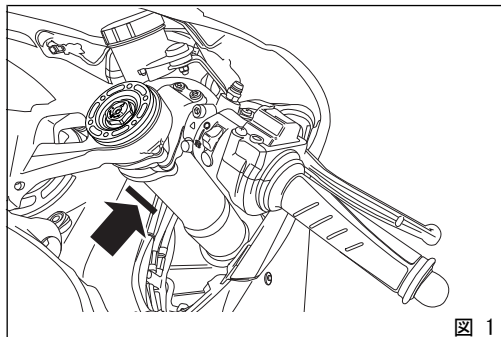
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

以下の欄に自身のモーターサイクルのフレーム番号を控えておくことをお勧めします。

---

フレーム 個

---



## エンジン識別番号



### 参考

これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

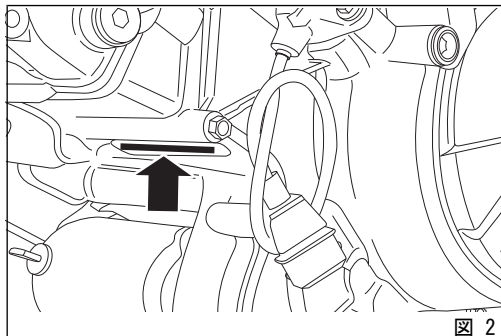
エンジン識別番号は車体フロント側、スターターモーターとジェネレーターカバー付近の水平シリンダー下側に記載されています。

以下の欄に自身のモーターサイクルのエンジン番号を控えておくことをお勧めします。

---

エンジン N.

---




# インストルメントパネル(ダッシュボード)

## インストルメントパネル

1) ディスプレイ

2) ニュートラルランプ N (緑)

ギアポジションがニュートラルの時に点灯します。

3) ハイビーム表示灯  (青)


ハイビーム点灯時およびフラッシュ起動時に点灯します。

4) エンジンオイル圧警告灯  (赤)


エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。“Key-ON”時に点灯しますが、エンジンを始動してから数秒後に消灯します。エンジン温度が高い時に、場合によっては数秒間点灯することがありますが、回転数が上がると消灯します。

### 重要

エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、エンジンが破損するおそれがありますので車両を使用しないでください。

5) リザーブ燃料警告灯  (琥珀色)

燃料レベルがリザーブ状態になると点灯します。点灯時点の燃料残量は約 5 リットルです。

6) ターンインジケータ表示灯  (緑)

ターンインジケータを ON にすると点滅します。

7) “エンジン診断 - E0BD” ランプ  (琥珀色)

エンジンに関連するエラーがあると点灯しますが、場合によってはエンジン停止につながることもあります。

8) 一般警告灯 (赤)

警告灯 (8a) はエンジン回転数が第一起点値に達すると点灯します。

警告灯 (8b) は回転数が第二起点値に達すると点灯します。

9) ABS ランプ (ABS) (琥珀色)

ABS システムの状態を表示します。

走行速度 5 km/h 以下			
ランプ OFF	低速点滅	高速点滅	点灯
ABS 機能作動中	初期化中であるか IMU コントロールユニットに異常が発生したため、ABS は起動しているがまだ作動していない	ABS システムの起動 / 解除または解除 / 起動の過渡状態	ABS コントロールユニット不具合のため、ABS は解除され作動していない
走行速度最大 5 km/h			
ランプ OFF	低速点滅	高速点滅	点灯
ABS 機能作動中	ABS は起動しているが、IMU コントロールユニットが異常を検知	ABS システムの起動 / 解除または解除 / 起動の過渡状態	ABS コントロールユニット不具合のため、ABS は解除され作動していない

10) DTC / DWC 介入 (琥珀色)

	DTC
介入なし	ランプ OFF
介入	ランプ ON

	DWC
介入なし	ランプ OFF
スロットルカット	ランプ ON

11) OVER REV / イモビライザー停止 / 盗難防止 (赤)

	Over rev
介入なし	ランプ OFF
第一起点値 (リミッターに到達前 N RPM)	ランプ ON
リミッター	ランプ ON 点滅



参考

エンジンコントロールユニットの各キャリブレーションで起点値とリミッター値の設定が異なる場合があります。

	イモビライザー
車両 KEY-ON	ランプ OFF
車両 KEY-OFF	ランプ ON 点滅
12 時間以上車両 KEY-OFF	ランプ OFF

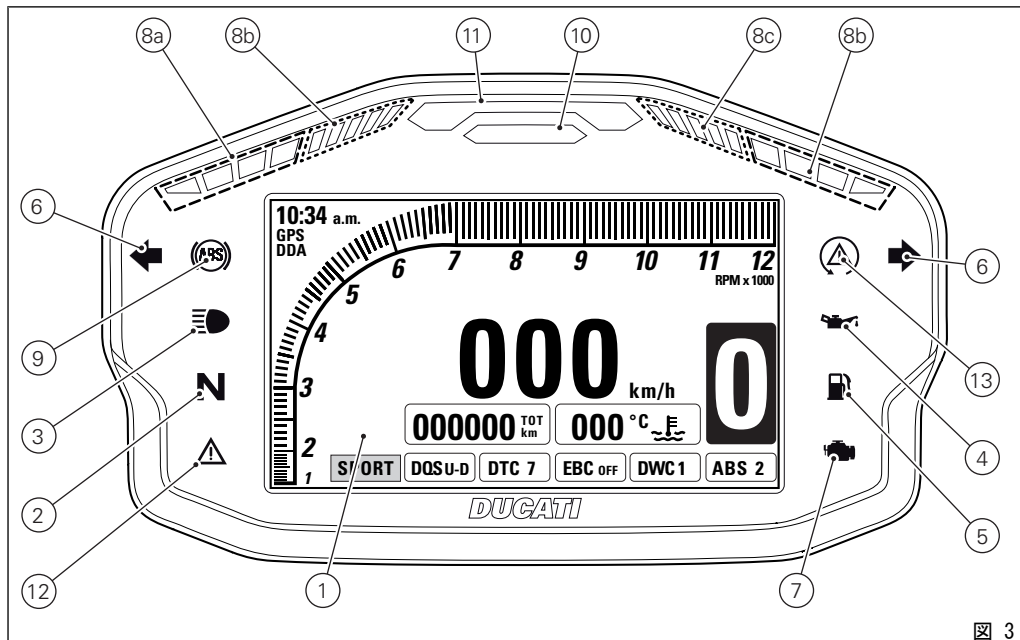
12) 一般的エラー警告灯 (琥珀色)  
車両に関連するエラーがあると点灯、エンジンコントロールユニットとは異なるコントロールユニットに起因するエラーに対して点灯します。



13) DTC / DWC ランプ（琥珀色）

DTC/DWC システムの起動または解除を表示します。

走行速度 5 km/h 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
DTC/DWC 機能作動中	初期化中または性能制限中により、DTC/DWC は起動しているがまだ作動していない	BBS コントロールユニット不具合のため、DTC/DWC は解除されているが作動していない
走行速度最大 5 km/h		
ランプ OFF	点滅	点灯
DTC/DWC 機能作動中	DTC/DWC は起動しているが、システムの異常により性能が制限されている	BBS コントロールユニット不具合のため、DTC/DWC は解除されているが作動していない



## 本マニュアルで使用されている頭字語及び略語

ABS  
アンチロックブレーキシステム

BBS  
ブラックボックスシステム

CAN  
コントローラーエリアネットワーク

DDA  
ドゥカティデータアナライザー

DSB  
インストルメントパネル

DTC  
ドゥカティトラクションコントロール

DQS  
ドゥカティクイックシフト

DWC  
ドゥカティウィリーコントロール

EBC  
ドゥカティエンジブレーキコントロール

ECU  
エンジンコントロールユニット

E-Lock  
エレクトロニックメインスイッチセット

IMU

慣性計測ユニット

## 技術用語

エンジブレーキコントロール (EBC)

エンジブレーキ調整システム (EBC) はアンチホッピングクラッチと連動して機能し、急激なシフトダウンの際のリアホイールのブロックを防止します。システムがホイールのスリップを検知すると、エンジン制御装置に信号を送り、リアホイールのスピードが車両スピードと同じになるよう回転数を若干増加させます。

3 レベルのオペレーションシステムを装備し、EBC は 3 つのライディングモードに組み込まれています。

## ライディングモード

1299 Panigale ではライダーは 3 つの初期設定 (ライディングモード) からライディングスタイルや道路状況に最も適したモードを選択することができます。ライディングモードでエンジン出力 (パワーモード)、ABS、DTC、DQS、EBC、DWC の各介入レベル、インストルメントパネルの表示を瞬時に変更することができます。

1299 Panigale で使用できる設定は、RACE、SPORT、WET です。ライダーはそれぞれのライディングモードの初期設定を自由に変更することができます。

## パワーモード

パワーモードは、ライダー自身のライディングスタイルと路面状況に合わせて出力レベルとパワーデリバリーを選択できるエンジンマッピングです。1299 Panigale には 3 つのパワーモードがあり、それぞれがライディングモードと連動しています。

- 120 HP、穏やかなパワーデリバリー
- 195 HP、穏やかなパワーデリバリー
- 195 HP、瞬間的なパワーデリバリー

## ライドバイワイヤ (RbW)

ライドバイワイヤシステムはスロットル開閉をコントロールする電子制御装置です。スロットルグリップとスロットルボディが機械的に接続されておらず、エンジンコントロールユニットがスロットルの開度をコントロールし、出力を調整します。

ライドバイワイヤにより選択したライディングモード（パワーモード）に合わせて出力とパワーデリバリーを変更することが可能になります。また、エンジンブレーキ (EBC) のタイムリーな管理が可能になるため、リアホイールのスリップ制御 (DTC) に貢献します。

## ドウカティトラクションコントロール (DTC)

ドウカティトラクションコントロール (DTC) はリアホイールのスリップ制御を行い、8 つの介入レベルを基に機能します。各レベルでリアホイールのスリップに対して異なる許容値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。

レベル 8 はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動します。一方熟練ライダー向けのレベル 1 は許容値が高く設定されており、システムの介入が最小限に抑えられます。

## アンチロックブレーキシステム (ABS) 9MP

1299 Panigale が搭載する ABS 9ME は、直立走行中に車輪がロックするのを防止するセーフティシステムです。さらに、1299 Panigale が搭載する ABS は「コーナリング」機能を備えており、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。ブレーキング時の短い制動距離に加えて、可能な限り高い安定性を確保するために、1299 Panigale の ABS は後輪のリフトアップ制御、前後輪連動ブレーキ（フロントからリアへ）を実行します。

ABS 9MP は主にスポーツドライブ用に設定されており、3 つの介入レベルがそれぞれのライディングモードと連動しています。RACE モードでは、システム

はフロントディスクにのみ作用し、サーキット走行においてさらに高いパフォーマンスを保証します。

### ドゥカティクイックシフト (DQS)

ドゥカティクイックシフト (DQS) はレースで使用されるギアシフト電子制御システムです。スロットルオープン状態の加速中に、クラッチを使用せずギアを挿入することができます。これにより 100 分の 1 秒を争うレースでラップタイムを縮めることが可能になります。

### ドゥカティウィリーコントロール (DWC)

ドゥカティウィリーコントロール (DWC) はウィリー制御を行い、8 つの介入レベルを基に機能します。各レベルでウィリーの制御に対して異なる値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル 8 ではウィリーの発生を防止し、ウィリーが発生するとそれを制御するために最大限の介入を行います。熟練ライダー専用のレベル 1 ではウィリー防止を最小限にとどめ、ウィリーが発生した場合の制御も最小限に抑えられます。

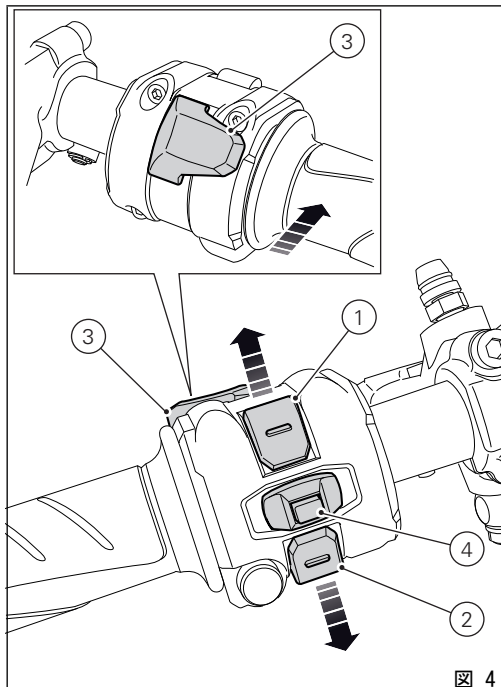
### ドゥカティデータアナライザー (DDA+)

DDA+ はドゥカティデータアナライザーの最新モデルで、GPS 信号を読み取り “バーチャルフィニッシュ

ライン” を作成します。システムはライダーの操作なしに自動的にラップの終了を検知し、ストップウォッチ測定を中断します。GPS 信号を使用することでサーキットのマップ上に走行軌跡だけでなく、スロットル開度、スピード、エンジン回転数、ギア、エンジン温度、DTC 介入といった車両の主要パラメーターを表示することができます。

## 機能ボタン

- 1) コントロールボタンUP “ ▲ ”  
インストルメントパネル” ▲ ”のパラメーター設定および表示に使用するボタン。
- 2) コントロールボタンDOWN “ ▼ ”  
インストルメントパネル” ▼ ”のパラメーター設定および表示に使用するボタン。
- 3) フラッシャーランプボタン  
フラッシャーランプ機能ボタンはLAP機能に使用する場合があります。
- 4) ターンインジケータ解除ボタン  
このボタンは通常ターンインジケータの解除機能に使用しますが、メニュー決定、ライディングモードの選択にも使用します。このボタンを左側に3秒間押し、”ハザード”機能が起動します(すべてのターンインジケータランプ点滅)。



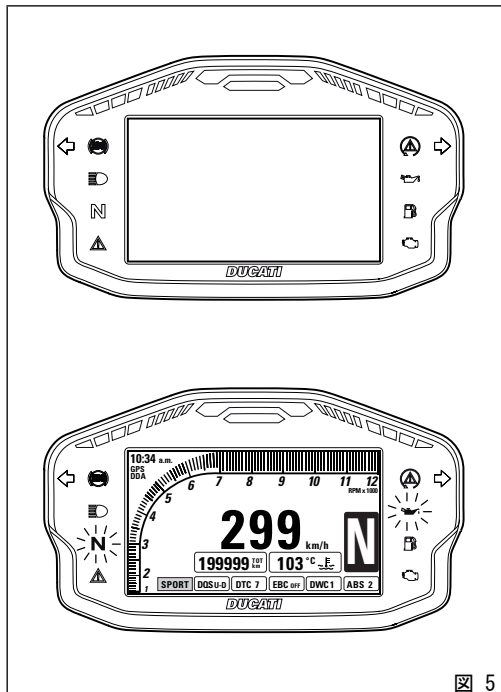
## パラメータ設定/表示

起動時、インストルメントパネルに DUCATI のロゴが表示され、LED ランプが 2 ステップで点灯します（「初期点検」）。

点検終了時、インストルメントパネルには ROAD または TRACK モードのメインスクリーンが表示されま  
す（Key-OFF 前に使用していた設定モードにより異なる）。

キーが正しく認識され、エンジン始動を許可する設定が確認されると、インストルメントパネルの初期化が以下のように実行されます。

- 「初期点検」として警告灯類の点検、ディスプレイの点検
- 「スタンダードスクリーン」表示



初期点検中に車両速度が 10 km/h (実速度) を超えると、インストルメントパネルは以下の点検を中断します。

- ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードスクリーンに表示します。
- 警告灯の点検。その時点で実際に起動しているもののみ点灯します。



### 参考

キーを OFF の位置に回しても車両への電源供給は直ちに停止されず、70 秒後に停止されます。

メインスクリーンのレイアウトには次の 2 種類があります。ROAD、TRACK  
メイン画面には以下の情報が表示されます。

- 1) エンジン回転数棒グラフ
- 2) 車両スピード
- 3) ギア
- 4) メニュー 1 (オドメーター、トリップメーター 1、トリップメーター 2、燃料リザーブトリップメーター、ラップタイム - 起動時のみ)
- 5) メニュー 2 (クーラント温度、瞬間燃費、平均燃費、平均速度、走行時間、外気温)
- 6) 設定ライディングモード (Riding Mode)

- 7) 起動している DTC レベル、または DTC 解除の表示
- 8) 起動している EBC レベル、または EBC 解除の表示
- 9) DWC 起動、または DWC 解除の表示
- 10) 起動している ABS レベル、または ABS 解除の表示
- 11) DDA 起動の表示
- 12) GPS 受信の表示 (搭載されている場合のみ)
- 13) 時計
- 14) SERVICE 表示 (起動している場合のみ) - 注意 / 警告表示 (ある場合のみ) - エラー表示 (ある場合のみ)
- 15) DQS シフトアップ機能が ON の表示 (U)、DQS シフトアップおよびシフトダウン機能が ON の表示 (U/D)、または DQS 解除の表示
- 16) サイドスタンド表示 - 前輪のみ ABS 起動の表示





メニュー 1 の情報を表示するにはボタン (1) を押します。

ROAD モードおよび TRACK モードで順番に表示される情報は以下の通りです。

- オドメーター (TOT)
- TRIP 1
- TRIP 2
- 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL - 起動時のみ)
- ラップタイム (LAP) - TRACK モードのみ
- ステアリングアングル (LEAN ANGLE) - TRACK モードのみ

メニュー 2 の情報を表示するにはボタン (2) を押します。

ROAD モードおよび TRACK モードで順番に表示される情報は以下の通りです。

- クーラント温度
- 瞬間燃費 (CONS.)
- 平均燃費 (CONS. AVG)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 外気温

車両を起動 (Key-ON) した時に表示されるメニュー 1 およびメニュー 2 の情報は、Key-OFF 前に表示されていた情報です。



#### 参考

Key-ON 時、ROAD モードおよび TRACK モードのメニュー 1 には初期設定パラメーター (オドメーター - TOT) が 10 秒間表示され、続いて前回の Key-OFF 時に表示されていたパラメーターが表示されます。

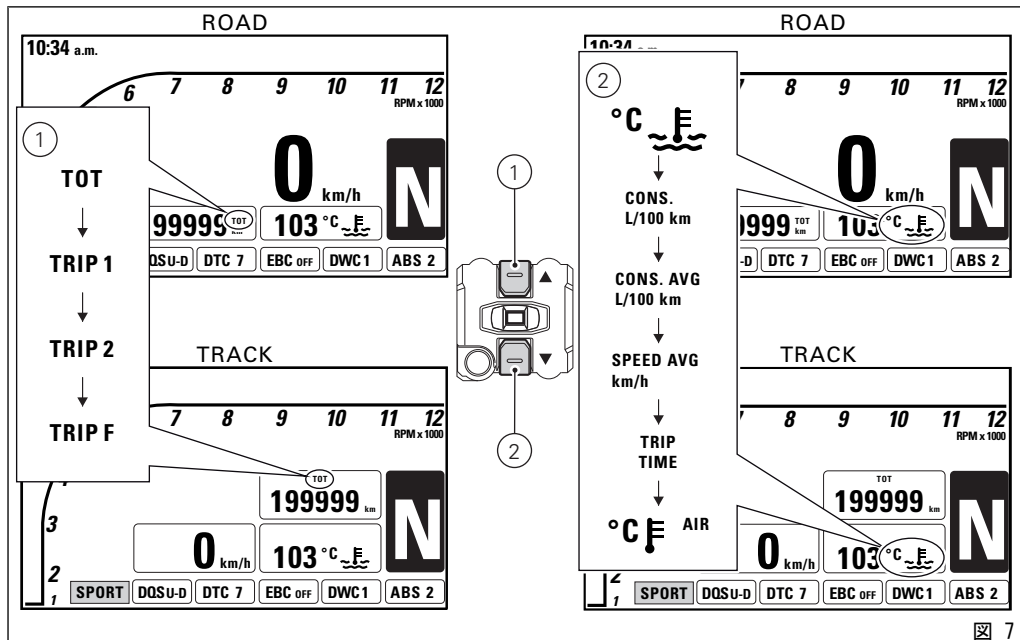


#### 参考

急な Key-OFF (電源供給が突然途絶えた) の場合は、次の Key-ON 時にインストルメントパネルには次のデフォルト設定が表示されます。

特に

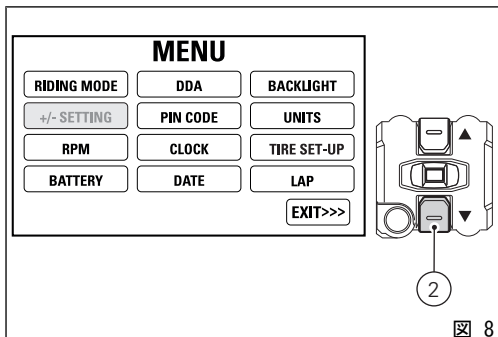
- メニュー 1 - オドメーター (TOT)
- メニュー 2 - クーラント温度



スタンダードスクリーンが表示されている時に、車両の実速度が 20 km/h 以下の状態でボタン (2) を 3 秒間押し、機能設定を行うことができる設定メニューに入ります。

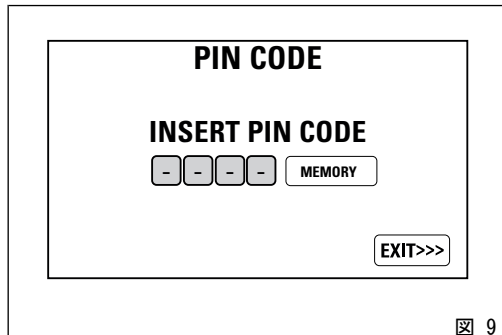
### 重要

車両の実速度が 20 km/h 以下のときのみ設定メニューに入ることができます。設定メニューが表示されているときに車両の実速度が 20 km/h を超えると、インストルメントパネルは自動的に設定メニューを終了し、スタンダードスクリーンを表示します。



Key-ON 時および点検終了時にキーが認識されない場合：

- PIN CODE 機能が有効でない場合、ランプの初期点検が省略され、インストルメントパネルにはスタンダードスクリーンに E-LOCK エラーが表示されます。設定メニューにはアクセスできません。
- PIN CODE 機能が有効な場合、インストルメントパネルには解除コードを入力する PIN CODE 機能画面が表示されます。



## メイン機能

スタンダードスクリーンに表示される機能

主な機能

- エンジン回転数表示 RPM
- 車両スピード
- ギア
- ライディングモード (Riding Mode)
- DQS
- DTC
- EBC
- DWC
- ABS
- メニュー 1 には以下の機能が表示されます。
  - オドメーター (TOT)
  - トリップメーター 1 (TRIP1)
  - トリップメーター 2 (TRIP2)
  - 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)
  - ラップタイム (LAP time) - 起動時および TRACK モードのみ
  - ステアリングアングル (LEAN ANGLE) - 起動時および TRACK モードのみ

- メニュー 2 には以下の機能が表示されます。
  - エンジンクーラント温度
  - 瞬間燃費 (CONS.)
  - 平均燃費 (CONS. AVG)
  - 平均スピード (SPEED AVG)
  - トリップタイム (TRIP TIME)
  - 外気温

サブ機能

- DDA (搭載されている場合のみ)
- GPS (搭載されている場合のみ)
- 時計 (CLOCK)
- メンテナンス表示 (SERVICE)
- 注意 / 警告表示 (Warning)
- エラー表示

設定メニューのうち以下の機能はユーザーによる変更が可能です。

- ライディングモード (RIDING MODE) のパーソナライズ: パーソナライズメニューから以下の設定が可能です。
  - ABS 調整 (ABS)
  - ディスプレイの設定 (DISPLAY)
  - DQS 起動/解除 (DQS)
  - DTC レベルの設定 (DTC)
  - エンジン調整 (ENGINE)
  - EBC レベルの設定 (EBC)
  - デフォルト設定の回復 (DEFAULT)
- エンジン回転数のデジタル表示 (RPM)
- バッテリー電圧 (BATTERY)
- DDA (起動/解除 - 表示 - 削除)
- PIN CODE (入力/変更)
- 時計の調整 (CLOCK)
- 日付設定 (DATE)
- ディスプレイの背景の設定 (BACK LIGHT)
- 単位の設定 (スピード - 温度 - 燃費) UNIT
- LAP (表示/削除/自動設定の回復)
- 標準装備タイヤと異なるタイヤを装着した場合のシステム再キャリブレーション (TIRE SET\_UP)

回転数が 10500 から 11500 rpm の場合 (予告ゾーン)、棒グラフの目盛りと数字 "11" がディスプレイにオレンジ色で表示されます (オレンジゾーン)。回転数が 11500 から 12000 rpm の場合 (警告ゾーン)、棒グラフの目盛りと数字 "12" がディスプレイに赤色で表示されます (レッドゾーン)。



### 重要

走行距離が最初の 1000 km までの間 (慣らし運転期間)、すなわちオドメーターが 1000 km 以下の値を表示している期間は、6000 rpm に達するとディスプレイにはオレンジ色で表示される予告ゾーン (オレンジゾーン) が棒グラフの目盛りとそれに相当する数字で表示されます。慣らし運転期間中はエンジン回転数を 6000 rpm 以下に維持すること、すなわちインストルメントパネルに棒グラフの "オレンジゾーン" が表示されないようにすることが推奨されます。

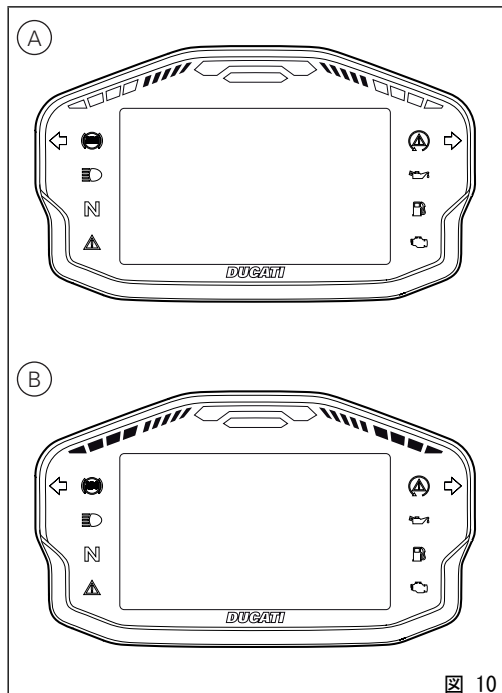
慣らし運転期間が終了すると、"オレンジゾーン" はエンジンが十分温まっていない状態でエンジン回転数を抑える指示として表示されます。"オレンジゾーン" は以下の通り、エンジン温度によって異なります。

- 8000 rpm 以上、エンジン温度が 40 ° C 以下のとき
- 9000 rpm 以上、エンジン温度が 50 ° C 以下のとき
- 10500 rpm 以上、エンジン温度が 50 ° C 以上より高いとき

回転リミッターへの起点値は、以下の範囲を基に 2 つのグループに分けられています。

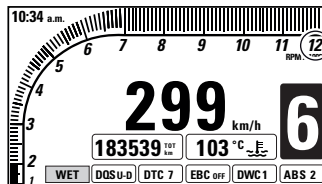
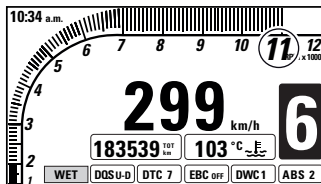
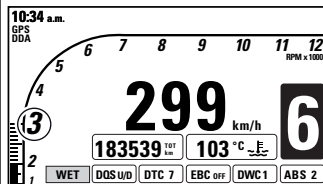
第一起点値 10500 rpm (A)

第二起点値 10800 rpm (B)

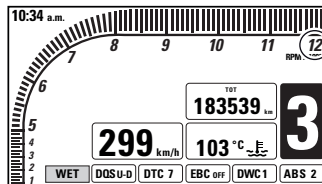
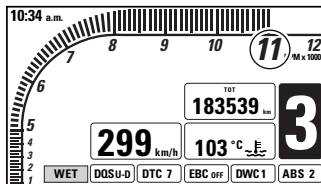
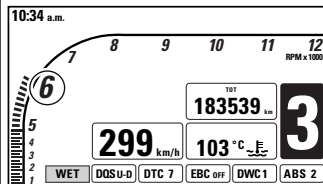




ROAD



TRACK

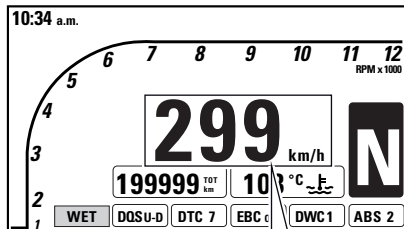


インストルメントパネルは車両の実速度 (km/h で算出) 情報を受信し、それに 5% 上乗せしたデータを設定した単位 (km/h または mph) で表示します。

以下の場合には “---” と単位が表示されます。

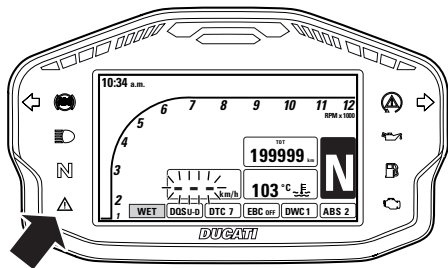
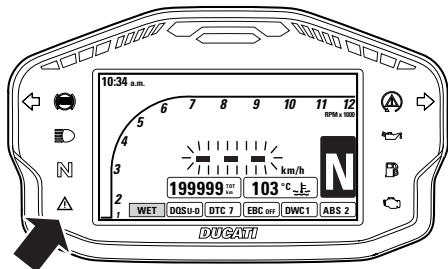
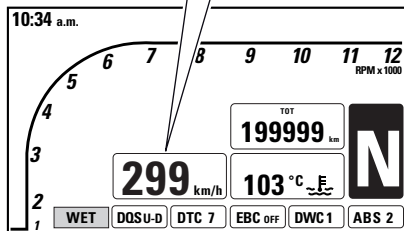
- スピード = 299 km/h か 186 mph の場合、またはインストルメントパネルがスピード情報を受信しない場合 (“---” 点灯)
- リアスピードセンサーエラー (“---” 点滅、一般的エラー警告灯点灯、SPEED SENSOR エラー表示)

ROAD



186 mph

TRACK



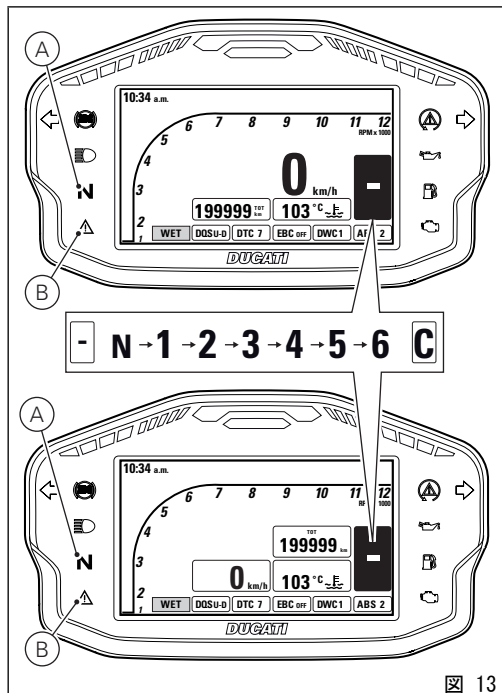
12

ギア

インストルメントパネルは車両のギアに関する情報を受信し、ディスプレイにその値を表示します。ギアが挿入されている時は 1 から 6 の値が表示され、ニュートラルの時は N の文字が表示されます。ギアチェンジする必要がある場合は、C の文字が表示されます。

以下の場合、“--” が表示されます。

- ギアの学習を行っていない (“--” 点滅、ニュートラルランプ (A) 点滅)
- ギアセンサーエラー (“--” 点滅、一般的エラー警告灯 (B) 点灯、GEAR SENSOR エラー表示)
- インストルメントパネルがギア情報を受信していない (“--” 点灯)



## ライディングモード (Riding Mode)

インストルメントパネルから好みのライディングモードを選択することが可能です。あらかじめ設定された次の 3 通りのライディングモード RACE、SPORT、WET から選択します。

選択、設定されたライディングモードは、ライディングモードに連動したパラメーターがデフォルトのパラメーターである場合はインストルメントパネルのディスプレイ下の枠内に緑色の背景で表示され、ライディングモードに連動したパラメーターがユーザーによりパーソナライズされたものである場合は枠内にオレンジ色の背景で表示されます。

一つ以上の設定パラメーターがコントロールユニットによって承認されなかった場合は、背景色に関係なくライディングモード表示が点滅します。それぞれのライディングモードには以下のドゥカティが設定したパラメーター、またはユーザーが設定機能ページから変更したパラメーターが連動しています。

- DTC ドゥカティトラクションコントロールの介入レベル (1、2、3、4、5、6、7、8、OFF)
- スロットル作動を変更するエンジン出力 (195Hi、195Lo、120)

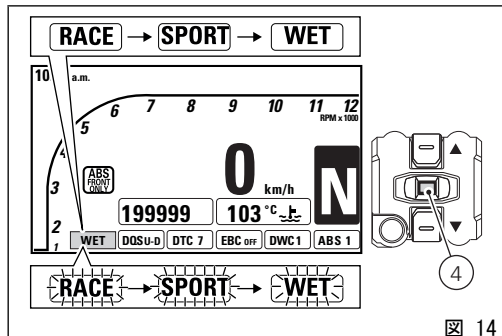


図 14

- ABS システムの許容値 (1、2、3、OFF)
- EBC エンジンブレーキコントロールシステムの介入レベル (1、2、3、OFF)
- DWC ドゥカティウィリーコントロールの介入レベル (1、2、3、4、5、6、7、8、OFF)
- DQS クイックシフトの使用の有無 (DQS UP、DQS UP & DOWN、DQS OFF)

各ライディングモードにはドゥカティが設定した、あるいはユーザーが設定ページから変更した情報表示のスタンダードスクリーン (ROAD、TRACK) が連動しています。



## 警告

ライディングモードの変更は車両停止時に行うことをお勧めします。運転中にライディングモードの変更を行なう場合は十分にご注意ください（低速での変更をお勧めします）。

## ライディングモードの選択

メニュー決定ボタン (4) を押し、ライディングモード選択メニュー (A) に入ります。インストルメントパネルには速度が表示（ディスプレイの右側）されたまま、ライディングモード名（ディスプレイの左側）が表示されます。

- RACE
- SPORT
- WET

最後に保存した現在使用中のライディングモード名が強調表示されます。



## 警告

ボタン (4) がターンインジケータ一起動の位置、右もしくは左にある場合は、ライディングモード選択メニューに入ることはできません。

強調表示されたライディングモードには、それに連動したいくつかの以下のパラメーターに関連する情報が表示されます。

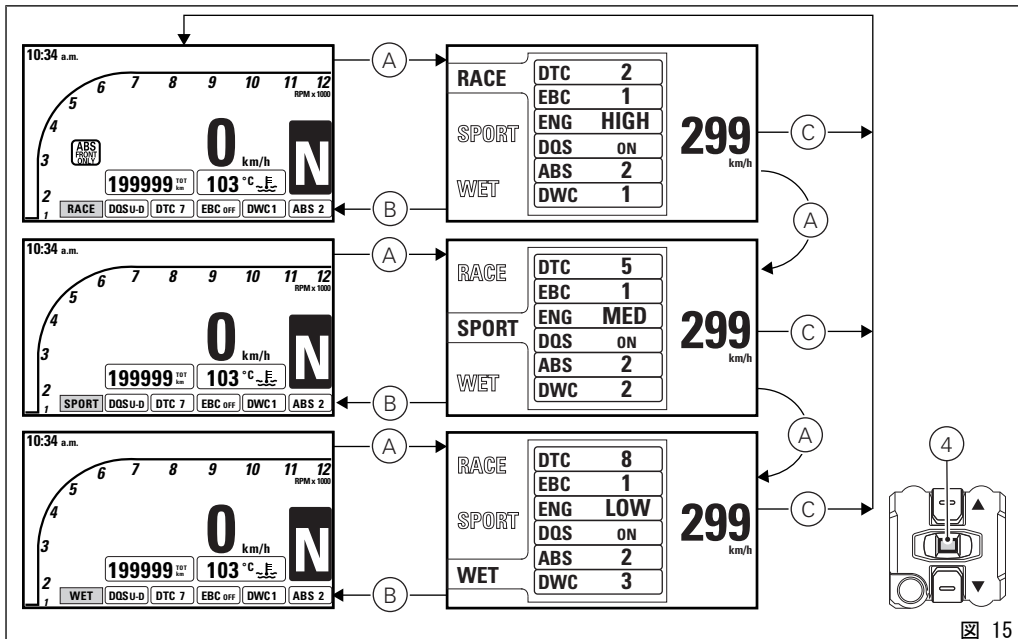
- DTC システム：DTC システムが ON の場合は“DTC”の文字に続いて設定介入レベル（1、2、3、4、5、6、7、8）、DTC システムが OFF の場合は“DTC”の文字に続いて“OFF”の文字。
- EBC システム：EBC システムが ON の場合は“EBC”の文字に続いて介入レベル（1、2、3）、EBC システムが OFF の場合は“OFF”の文字。
- DQS システム：DQS システムが ON の場合は“DQS”の文字に続いて“UP”、“U-D”の文字、DQS システムが OFF の場合は“DQS”の文字に続いて“OFF”の文字。
- ABS システム：ABS システムが ON の場合は“ABS”の文字に続いて設定レベル（1、2、3）、ABS システムが OFF の場合は“ABS”の文字に続いて“OFF”の文字。
- DWC システム：DWC システムが ON の場合は“DWC”の文字に続いて設定介入レベル（1、2、3、4、5、6、7、8）、DWC システムが OFF の場合は“DWC”の文字に続いて“OFF”の文字。

表示される情報は、各ライディングモード毎に記憶されている値です。保存されている値はドウカティ

が設定した値、またはユーザーがパーソナライズした値です。メニュー決定ボタン (4) を押す度に、表示可能な関連するパラメーター (A、図 15) と一緒にライディングモードが強調表示されます。

選択したいライディングモードが強調されたら、メニュー決定ボタン (4) を 2 秒間押し続け、希望のライディングモードを決定します。ライディングモードの変更が保存され、スタンダードスクリーン (B、図 15) の画面に戻ります。

選択したいライディングモードが強調されてもメニュー決定ボタン (4) を 10 秒以内に押さなかった場合は、ライディングモードは変更されず、スタンダードスクリーンの画面 (C、図 15) に戻ります。





以下の場合、ライディングモードの変更を決定してもエラーになります。

- スロットルコントロールを開き、ブレーキをかけた状態で車両が動いている場合：CLOSE THROTTLE AND RELEASE BRAKES（スロットルを閉じ、ブレーキを放してください）のエラーが表示され、5 秒以内にスロットルコントロールが閉じられない、ブレーキが解放されない、または車両速度がゼロにならない場合、ライディングモード変更手順は完了せずにスタンダードスクリーンの表示に戻ります。

#### 参考

ライディングモードの変更時に ABS システムの状態を ON（起動）から OFF（解除）、または OFF（解除）から ON（起動）に変更すると、選択したライディングモードを決定する時、インストルメントパネルは ABS システムの起動または解除の手続きも行います。

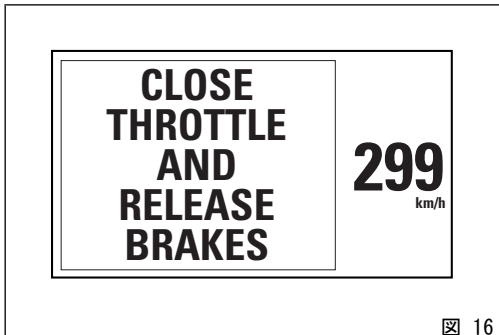
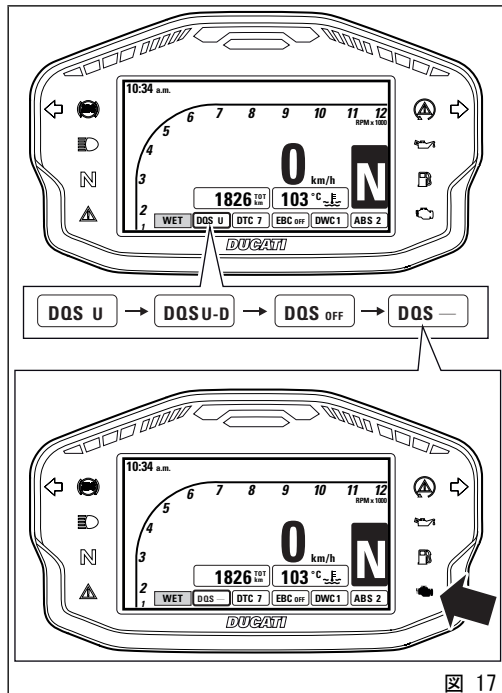


図 16

## DQS

インストルメントパネルはディスプレイに DQS 機能の状態を以下のように表示します。

- DQS システムが起動している場合、“DQS” の文字と “U” (シフトアップ) または “U-D” (シフトアップおよびシフトダウン)
- DQS システムが解除されている場合、“DQS OFF” の文字
- DQS システムエラーまたはコントロールユニットエラーの場合、“DQS ----” の文字、および EOBD ランプが点灯し、対応するエラーが表示されます。
- 車両にDQSが搭載されていない場合、“-----” のシンボル



UP/DOWN 機能を備える DQS システムでは、クラッチを操作せずにシフトアップおよびシフトダウンが可能です。

レバーの作動機構内に統合された双方向マイクロスイッチからなり、このマイクロスイッチがエンジンコントロールユニットにシフト操作に対応する信号を送信します。

システムはシフトアップとシフトダウンで動作が異なります。シフトアップシステムでは点火進角と燃料噴射に作用し、シフトダウン時にはスロットルバルブオープニングを制御します。様々な走行条件下においてシフトダウン時に滑らかなギアチェンジを実現するために作動強度や作動時間は異なり、スリッパークラッチおよび EBC と連動して働きます。シフトダウンでは、ライダーが設定した EBC 介入レベルに応じて DQS ストラテジーがスロットルバルブの開度と作動時間を変化させ、シフトダウンした時のエンジンブレーキを瞬時に調節します。EBC レベルが OFF および 1 に設定されている場合、エンジンブレーキは最大になり、レベル 2 では中程度、レベル 3 で最小になります。

選択レベルの表示については、EBC システムについて記載されている ページ 58 を参照してください。ユーザーは DQS のシフトアップ機能だけを有効にするか、もしくはシフトアップとシフトダウン両

方の機能を有効にするかを、インストルメントパネルの専用メニューから選択することができます。

## DTC

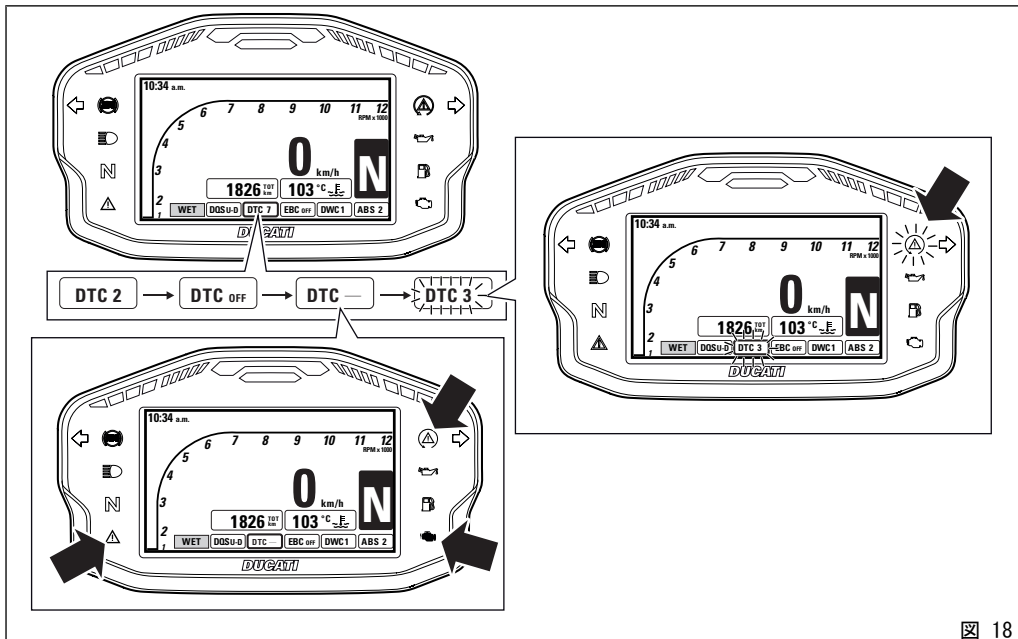
インストルメントパネルはディスプレイに DTC 機能の状態を以下のように表示します。

- DTC が ON の場合、“DTC” の文字とトラクションコントロール介入レベル 1 から 8 までの数値（固定表示）
- DTC が ON の時に異常が発生したためシステムが機能制限モードである場合は、“DTC” の文字とトラクションコントロール介入レベル 1 から 8 までの数値（点滅）、さらに DTC / DWC ランプ点滅
- DTC が OFF の場合、“DTC OFF” の文字と DTC / DWC ランプ点灯。DTC が OFF の状態では DWC 機能も OFF になります。
- 
- DTC エラー、またはブラックボックスコントロールユニットエラーの場合、“DTC ---” の文字。さらに DTC / DWC ランプに加えて EOBD ランプもしくは一般的エラー警告灯が点灯し、該当するエラーが表示されます。



### 警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。



ドゥカティトラクションコントロール (DTC) はリアホイールのスリップ制御を行い、8 つのレベルを基に機能します。各レベルでリアホイールのスリップに対して異なる許容値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル 8 はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動します。一方熟練ライダー用サーキット走行向けのレベル 1 は許容値が高く設定されており、システムの介入が最小限に抑えられます。



#### 警告

DTC はライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できません。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単に確実なものにします。車両が走行している路面状

況や道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許容されるスピードを超えたりするような運転に寄与するシステムではありません。

下記の表は、各ライディングタイプに適した DTC 介入レベルと、ユーザーが選択可能な“ライディングモード”のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DTC	ライディングタイプ	用途	DEFAULT
OFF		DTC システムは解除されています。	NO
1	TRACK プロフェッショナル	このレベルは熟練ライダー向けサーキット走行専用として設定されており、ピレリ製 SC2 コンパウンドタイヤに合わせて最適化されています。このモードにおいて DTC はスリップを許容しません。	NO
2	TRACK	このレベルは熟練ライダー向けサーキット走行専用として設定されており、標準装備の OEM タイヤに合わせて最適化されています。このモードにおいて DTC はスリップを許容します。	NO
3	SPORT / TRACK	このレベルは上級ライダー向けサーキット走行用に設定されています。このモードにおいて DTC はスリップを許容します。	ライディングモード "RACE" のデフォルトレベル
4	SPORT / TRACK	このレベルはサーキット走行用（および上級ライダー用ストリート走行用）に設定されています。	NO

DTC	ライディングタイプ	用途	DEFAULT
5	SPORT	このレベルは、ENGINE 195HP LOW（最大出力 195 馬力、スムーズなパワーデリバリー）を使用したストリートおよびサーキット走行用に設定されています。	ライディングモード “SPORT” のデフォルトレベル
6	SAFE & STABLE	このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、グリップの良好なストリート走行用に設定されています。	NO
7	RAIN	このレベルは濡れた路面でレインタイヤを装着するサーキット走行専用設定されています。	NO
8	HEAVY RAIN	このレベルは濡れたアスファルトや滑りやすい路面でのストリート走行用に設定されています。	ライディングモード “WET” のデフォルトレベル



## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着し、標準装備の最終減速比を装備している場合においてのみ、DTC システムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa SP のサイズ：フロント 120/70ZR17、リア 200/55ZR17 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合（サーキット走行においてのみ可）、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

サイズクラスの異なるタイヤやサイズが大きく異なるタイヤを使用すると、システム機能が影響を受け

るため、自動調整機能を使用したとしても設定可能な 8 レベルのどれも納得のいくものでなくなる可能性があります。この場合、システムを解除することをお勧めします。

レベル 8 を選択すると、DTC はリアタイヤのわずかなスピンにも介入します。レベル 8 とレベル 1 の間には、その他に 6 つのレベルが存在します。DTC の介入度はレベル 8 から 1 に向かい減少します。レベル 1 は標準装備タイヤとは異なる SC1 コンパウンドタイヤ（Pirelli Diablo Supercorsa SC1）を装着したサーキット走行専用に開発されています。特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能特性が異なることがあります。正しいレベルの選択は、3 つの観点から行います。

- 1) グリップ（タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など）
- 2) レイアウト/行程（同じようなスピード、あるいは全く異なるスピードでのカーブ）
- 3) ライディングスタイル（より“スムーズ”に、またはより“シャープ”に）

### グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ状況と密接に関係しています（後述のサーキットおよび一般道での使用時のアドバイスを参照）。グリップ

ブが弱い場合には、DTC が確実に介入するより高いレベルを使用する必要があります。

### レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に同じスピードで走行できるカーブがいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる介入レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方様々なカーブがレイアウト/行程にある場合は、妥当な DTC 介入レベルが必要になります。

### ライディングスタイルからのレベル選択

カーブ出口で早めに車体を起こし“シャープ”に操縦する場合よりも、バイクを深く倒して“スムーズ”に操縦する場合に DTC はより介入を行う傾向があります。

### サーキットでの使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するために、タイヤを温める間の数周はレベル 6 に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを 6、5、4 と変えながら最適な DTC レベルに達するまで調整します。過度な介入が起こる 1 つか 2 つの緩いカーブを除けば納得のいくレベルである場合、直ぐに介入レベルの変更を考える前に、緩いカーブ出口で早めに車体を起こすようにし、少し“シャープ”なライディングスタイルで走行してみてください。

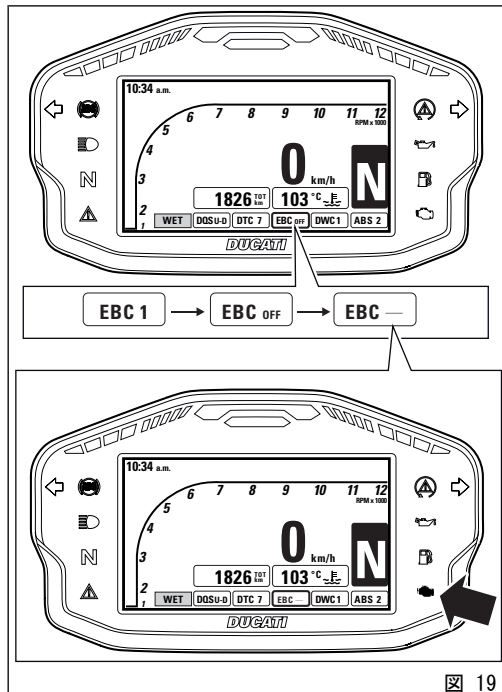
### 一般道での使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するために、レベル 8 に設定することをお勧めします。DTC が介入しすぎると感じる場合には、レベルを 5、4 と変えながら、最適なレベルに達するまで調整します。グリップ状況や行程の種類、ライディングスタイルを変更した時に、設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します（例：レベル 7 では DTC が介入しすぎると感じる場合はレベル 6 に、レベル 7 では DTC の介入が全くないと感じる場合はレベル 8 に変更します）。

## EBC

インストルメントパネルはディスプレイに EBC 機能の状態を以下のように表示します。

- EBC システムが ON の場合、“EBC” の文字と設定介入レベル 1 から 3 までの数値
- EBC システムが OFF の場合、“EBC OFF” の文字
- EBC システムエラー、またはコントロールユニットエラーの場合、“EBC ----” の文字。さらに EOBD ランプが点灯し、該当するエラーが表示されます。



エンジブレーキコントロール (EBC) は走行中アクセルが完全に閉じた時に掛かるエンジブレーキ制御を行います (ブレーキを掛けているかいないかに関わらず、シフトダウン時やギアは変えずにアクセルだけを戻した時)。このシステムは独立してスロットルを調整し、走行中のホイールからエンジンへのバックトルクを一定に保ちます。

このエンジブレーキ調整システムではエンジブレーキが最大になる OFF 設定のほか、レベルを上げることによりエンジブレーキが徐々に軽減するレベル設定が可能です。

システムの影響はエンジンの高回転域で特に顕著で、回転数が下がっていくにつれ徐々に小さくなっていきます。

## 警告

EBC はライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを旨としたメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

下記の表は、各ライディングタイプに適した EBC 介入レベルと、ユーザーが選択可能な“ライディングモード”のどれにデフォルト設定されているかを示します。

EBC	特徴	DEFAULT
OFF	EBC システム解除エンジンブレーキは最大になります。	NO
1	このレベルではある程度強いエンジンブレーキが発生しますが、EBC OFF 時のエンジンブレーキより小さくなります。	NO
2	このレベルではエンジンブレーキは非常に小さくなります。このレベルは、減速時のエンジンブレーキを小さくしたいライダーに適します。	ライディングモード“RACE”と“SPORT”のデフォルトレベル
3	このレベルではエンジンブレーキは最小になります。このレベルは、減速時のエンジンブレーキを最小限に抑えたいライダーに適します。	ライディングモード“WET”のデフォルトレベル

## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着し、標準装備の最終減速比を装備している場合においてのみ、EBC システムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa SP のサイズ：フロント 120/70ZR17、リア 200/55ZR17 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなる場合があります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合（サーキット走行においてのみ可）、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

レベル 3 を選択すると、EBC はエンジンプレーキの機能を最小限に抑えます。レベル 3 からレベル 1

の順にエンジンプレーキの強さが大きくなります。EBC OFF でエンジンプレーキは最大になります。主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- 1) グリップ（タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など）
- 2) レイアウト/行程（類似カーブのみ、またはカーブが全く異なる）
- 3) ライディングスタイル（より“スムーズ”に、またはより“シャープ”に）

## グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ状況と密接に関係しています。

## レイアウトタイプからのレベル選択

同じようなブレーキングで走行できるレイアウト/行程の場合（すべて非常に激しい、またはすべて非常に緩やか）、それぞれのブレーキングで満足できる干渉レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方様々なブレーキングがレイアウト/行程にある場合、妥当な EBC 介入レベルが必要になります。

## DWC

インストルメントパネルはディスプレイに DWC 機能の状態を以下のように表示します。

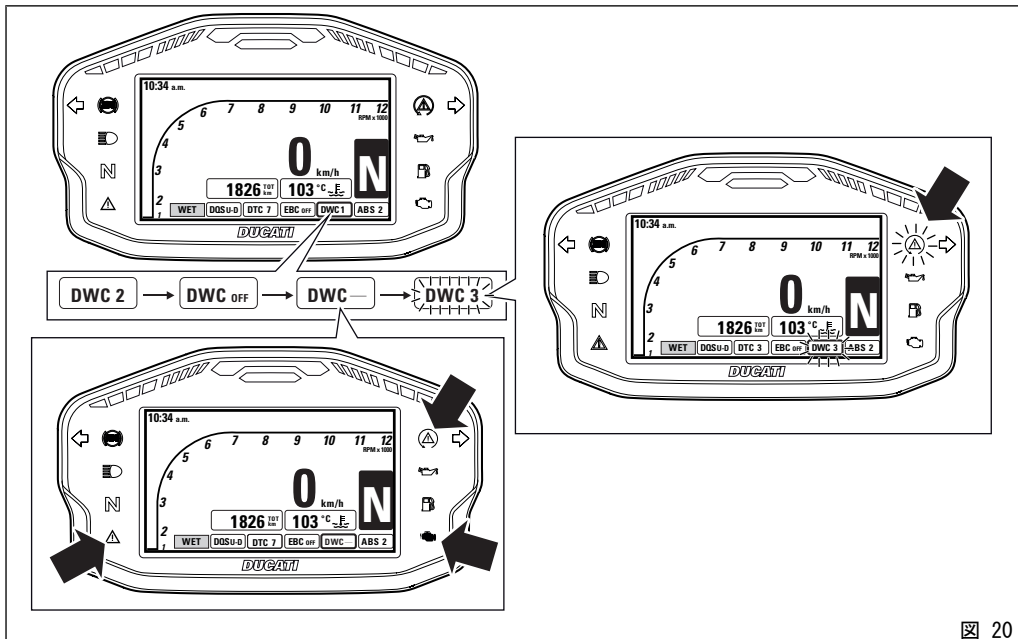
- DWC が ON の場合、“DWC” の文字と設定されているウィリー制御介入レベル 1 から 8 までの数値（固定表示）
- DWC が ON の時に異常が発生したためシステムが機能制限モードである場合は、“DWC” の文字と DWC 介入レベル 1 から 8 までの数値（点滅）、さらに DTC / DWC ランプ点滅
- DWC が OFF の場合、“DWC OFF” の文字と DTC / DWC ランプ点灯。DWC が OFF の状態では DTC 機能も OFF になります。
- DWC エラー、またはブラックボックスコントロールユニットエラーの場合、“DWC ---” の文字。さらに DTC / DWC ランプに加えて EOBD ランプもしくは一般的エラー警告灯が点灯し、該当するエラーが表示されます。



### 警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。





ドウカティウィリーコントロール（DWC）はウィリー制御を行い、8つの介入レベルを基に機能します。各レベルでウィリーの制御に対して異なる値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8ではウィリーの発生を防止し、ウィリーが発生するとそれを制御するために最大限の介入を行います。熟練ライダー専用のレベル1ではウィリー防止を最小限にとどめ、ウィリーが発生した場合の制御も最小限に抑えられます。

的に許容されるスピードを超えたりするような運転に寄与するシステムではありません。



#### 警告

DWCはライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で確実なものにします。車両が走行している路面状況や道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理

下記の表は、各ライディングタイプに適した DWC 介入レベルと、ユーザーが選択可能な“ライディングモード”のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DWC	用途		DEFAULT
OFF		DWC システム解除	NO
1	HIGH PERFORMANCE	熟練ライダー向けサーキットでの使用。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。	NO
2	MEDIUM PERFORMANCE	熟練ライダー向けサーキットでの使用。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。	ライディングモード“RACE”のデフォルトレベル
3	PERFORMACE	熟練ライダー向けサーキットでの使用。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。	NO
4	SPORT	すべてのライダー向け、サーキットおよびストリートでの使用。ウィリーは可能ですが、システムはウィリーの速度を低減します。	NO
5	SPORT	すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。	ライディングモード“SPORT”のデフォルトレベル

DWC	用途		DEFAULT
6	SPORT	すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。	NO
7	MEDIUM SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。	NO
8	HIGH SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。	ライディングモード“WET”のデフォルトレベル

## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終減速比を装備し、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、DWC システムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa SP のサイズ：フロント 120/70ZR17、リア 200/55ZR17 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなる場合があります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

車両に搭載されている DWC システムのレベル 1 の調整は、車両の標準装備タイヤとは異なる SC1 コンパウンドタイヤ (Pirelli Diablo Supercorsa SC1) に合わせて最適化されたものです。特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能特性が異なる場合があります。

タイヤに関して、標準装備のタイヤと違いがわずかなタイヤ、例えばモデルやメーカーは異なってもサイズクラスが同じタイヤ (リア= 200/55 ZR17、フロント= 120/70 ZR17) を装着する場合、システムを正

しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合 (サーキット走行においてのみ可)、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

DWC のレベル 8 を選択すると、システムはウィリーが発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。レベル 8 からレベル 1 の順に DWC システムの介入レベルが小さくなります。レベル 1、2、3 ではウィリーをしやすくなっていますが、同時にウィリー時の減速を行います。これらのレベルの使用は、自らウィリーを制御することができる熟練ライダーがサーキットで使用する場合にのみ推奨されます。その場合システムはウィリーの発生を助けるというよりも、ウィリーが発生する速度を抑えることでライダーを補助します。主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- 1) ライダーの経験
- 2) レイアウト/行程 (低速ギアでの立ち上がり、もしくは高速ギアでの立ち上がり)

## ライダーの経験

使用するレベルはウィリーを自ら制御するライダーの経験度と密接に関連しています。レベル 1、2、3 を適切に利用するためには高い能力が求められます。

### レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に低速ギアで立ち上がる速度の低いカーブが存在する場合、より低いレベルを選択する必要があります。逆に高速サーキットなどではより高いレベルを選択することが可能です。

### サーキットでの使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するため、最初の数周はレベル 8 に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを 7、6 と変えながら最適な DWC レベルに達するまで調整します（タイヤを温めるため、各レベルごとに数周します）。

### 一般道での使用時のアドバイス

DWC を起動した後、レベル 8 を選択し、好みのスタイルで運転します。DWC が介入しすぎると感じる場合は、レベルを 7、6 と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整してください。

行程タイプが変化したため設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します（例：レベル 7 では DWC が介入しすぎると感じる場合はレベル 6 に、レ

ベル 7 では DWC の介入が全くないと感じる場合はレベル 8 に変更します）。

## ABS

車両に ABS システムが搭載されている場合、インストルメントパネルは枠の中に ABS 機能のステータスを表示します。

インストルメントパネルの表示：

- ABS が ON の場合、“ABS” の文字と設定介入レベル 1 から 3 までの数値（固定表示）
- ABS が ON の時に異常が発生したため（「コーナリング」機能がない）システムが機能制限モードである場合は、“ABS” の文字と ABS 介入レベル 1 から 8 までの数値（点滅）、さらに ABS ランプ点滅
- ABS が OFF の場合、“ABS OFF” の文字と ABS ランプ点灯
- ABS エラーの場合、“ABS ---” の文字。さらに ABS ランプおよび一般的エラー警告灯が点灯し、該当するエラーが表示されます。



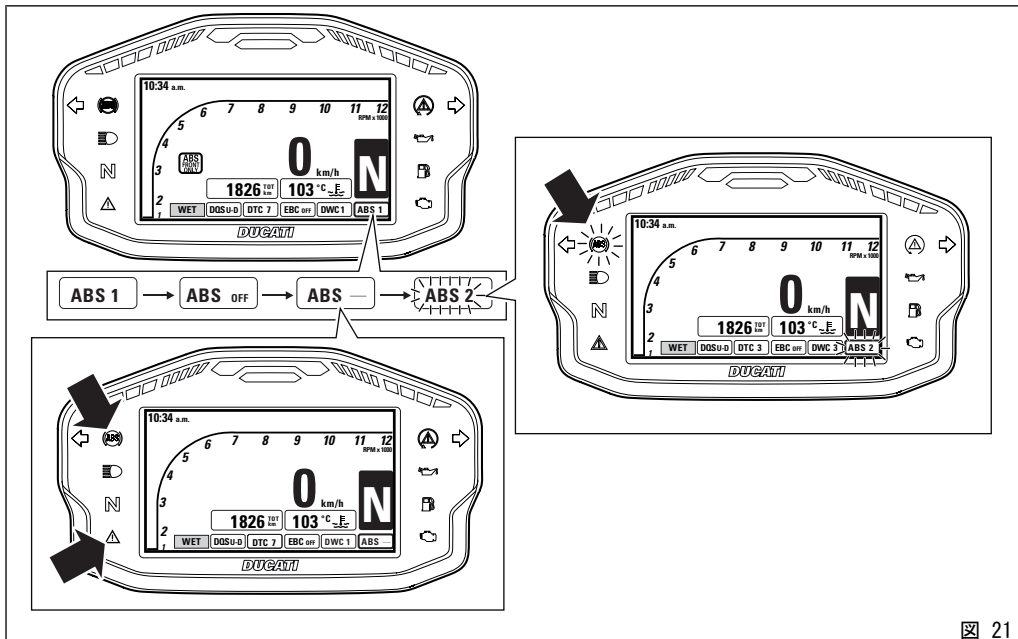
## 警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。



## 参考

ABS 1 表示はディスプレイの “ABS FRONT ONLY” のアイコン（琥珀色）表示と常に連動しています。この表示はスタンドの状態が表示されるエリアに、スタンドの状態より優先して表示されます。





困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれかのホイールがロックしそうであることを検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。この場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させることでホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適に維持します。続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消されるまで、このサイクルを繰り返します。ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの制御は別々に行われます。

本車両が搭載する ABS システムは、車両を倒した状態においても ABS 機能が作動する「コーナリング」

機能も備えます。この機能は、車両の傾斜角度に応じてフロントブレーキとリアブレーキに作用します。車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で、車輪のロックおよびスリップを防止することを目的としています。

インストルメントパネルを操作し、システムを解除したいライディングモード内でレベル OFF を選択すれば、システムの解除が可能です。



## 警告

2 つあるブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキ性能が低下します。急激に過度の力を掛けてブレーキコマンドを操作しないでください。後輪が浮き上がり（リフトアップ）、車両のコントロールを失うおそれがあります。雨天時や滑りやすい路面の走行ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。規定空気圧に満たないタイヤ、もしくは規定空気圧を超えるタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

下記の表は、各ライディングタイプに適した ABS レベルと、ユーザーが選択可能な“ライディングモード”のどれにデフォルト設定されているかを示します。

ABS	ライディングタイプ	特徴	DEFAULT
OFF		ABSシステム解除	NO
1	TRACK	このレベルは上級ライダー向けサーキット走行専用設定されています（ストリートでの使用は推奨されません）。このレベルでは、ABS はフロントホイールにのみ作用し、リアホイールのロックは許容されません。このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行わず、コーナリング機能は作動しません。	ライディングモード“RACE”のデフォルトレベル
2	SPORT	このレベルは、グリップの良好なサーキットおよびストリート走行用に設定されています。このレベルでは、ABS は両方のホイールに作用し、コーナリング機能が作動します。このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行いません。このキャリブレーションは制動力を優先し、ライダーがホイールのリフトアップを管理できるようになっています。	ライディングモード“SPORT”のデフォルトレベル

ABS	ライディングタイプ	特徴	DEFAULT
3	SAFE & STABLE	このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、安全かつ安定したブレーキングを可能にするよう設定されています。このレベルでは、ABS は両方のホイールに作用し、コーナリング機能およびリフトアップ制御機能が作動します。	ライディングモード “WET” のデフォルトレベル

## レベルの選択に際しての注意事項



### 警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備のブレーキシステムおよび標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、ABS システムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa SP のサイズ：フロント 120/70ZR17、リア 200/55ZR17 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなる場合があります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

レベル 3 を選択すると、ABS システムは非常に安定したブレーキングとリフトアップ制御を行い、全てのブレーキングにおいて高い車体安定性を維持します。レベル 3 において、ABS システムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的境界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。

レベル 2 を選択すると、ABS システムは安定性やリフトアップ制御よりもブレーキ力を優先します。リ

フトアップ制御はレベル 2 では作動しません。レベル 2 において、ABS システムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的境界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。

ABS システムのレベル 1 の使用はサーキット走行専用になります。パフォーマンスを重視して ABS はフロントホイールにのみ作用します。このレベルではリフトアップ制御およびコーナリング機能は作動しません。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- 1) タイヤ/路面のグリップ（タイヤタイプ、タイヤの磨耗状態、アスファルトの種類、気候など）。
- 2) ライダーの経験と感覚：熟練ライダーは制動距離を最小限に抑えるためリフトアップを制御することができますが、経験の少ないライダーには、急なブレーキングでも車体の安定性が維持できるようレベル 3 の使用が推奨されます。

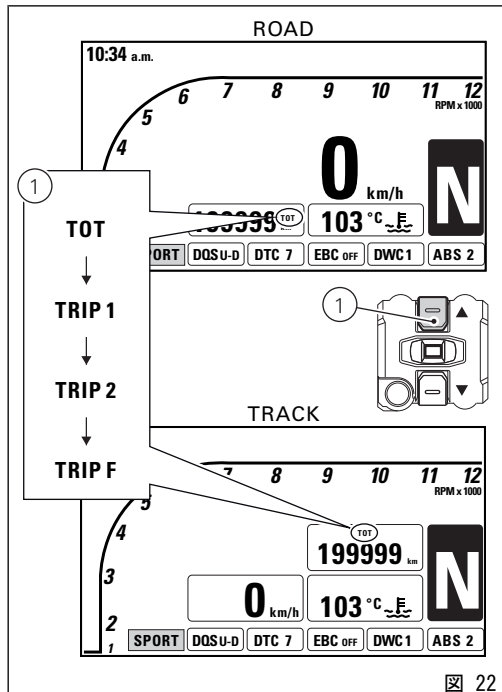
## メニュー1の機能：

3種類のライディングモード設定（RACE、SPORT、WET）のそれぞれについて、メニュー1機能が以下の2種類の表示モードのいずれかで表示されます。

- ROAD
- TRACK

機能は以下の通りです。

- オドメーター（TOT）
- トリップメーター 1（TRIP1）
- トリップメーター 2（TRIP2）
- 燃料リザーブトリップメーター（TRIP FUEL）
- ラップタイム（LAP time）（起動時のみ）- TRACKモードのみ
- ステアリングアングル（LEAN ANGLE）-（起動時のみ）- TRACKモードのみ



## メニュー1: オドメーター (TOT)

オドメーターは車両の総走行距離を設定単位（キロまたはマイル）でカウント、表示します。

オドメーターに対応する数値（キロ またはマイル）は、“TOT” の文字と単位で表示されます。最大値（199999 km または199999 mi）に達するとインストルメントパネルにその値が表示されたままになります。

オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でもリセットすることはできません。

電源の供給が中断（バッテリー OFF）してもデータは消去されません。



### 参考

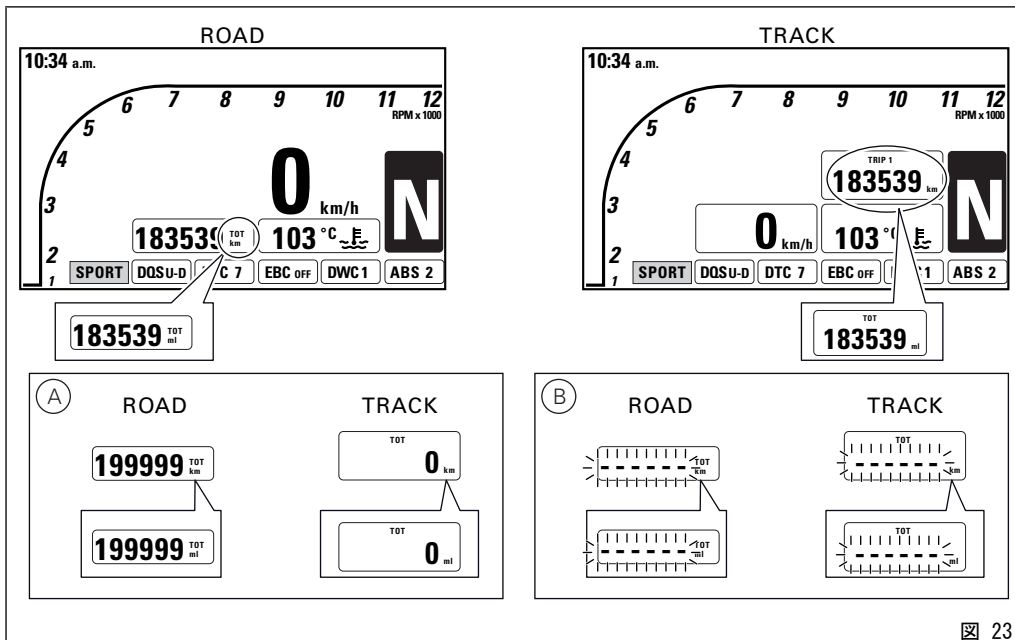
Key-ON 時にインストルメントパネルは 10 秒間オドメーターを表示し、その後ユーザー設定ページの画面に移ります。



### 参考

オドメーター機能で点線 “-----” が点滅表示される場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。





## メニュー1: トリップメーター 1 (TRIP 1)

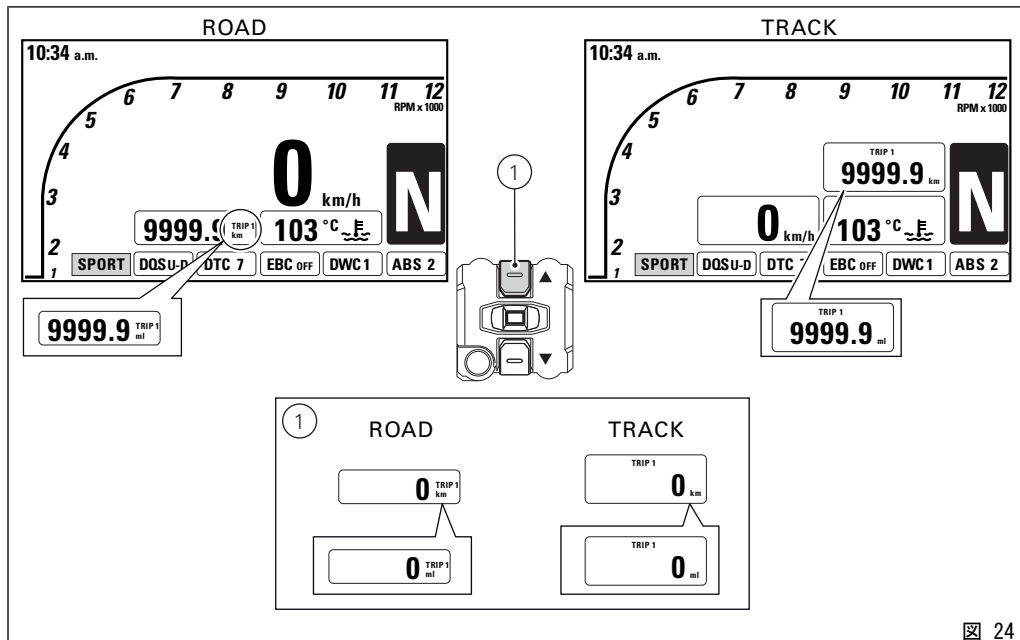
トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位 (キロまたはマイル) でカウント、表示し、平均燃費、平均スピード、トリップタイムの算出に使用されます。

TRIP1 に対応する数値 (キロ またはマイル) は、TRIP1 の文字と単位で表示されます。

データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

トリップメーターの表示中にボタン (1) を 3 秒間押すと、TRIP 1 のデータがリセットされます。TRIP1 がリセットされると、平均燃費、平均スピード、トリップタイムのデータもリセットされます。

TRIP1 のカウントは、システムの単位を手動で変更した場合にも自動的にリセットされます。新しく設定した単位でゼロから再カウントされます。



## メニュー1: トリップメーター 2 (TRIP 2)

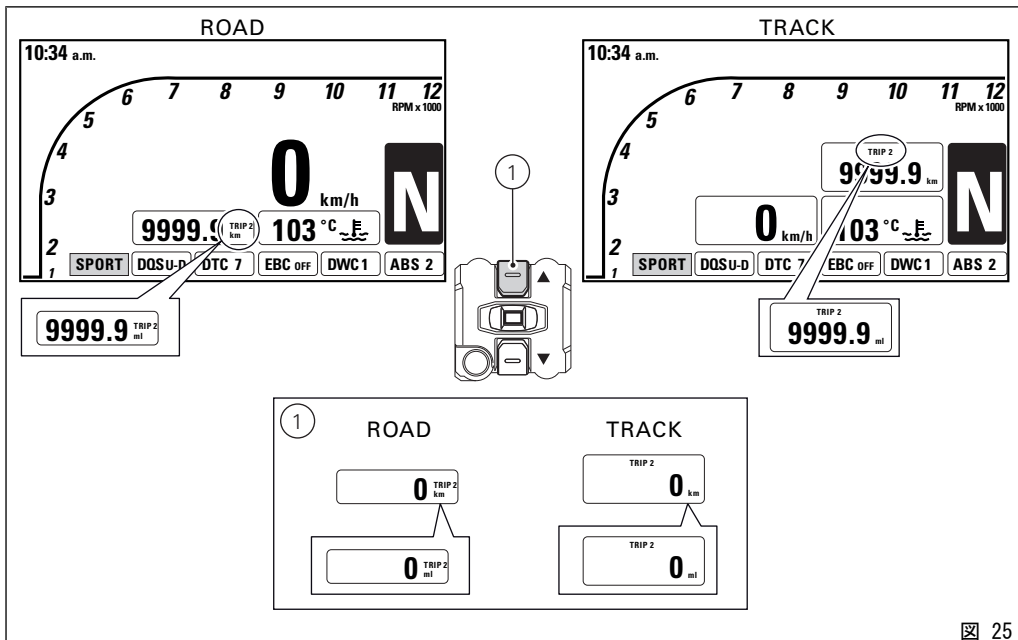
トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位 (キロまたはマイル) でカウント、表示します。

TRIP2 に対応する数値 (キロ またはマイル) は、TRIP2 の文字と単位で表示されます。

データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

トリップメーターの表示中にボタン (1) を 3 秒間押すと、TRIP 2 のデータがリセットされます。

TRIP2 のカウントは、システムの単位を手動で変更した場合にも自動的にリセットされます。新しく設定した単位でゼロから再カウントされます。



## メニュー1: 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)

燃料リザーブトリップメーターは、車両のリザーブでの走行距離（燃料リザーブランプが点灯した時点からの車両の走行距離）を設定単位（キロまたはマイル）でカウント、表示します。

燃料リザーブランプが点灯すると、ディスプレイにその時点で表示されている機能に関係なく TRIP FUEL 機能が表示され、その後、メニューの他の機能をスクロール表示することができます。

リザーブタンク使用の状態が続く場合は、Key-OFF 後もデータは記憶されます。カウンターはリザーブ状態でなくなった時点で自動的に中断されます。

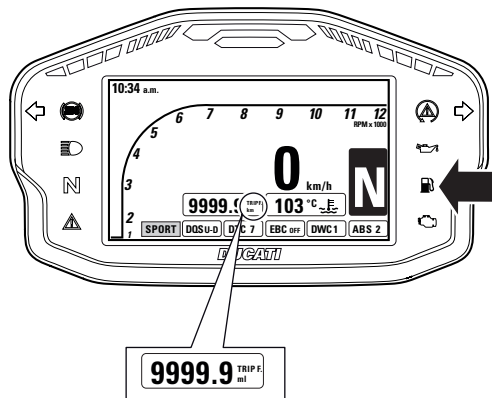
TRIP FUEL に対応する数値（キロまたはマイル）

は、“TRIP FUEL” の文字と単位で表示されます。

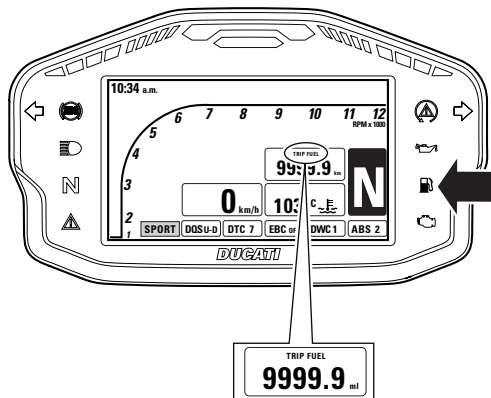
データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

TRIP FUEL 機能が起動していない場合は、メニュー内に対応する値を表示することはできません。

ROAD



TRACK

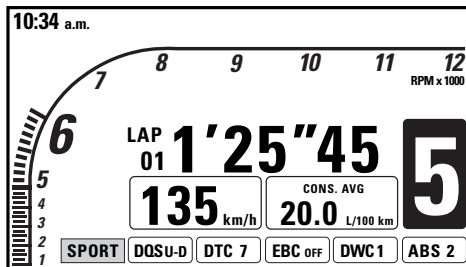
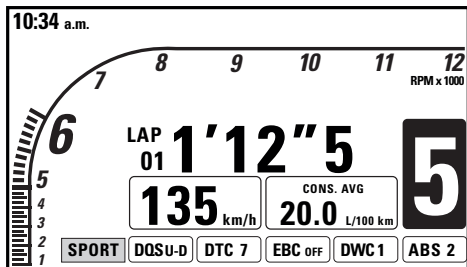
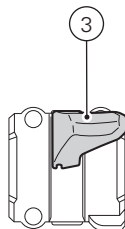
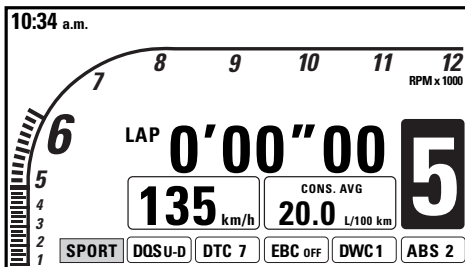


## メニュー1: ラップタイム (LAP time)

LAP 機能は TRACK モードのスタンダードスクリーン表示でのみ使用できます。LAP 機能に関する情報は機能が起動している場合に表示されます。TRACK モードのスクリーンを選択すると、LAP 機能が自動的に表示されます。その後、メニュー 1 にその他の機能を表示することもできます。LAP 機能を起動すると、ストップウォッチが “0' 00' ' 00” を表示し、LAP 数は “LAP - - ” で表示されます。

FLASH ボタン (3) を押すと、10 分の 1 秒 (“0' 00' ' 0”) 単位でストップウォッチがカウントを始め、周回中のラップ数が表示されます。その後 FLASH ボタン (3) を押す度に、直前周回のラップ数およびラップタイムが一時的に表示されます。続いてストップウォッチ、進行中の新しい周回のラップ数が改めて表示されます。“LAP” 機能が表示されない場合でもラップが 5 秒間表示されたのち、設定されている機能 (例 : LEAN) が新たに表示されます。ストップウォッチが起動しているも車両が停止している場合、5 秒後にストップウォッチの機能が一時的にストップし、ストップウォッチは初期表示 “0' 00' ' 00” およびラップ数 “LAP - - ” に戻りません。その後 FLASH ボタン (3) を 1 回押すと、再度ストップウォッチが起動します。







## 参考

LAP 機能が起動中、FLASH ボタンはハイビームの点滅とストップウォッチのラップ Start / Stop 操作（新しい周回の開始指示）の両方に使用します。



## 参考

TRIP FUEL 機能は常に LAP 機能より優先されます。LAP 機能が起動している状態で TRIP FUEL 機能が起動すると、自動的に LAP 機能のストップウォッチ表示が停止され、TRIP FUEL 機能に関する情報が表示されます。

## LAP の記録

LAP 機能が起動している場合、連続して 30 周回までラップタイプを記録することができます。

操作

- FLASH ボタン (3) を押すと、10 分の 1 秒 (“0' 00' ' 0”) 単位でストップウォッチが表示されます。

- FLASH ボタン (3) を押す度に、インストルメントパネルは直前周回のラップ数およびラップタイムを 100 分の 1 秒単位で 5 秒間ディスプレイに表示します。“LAP” 機能が表示されない場合でもラップが 5 秒間表示されたのち、設定されている機能（例：LEAN）が新たに表示されます。
- 5 秒後、インストルメントパネルは進行中の新しい周回のラップ数の表示に戻ります。
- その後 FLASH ボタン (3) か同等ボタンを 1 回押すと、再度ストップウォッチが起動します。

ラップタイムが最大 9 分 59 秒 99 以内に停止されない場合、ストップウォッチは再度ゼロからカウントを開始し、ラップが停止されるか記録機能が解除されるまでカウントを続けます。

ラップ数は 01 から 30 まで順番に表示されます。最初の 30 周が終わると、インストルメントパネルは LAP 01 から情報を上書きします。

LAP 機能が一時中断され (ROAD スクリーンに変更、一時的に OFF、または Key-OFF)、ラップメモリーが削除されずにその後再開した場合 (TRACK スクリーンに変更、再度 ON、または Key-ON)、ラップ情報は古いラップ情報に上書き保存されます。例：消去せずに 34 周を終えた場合、インストルメントパネルは最初の 30 周をメモリーし、その後最初の 4 周を

上書きします。次の Key-ON 時、もしくは LAP 機能を再起動した時にメモリーが消去されていない場合は、インストルメントパネルは LAP 05 からメモリーを続けます。

それぞれの LAP で以下の情報が記録されます。

- 30 周分のラップタイム（連続したスタートとストップ間のタイム）
- 30 周分の最大 RPM 値（各ラップの最大 RPM 値）
- 30 周分の最高スピード（各ラップの最高スピード）
- 30 周分のリーン角（左側最大リーン角、右側最大リーン角）

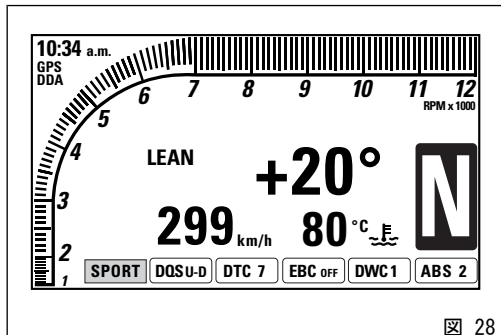
## メニュー 1：リーンアングル (LEAN ANGLE)

LEAN ANGLE 機能は TRACK モードのスタンダードスクリーン表示でのみ使用できます。LEAN ANGLE 機能が ON の時、この機能に関連する情報はメニュー 1 で確認することができます。LEAN ANGLE 機能により、インストルメントパネルはバイクから取得したリーン角をリアルタイムで表示します。マイナスで表示される角度は左側（進行方向に対して）への傾斜角度に相当し、プラス角度は右側への傾斜角度に相当します。



### 参考

TRIP FUEL 機能はいずれの場合も LEAN ANGLE 機能より優先されます。LEAN ANGLE 機能が起動している状態で TRIP FUEL 機能が起動すると、自動的に LEAN ANGLE 機能の表示が停止され、TRIP FUEL 機能に関する情報が表示されます。



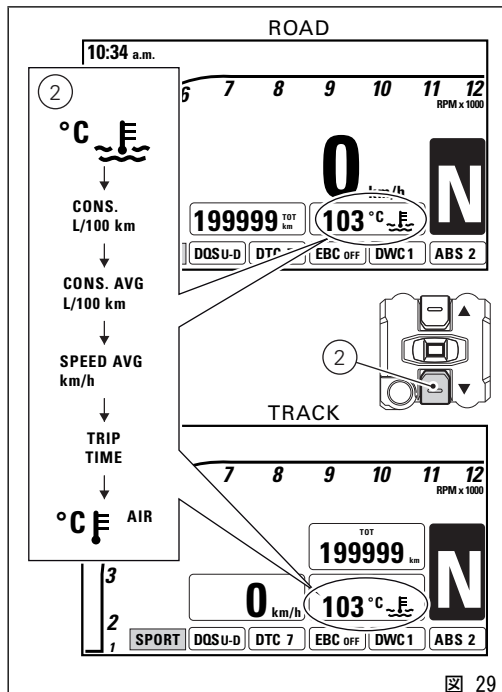
## メニュー2の機能

3種類のライディングモード設定（RACE、SPORT、WET）のそれぞれについて、メニュー2機能が以下の2種類の表示モードのいずれかで表示されます。

- ROAD
- TRACK

機能は以下の通りです。

- エンジンクーラント温度
- 瞬間燃費（CONS.）
- 平均燃費（CONS. AVG）
- 平均スピード（SPEED AVG）
- トリップタイム（TRIP TIME）
- 外気温



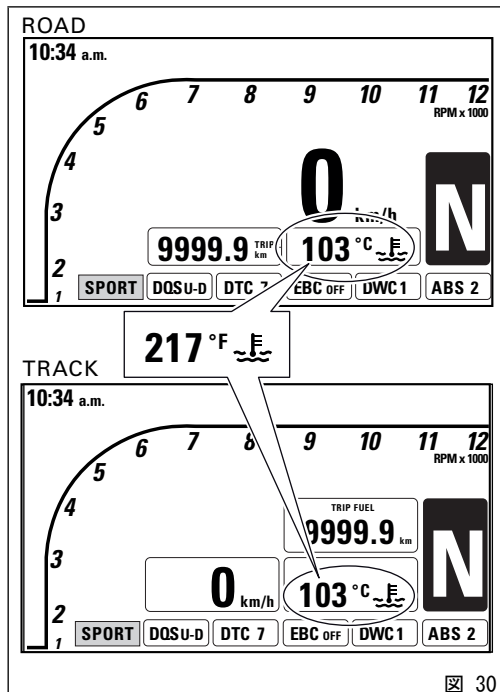
## メニュー2: エンジンクーラント温度

インストルメントパネルはエンジン温度の情報 (° C) を受信し、設定単位 (° C または ° F) に変換したデータ、単位、エンジン温度のシンボルを表示します。

エンジン温度の表示範囲は 40 ° C ~ +120 ° C (+104 ° F ~ +248 ° F) です。

データが以下の場合：

- -40 ° C 以下の場合、“---” が点滅表示されます。
- -39 ° C ~ +39 ° C の場合、“LOW” が点灯します。
- +40 ° C ~ +120 ° C の場合、データが表示されます。
- +121 ° C 以上の場合、“HIGH” が点滅表示されます。

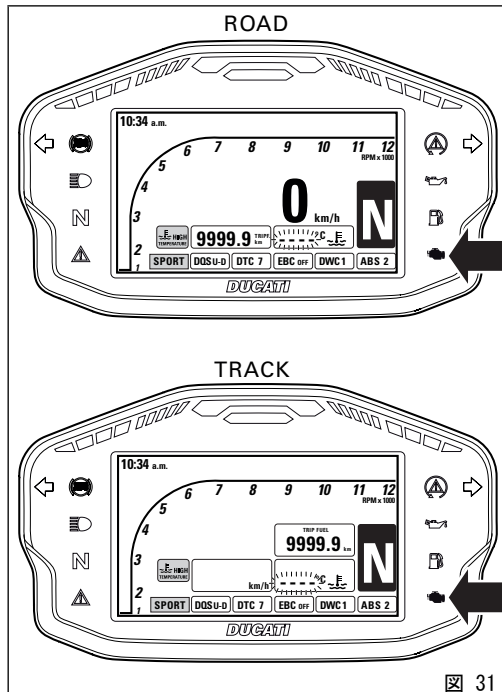


クーラントが以下の温度を超えた場合：

- 100 °C : メニュー 2 に表示されている他の機能に関係なく温度値がメニュー 2 に直ちに表示されます。メニュー 2 の他の機能も表示することができます。
- 121 °C : メニュー 2 に表示されている他の機能に関係なく温度値がメニュー 2 に直ちに表示されます。メニュー 2 の他の機能を表示することはできません。さらに、警告アイコンが表示されます。

クーラント温度センサーエラーの場合、設定単位と共に “- - -” が点滅表示されます。さらに、EOBD ランプが点灯し、“ENGINE TEMP. SENSOR” エラーが表示されます。

インストルメントパネルがクーラント温度のデータを受信しない場合、単位と共に “- - -” が固定表示されます。



## メニュー2: 瞬間燃費

インストルメントパネルは車両の瞬間燃費、設定単位、CONSの文字を表示します。

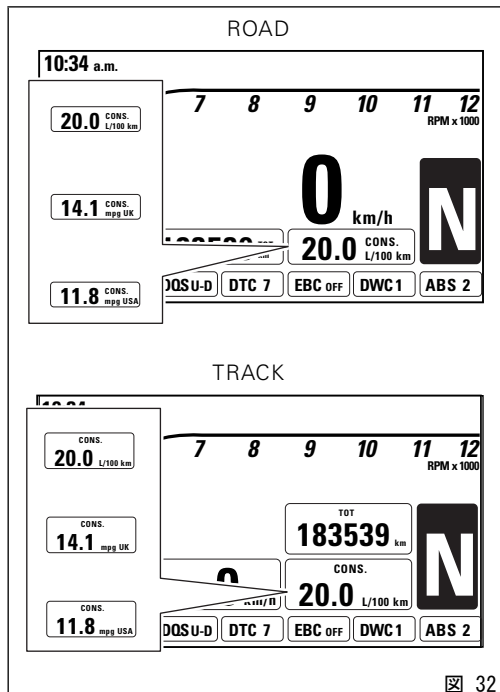
数値は直前の 1 秒間の燃料消費量と走行距離から算出されます。データは設定された単位リットル /100 km、mpg UK、mpg USA で表示されます。

数値はエンジンが作動しており車両が動いている場合에만算出されます (車両速度がゼロ、あるいはエンジン停止状態で車両が停車している間は算出されません)。算出がされない場合は、ディスプレイ上に " - - - " が瞬間燃費として固定点灯します。



### 参考

設定メニューの UNITS 機能から、燃費の単位を L/100 から km/L に変更することができます (平均燃費、瞬間燃費を同時に変更)。





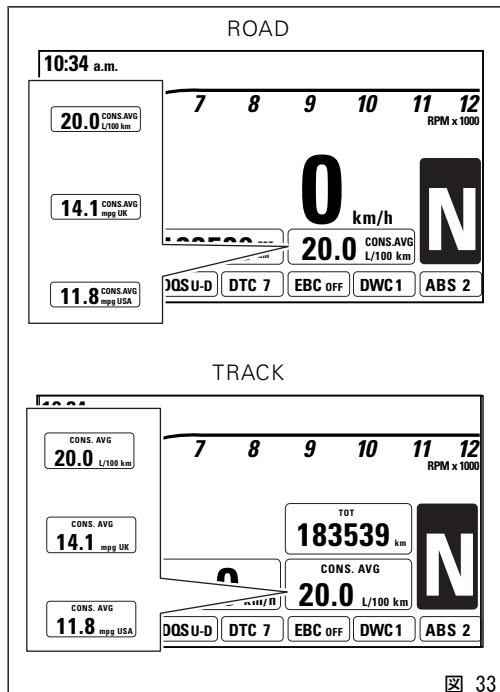
## メニュー2: 平均燃費

インストルメントパネルは車両の平均燃費、設定単位、“CONS. AVG”の文字を表示します。

TRIP1 が最後にリセットされてからの消費燃料および走行距離から計算されます。

TRIP1 がリセットされると、データがリセットされ、次のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値が表示されない最初の 10 秒間は“—.—”が平均燃費として固定表示されます。データは設定された単位 (リットル /100 km、mpg UK、mpg USA) で表示されます。

停車中であってもエンジンが作動している場合は時間が計算されます (車両停車中でエンジンが停止している時間は考慮されません)。





## 参考

設定メニューの UNITS 機能から、燃費の単位を L/100 から km/L に変更することができます（平均燃費、瞬間燃費を同時に変更）。

## メニュー2: 平均スピード

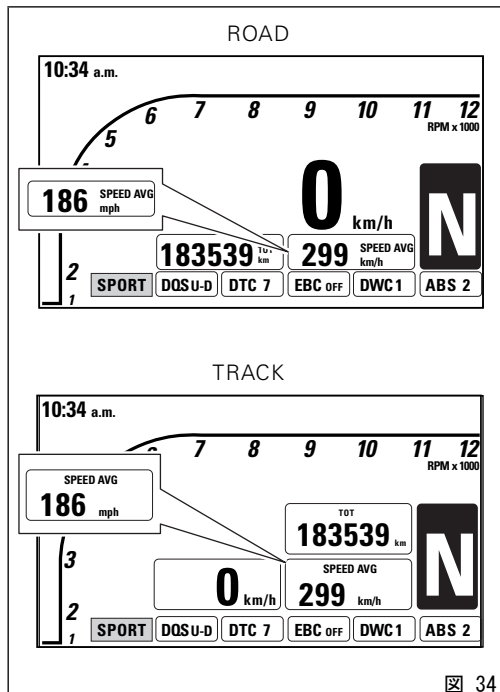
インストルメントパネルは車両の平均スピード、設定単位、“SPEED AVG”の文字を表示します。

TRIP1 が最後にリセットされてからの走行距離と時間から計算されます。

TRIP1 がリセットされると、データがリセットされ、次のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値が表示されない最初の 10 秒間は“-.-”が平均スピードとして固定表示されます。

停車中であってもエンジンが作動している場合は時間が計算されます（車両停車中でエンジンが停止している時間は考慮されません）。

平均スピードは車両スピードの表示と同様に、実速度に 5 % 上乗せした値が表示されます。





## 参考

設定メニューの UNITS SETTING 機能から、スピードの単位を km/h (km) から mph (mi) に変更することができます (走行距離を同時に変更)。

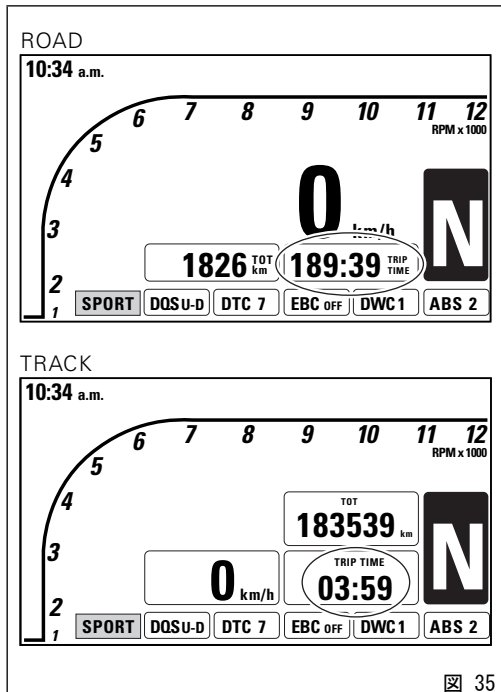
## メニュー2: 走行時間

インストルメントパネルは走行時間を“hhh:mm”形式で算出し、“TRIP TIME”の文字と共に表示します。TRIP1 が最後にリセットされて以降の走行時間から計算されます。TRIP1 がリセットされると、データもリセットされます。車両が停止していてもエンジンが作動中であれば計算されます（車両停止中でエンジンが停止している時間は自動的に止まり、エンジンが作動すると自動的に時間測定を再開します）。表示時間が“720:00”（720 時間 00 分）を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。



### 参考

スピード（および距離）、または燃費に関する値の単位が変更された場合、走行時間のデータは自動的にリセットされます。



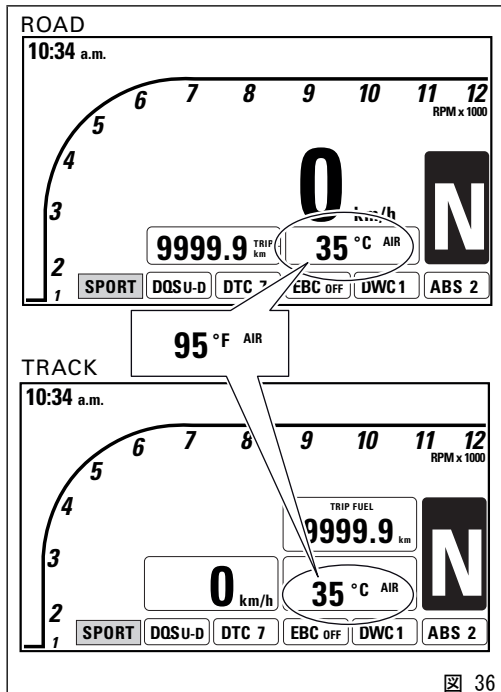
## メニュー2: 外気温

インストルメントパネルは設定された単位 (°C または °F) に換算された外気温、設定単位、AIR の文字、温度計の記号を表示します。温度データは -39 °C ~ +124 °C (-38 °F ~ +255 °F) の場合に表示されます。それ以外の温度 (-39 °C 未満 か +124 °C を超える場合) では " - - - " と単位が表示されます。

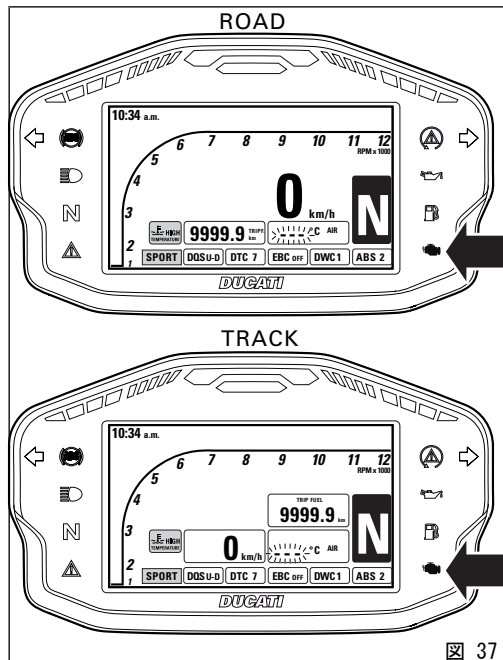


### 参考

エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響を与える場合があります。



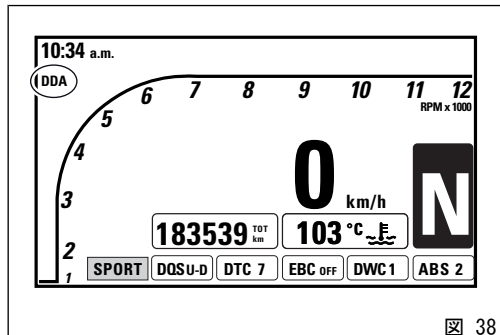
気温センサーエラーの場合、インストルメントパネルには単位と共に “ --- ” が点滅します。EOBDランプが点灯し、該当するエラー “T AIR SENSOR” がディスプレイに表示されます。インストルメントパネルが気温のデータを受信しない場合、単位と共に “ --- ” が固定表示されます。



## サブ機能

### DDA

車両に DDA 装置が搭載されている場合のみインストルメントパネルは DDA に関する情報を表示します。“DDA”の文字が表示される場合、DDA 装置が起動しており、記録が行われています。“DDA”の文字が表示されない場合、DDA 装置は起動していません。





## 時計 (CLOCK)

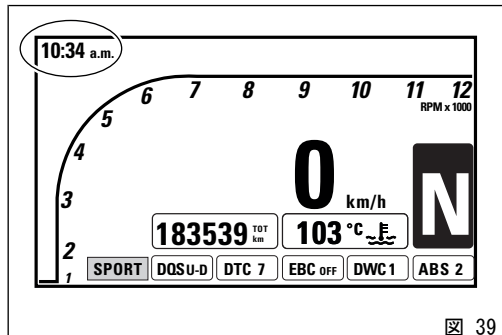
インストルメントパネルは時間に関する情報を表示します。

時間情報はディスプレイの左上端に表示されます。インストルメントパネルは時間を次のように表示します。

hh (時間) : mm (分)

“a.m.” (0:00 から 11:59)、または “p.m.” (12:00 から 12:59、1:00 から 11:59)。

インストルメントパネルが現在の時刻情報を受信しない場合、“-- : -- a.m.” が固定表示されます。

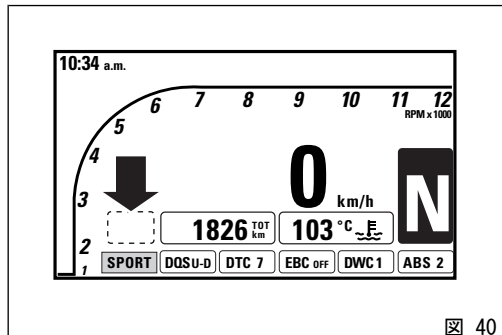


## メンテナンス表示 (SERVICE)

この表示は、Ducati 正規サービスセンターで車両のメンテナンス（定期点検）を実施する必要があることをユーザーに通知します。

メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができます。

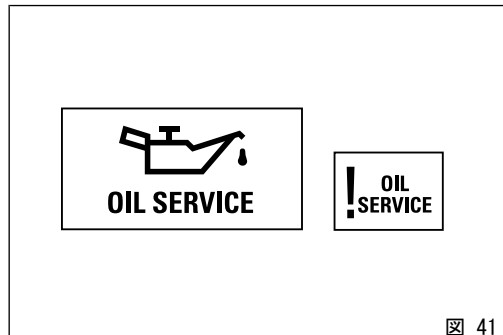
アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです（“ページ 109” の章を参照）。



## OIL SERVICEゼロ表示

最初のメンテナンス表示は、OIL SERVICE ゼロを通知します。オドメーターが最初の 1000 km に達すると大きく表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて“リセット”されるまで常に小さく表示されます。

アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです (“ページ 109” の章を参照)。



## OIL SERVICE または DESMO SERVICE カウントダウン表示

OIL SERVICE ゼロ (1000 km) 表示の最初のリセットが行われた後、インストルメントパネルは次の定期点検 (OIL SERVICE または DESMO SERVICE) までの残りのキロ数 (マイル数) のカウントを開始します。Key-ON する度に緑色の表示が 2 秒間大きく表示されます。定期点検までの走行距離が 1000 km を切ると表示は黄色になり、Key-ON 毎に 5 秒間表示されます。

アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです (“ページ 109” の章を参照)。

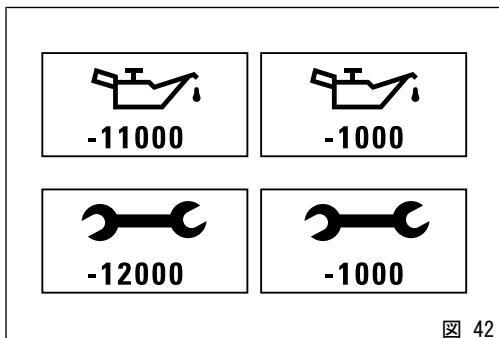


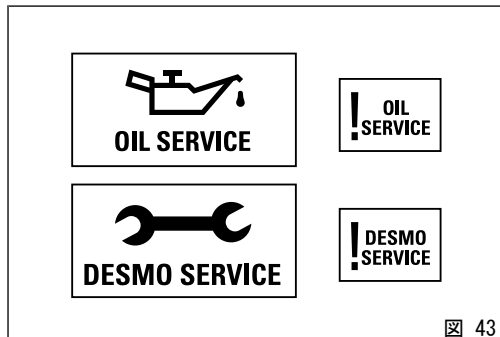
図 42

## OIL SERVICE又はDESMO SERVICE表示

メンテナンスを必要とする走行距離に達すると、必要なメンテナンスのタイプ（OIL SERVICE または DESMO SERVICE）が表示されます。

実施するメンテナンスの種類が KEY-ON 毎に 5 秒間大きく表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて“リセット”されるまで常に小さく表示されます。

アイコン表示は注意 / 警告の表示方法と同じです（“ページ 109” の章を参照）。



## 警告/アラーム

車両使用中にユーザーに有用な情報を提供するため、インストルメントパネルは一連の注意/警告 (warnings) を管理します。

KEY-ON 時に警告が検知されると、インストルメントパネルのディスプレイに警告が表示されます。

車両の通常作動時に警告が検知されると、インストルメントパネルのディスプレイに警告が自動的に表示されます。警告が検知されると最初の 5 秒間はつきりと表示され (大きいアイコン)、その後小さく表示されます (小さいアイコン)。

複数の警告が検知された場合、各警告アイコンが 3 秒ずつ順番に表示されます。

1 つ以上の“警告”が存在する場合、警告ランプは点灯しません。

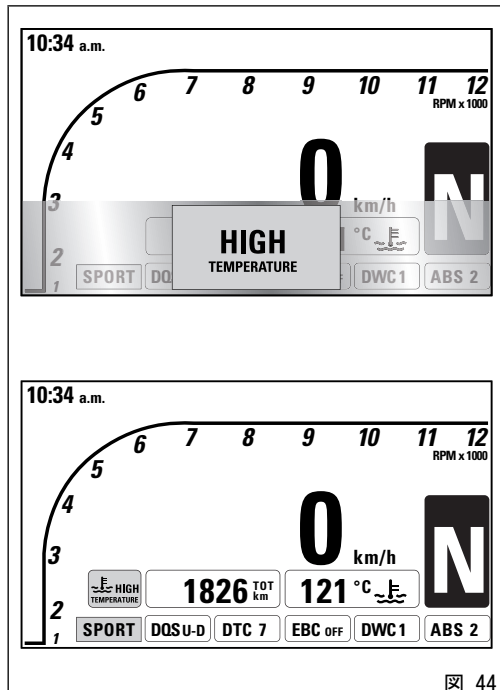
## エンジンクーラント温度高 (High temperature)

この機能では、エンジンクーラント温度が 121° C (250° F) に達すると警告を表示します。



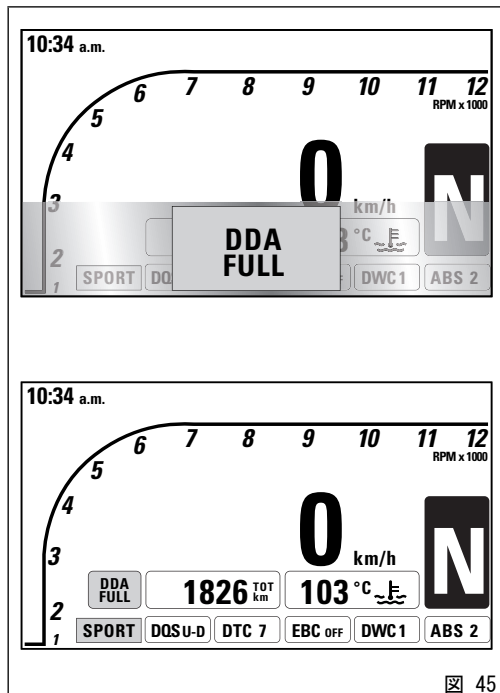
### 参考

この場合、速やかに車両を停止してエンジンを切ってください。ファンが作動していることを確認してください。



## DDA メモリーフル (DDA full)

この機能では、DDA メモリーがいっぱいでこれ以上走行データを記録できない場合に警告を表示します。





## 凍結

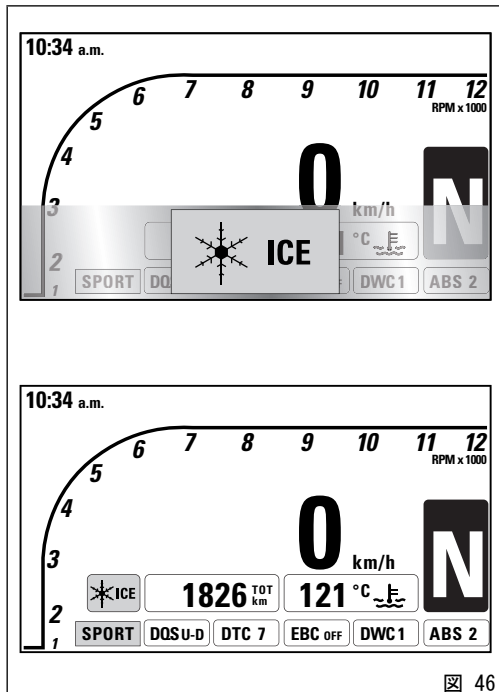
この機能では、外気温が低いため路面凍結の危険があることを表示します。

温度が 4° C (39° F) に下がると表示され、6° C (43° F) に上がると表示が消えます。



### 警告

気温が 4° C (39° F) 以上でも道路が氷結している可能性があります。外気温が“低い”時、特に日陰や橋の上では細心の注意を払って運転してください。



## エラー表示

インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。

車両 Key-ON 時にエラーが検知された場合、インストルメントパネルのディスプレイにエラーが表示され、EOBD ランプ (図 47) (エンジンコントロールユニットに直接関連するエラー) もしくは一般的エラー警告灯 (図 48) (その他エラー全般) が点灯します。

車両の通常作動時にエラーが検知されると、インストルメントパネルのディスプレイにエラーが自動的に表示され、EOBD ランプもしくは一般的エラー警告灯が点灯します。

エラーが検知されると最初の 5 秒間は大きく表示され (大きいアイコン)、その後小さく表示されます (小さいアイコン)。

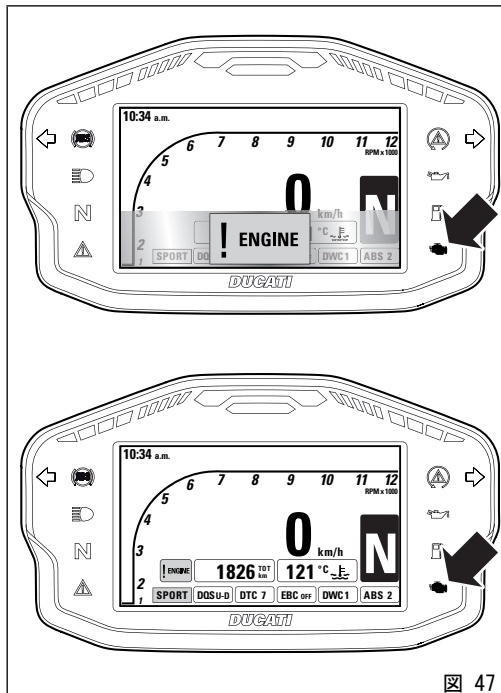


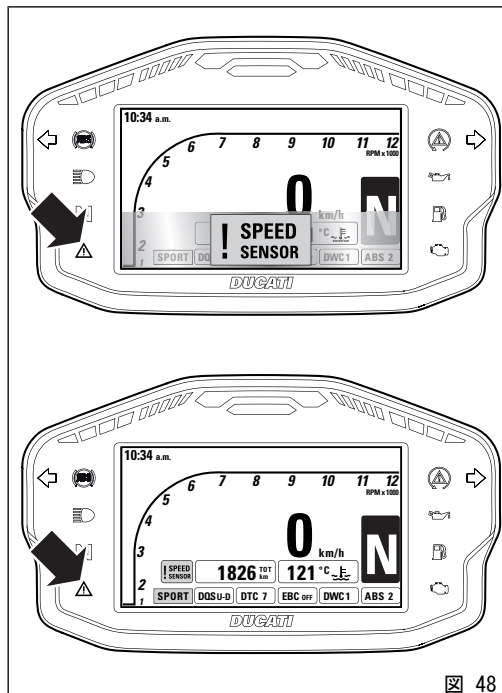
図 47

複数のエラーが検知された場合、各エラーアイコンが 3 秒ずつ順番に表示されます。

エラー検知と同時に EOBD ランプもしくは一般的エラー警告灯が点灯します。次の表には、各エラーに対応する警告灯を表示しています。

## 警告

ひとつ以上のエラーが表示される場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。



## エラー表示の説明

エラー表示	説明	警告灯
CAN LINE	BUS OFF	一般的エラー
BBS	BBS/DTC 機能障害全般	一般的エラー
	EXVL モーターエラー	一般的エラー
	EXVL ポテンシオメーターエラー	一般的エラー
BBS + FAN	CAN ノード機能不全	一般的エラー
	CAN ノード喪失	一般的エラー
GEAR SENSOR	ギアセンサー機能障害	一般的エラー
FUEL SENSOR	NTC リザーブセンサー機能障害	一般的エラー
SPEED SENSOR	リアスピードセンサー機能障害	一般的エラー
	フロントスピードセンサー機能障害	一般的エラー
BATTERY	バッテリー電圧高すぎる、または低すぎる	一般的エラー
UNKNOWN DEVICE	CAN ノードの互換性がない	一般的エラー
DSB	CAN ノード喪失、または機能不全	一般的エラー
ABS	CAN ノード喪失、または機能不全	一般的エラー
STOP LIGHT	ストップランプ故障	一般的エラー
ENGINE	スロットルポジションセンサー故障	E0BD
	スロットルグリップポジションセンサー故障	E0BD

エラー表示	説明	警告灯
	スロットルリレーまたはスロットルモーター故障	E0BD
	圧力センサー故障	E0BD
	エンジンクーラント温度センサー故障	E0BD
	インテークダクト温度センサー故障	E0BD
	インジェクションリレー故障	E0BD
	イグニッションコイル故障	E0BD
	インジェクター故障	E0BD
	エンジン回転数センサー故障	E0BD
	ラムダセンサーまたはラムダセンサーヒーター故障	E0BD
	ECU 機能障害全般	E0BD
	車両スターターリレー故障	E0BD
	セカンダリアエアセンサー機能障害	E0BD
	クイックシフトスイッチ機能障害	E0BD
	CAN ノード喪失、または機能不全	E0BD
	外気圧センサー故障	E0BD
FAN	エレクトリッククーリングファン故障	一般的エラー
E-LOCK	E-Lock 機能障害全般	一般的エラー
	キー - アンテナ (イモビライザー) 機能障害	一般的エラー

エラー表示	説明	警告灯
	CAN ノード喪失、または機能不全	一般的エラー
SIDE STAND	サイドスタンドセンサー機能障害	一般的エラー
INERTIAL SENSOR	CAN ノード喪失、または機能不全	一般的エラー
	慣性センサーコントロールユニット機能障害	一般的エラー
DEVICE DDA	CAN ノード機能不全	一般的エラー








### 参考

“FAN” の表示は、ファンと正常に通信しない BBS コントロールユニットの不具合でも表示されることがあります。エンジン温度表示に注意してください。

## エラーアイコン表

ランプ / エラーメッセージ	エラー
 ABS	ABS コントロールユニット
 BBS	ブラックボックスコントロールユニット
 DSB	インストルメントパネルコントロールユニット
 E-LOCK	E-LOCK コントロールユニット
 CAN LINE	Can Bus OFF
 UNKNOWN DEVICE	ソフトウェアの互換性
 FUEL SENSOR	リザーブフューエルセンサー
 INERTIAL SENSOR	慣性センサー
 GEAR SENSOR	ギアセンサー
 SIDE STAND	サイドスタンドセンサー

ランプ / エラーメッセージ	エラー
 STOP LIGHT	リアストップライト
 BATTERY	バッテリー電圧
 ENGINE	エンジンコントロールユニット
 SPEEDSENSOR	スピードセンサー
 FAN	クーリングファン



#### 参考

“FAN” の表示は、ファンと正常に通信しない BBS コントロールユニットの不具合でも表示されることがあります。エンジン温度表示に注意してください。

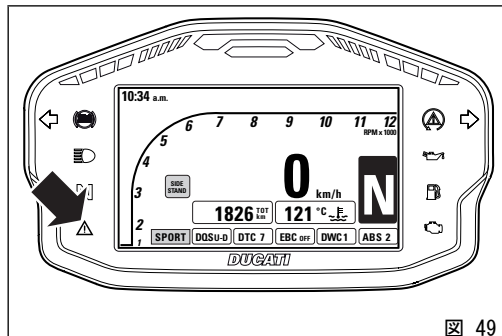


## サイドスタンドステータスの表示

インストルメントパネルはスタンドの状態に関するデータを受信し、サイドスタンドが下りている/開いている場合には赤の背景に“SIDE STAND”の文字がディスプレイに表示されます。

サイドスタンドセンサーにエラーがある場合、インストルメントパネルにスタンドが下りている/開いている警告を表示し、一般的エラー警告灯が点灯します。ディスプレイには該当するエラー“Side stand sensor”が表示されます。

インストルメントパネルがサイドスタンドの状態に関するデータを受信しない場合、スタンドが下りている/開いている場合の“SIDE STAND”の表示が点滅し、不明の状態を表します。



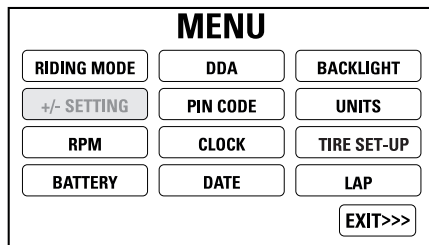
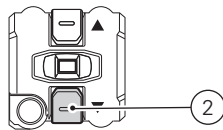
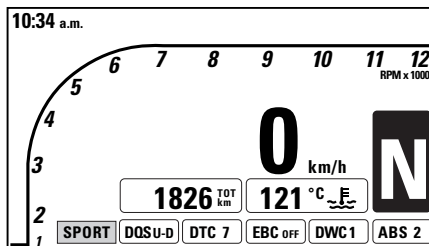
## 設定メニュー

このメニューではいくつかの車両機能の ON/OFF および設定を行います。

設定メニューに入るには、Key-ON の状態で車両実速度が 20 km/h 以下の時にボタン (2) を 3 秒間押します。設定メニューの表示中は他の機能を表示することはできません。

設定メニューには以下の機能が表示されます。

- RIDING MODE
- RPM
- BATTERY
- DDA
- PIN CODE
- CLOCK
- DATE
- BACK LIGHT
- UNITS
- LAP (“TRACK” 表示モードのみ)





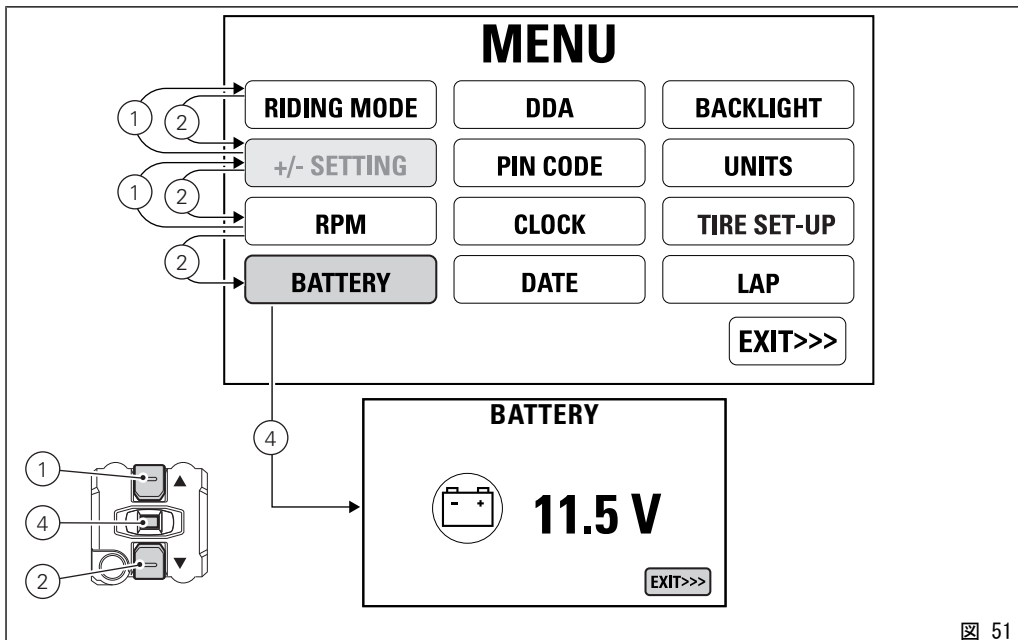
## 重要

安全のために、このメニューは車両が停止している状態で使用してください。

ボタン (1) および (2) を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

機能が装備されていない場合や一時的に解除されている場合は、メニューページにアクセスできません。設定メニューを終了するには、“EXIT” を強調表示し、メニュー決定ボタン 4 を押します。



## ライディングモード のパーソナライズ (Riding Mode)

各ライディングモードのそれぞれの設定をパーソナライズすることができます。

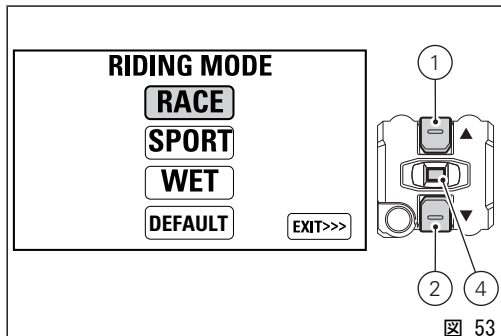
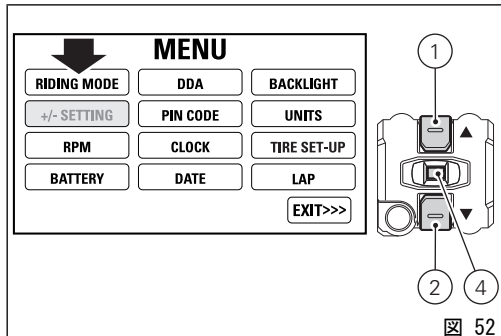
設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “RIDING MODE” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

また、“DEFAULT” ボタンで、すべてのライディングモードのパラメーターをドゥカティ初期設定に回復することができます。

“EXIT” の文字が強調表示された状態でボタン (4) を押すと、サブメニューを終了し前の画面に戻りません。



各ライディングモードについて以下のパラメーターをパーソナライズすることができます。

- ABS
- EBC
- DWC (DTC 機能が OFF 以外に設定されている場合にのみ起動)
- DISPLAY
- DQS
- DTC
- ENGINE
- DEFAULT

ボタン (1) および (2) を押すと、パーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

変更したパラメーターはバッテリーを切り離してもリセットされません。

それぞれのライディングモードを Ducati 初期設定に戻すには、“DEFAULT” 機能を使用します。

“EXIT” の文字が強調表示され、ボタン (4) を押すと、サブメニューを終了して前の画面に戻ります。



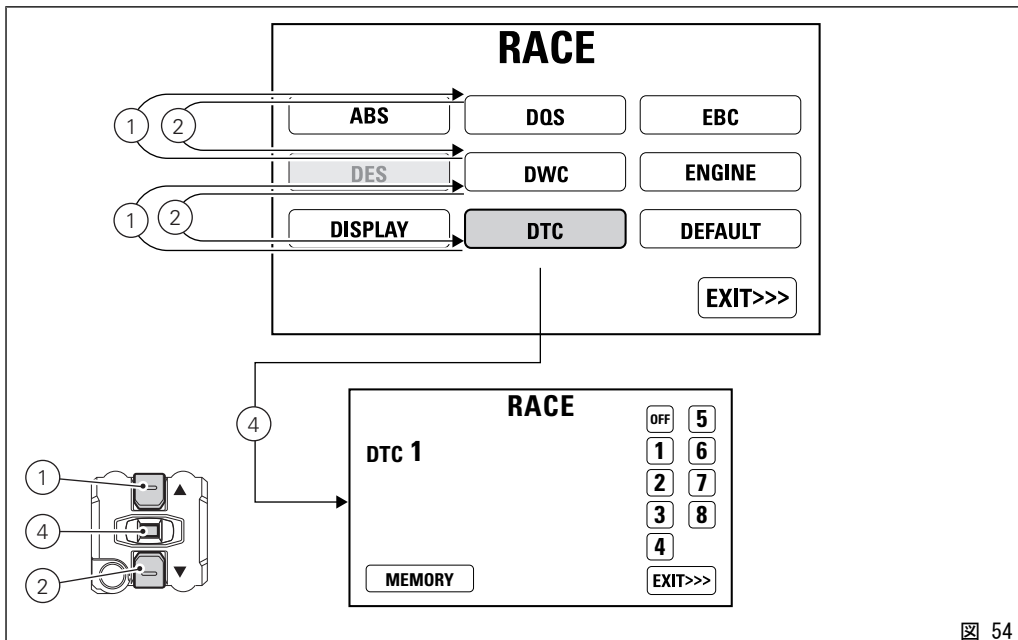
#### 警告

パラメーター変更は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。意図せず変更してしまった場合は、“DEFAULT” 機能を使用してパラメーターを修復してください。



#### 重要

本モーターサイクルのこのバージョンでは DES パラメーターは利用できません。



## ライディングモードのパーソナライズ: ABS 調整

この機能では一つのライディングモードの ABS システム介入レベルの設定、または ABS システムの解除を行うことができます。設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “RIDING MODE” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (ABS) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

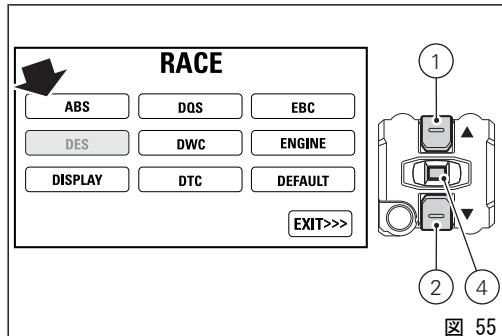
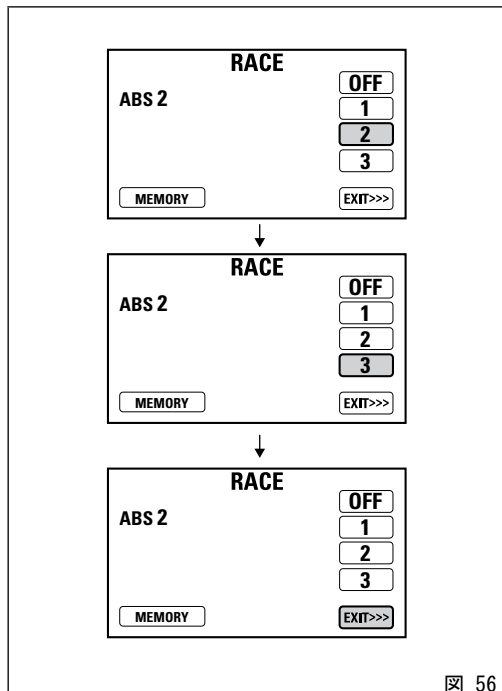


図 55



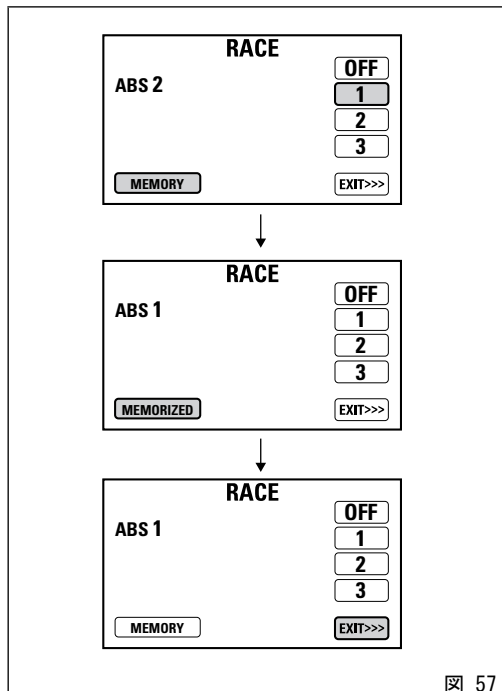
この機能に入ると、左側に現在設定されている ABS レベル、または状態が表示されます（例：ABS 1）。右側にはレベル 1 から 3、および OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。ボタン (1) および (2) を押すと希望の介入レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。希望のレベルを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して “MEMORY” の文字を強調表示します。



新しい設定を保存するには、“MEMORY”の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン(4)を3秒間押します。保存が正しく完了すると、“MEMORIZED”の文字が1秒間緑色に強調され、レベルまたは設定状態が更新されます(更新は緑色で表示)。その後、“EXIT”の文字が緑色で強調表示されます。メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン(4)を押します。

### 参考

この機能を使用してABSシステムを起動または解除する場合、すなわちシステムのステータスを解除から起動、起動から解除へ変更する場合、ABSシステムの起動・解除プロセスが実施されます。ABSコントロールユニットのステータス変更には約6秒かかります。



## ライディングモードのパーソナライズ：ディスプレイの設定

この機能では各ライディングモードと連動するメインスクリーンの表示レイアウトを選択することができます。

設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して“RIDING MODE”を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE”メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DISPLAY) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

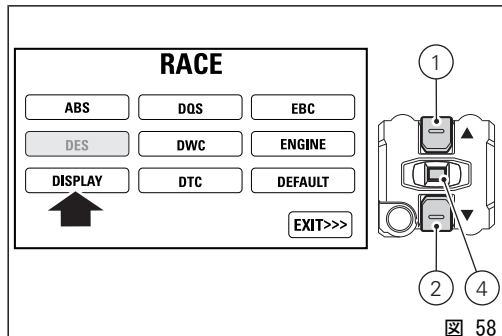


図 58

この機能に入ると、左側に現在設定されているメインスクリーンタイプが表示されます。右側には、以下のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

#### ROAD、TRACK

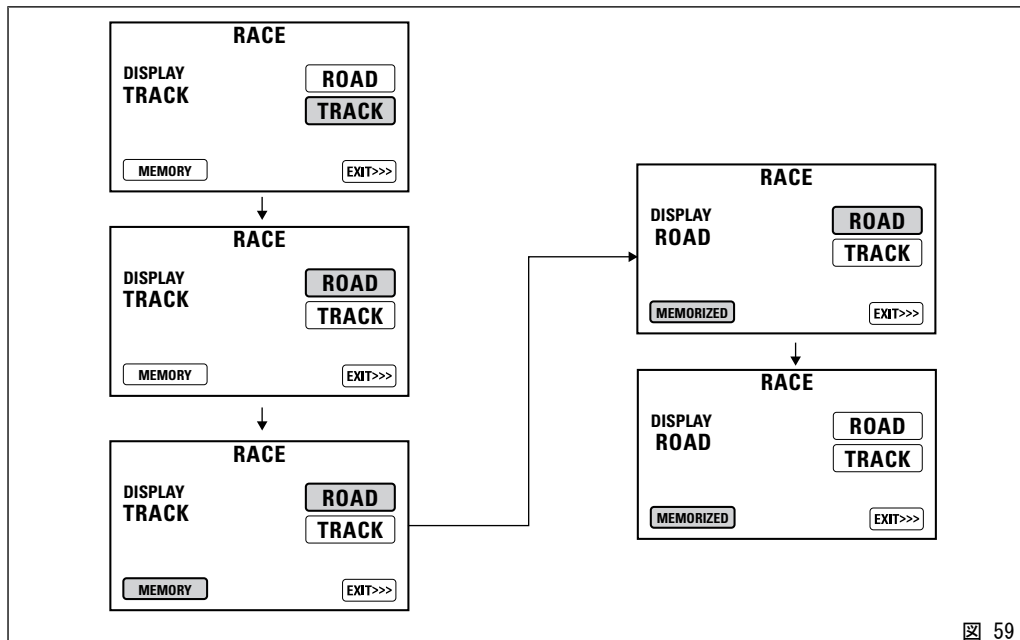
ボタン (1) および (2) を押すと希望のメインスクリーンタイプを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のメインスクリーンタイプを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して “MEMORY” の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、“MEMORY” の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、“MEMORIZED” の文字が 1 秒間緑色に強調され、設定したメインスクリーンレイアウトに更新されます (更新は緑色で表示)。その後、“EXIT” の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



## ライディングモードのパーソナライズ：DQSの起動/解除

DQS のパーソナライズを行うページは、DQS 装置を装備している車両でのみご利用になれます。

この機能ではライディングモード毎に DQS 装置の起動または停止を設定することができます。

設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “RIDING MODE” を選択します。

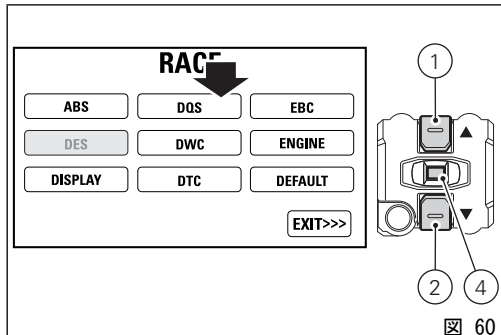
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DQS) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。



この機能に入ると、左側に現在設定されている DQS のステータスが表示されます（例：DQS ON）。

右側にはステータス UP、UP-DOWN、OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

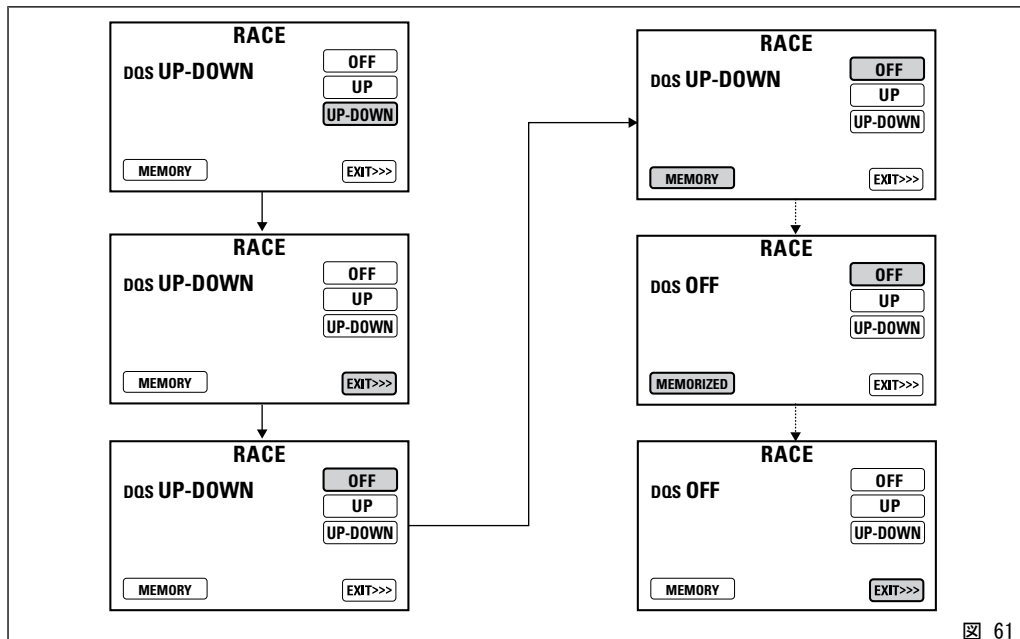
ボタン (1) および (2) を押すと希望のステータスを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のステータスを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して “MEMORY” の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、“MEMORY” の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、“MEMORIZED” の文字が 1 秒間緑色に強調され、ステータス設定が更新されます（更新は緑色で表示）。その後、“EXIT” の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。





## ライディングモードのパーソナライズ: DTC レベルの設定

ここでは各ライディングモードに連動した DTC 介入レベルの設定または解除を行うことができます。

設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "RIDING MODE" を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DTC) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

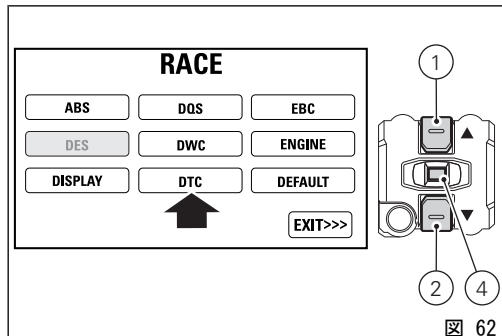


図 62

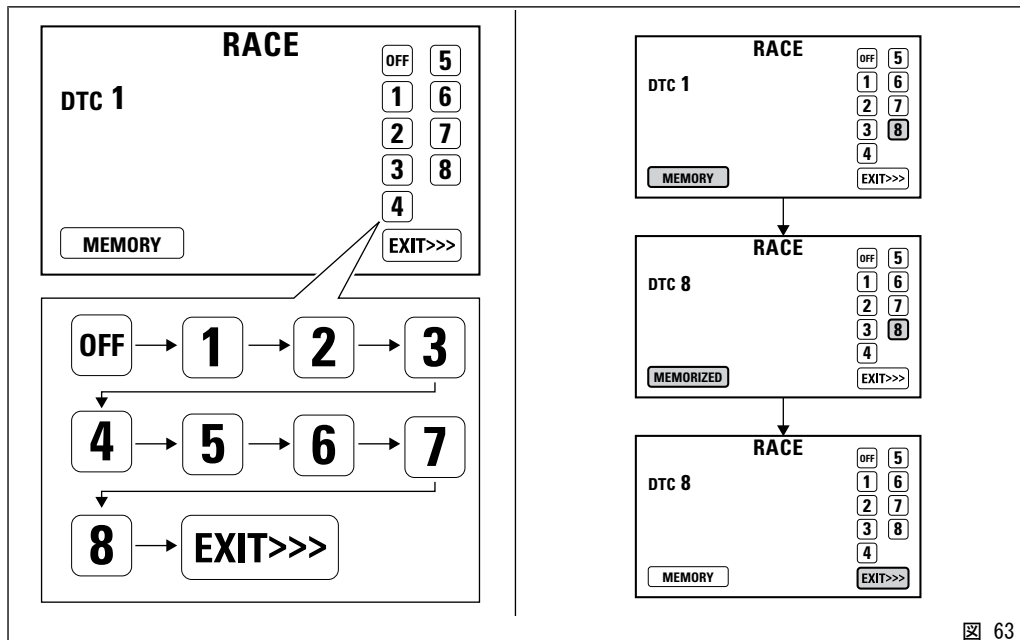
この機能に入ると、左側に現在設定されている DTC レベル、または状態が表示されます（例：DTC 3）。右側にはレベル 1 から 8、および OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

ボタン (1) および (2) を押すと希望の介入レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。希望のレベルを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して“MEMORY”の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、“MEMORY”の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、“MEMORIZED”の文字が 1 秒間緑色に強調され、レベルまたは設定状態が更新されます（更新は緑色で表示）。その後、“EXIT”の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



## ライディングモードのパーソナライズ：エンジンの調整

ここでは各ライディングモードに連動したエンジン出力を設定することができます。

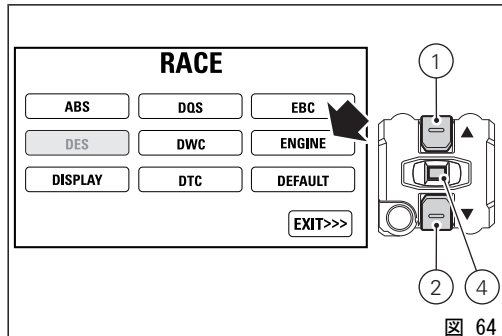
設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “RIDING MODE” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“RIDING MODE” メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

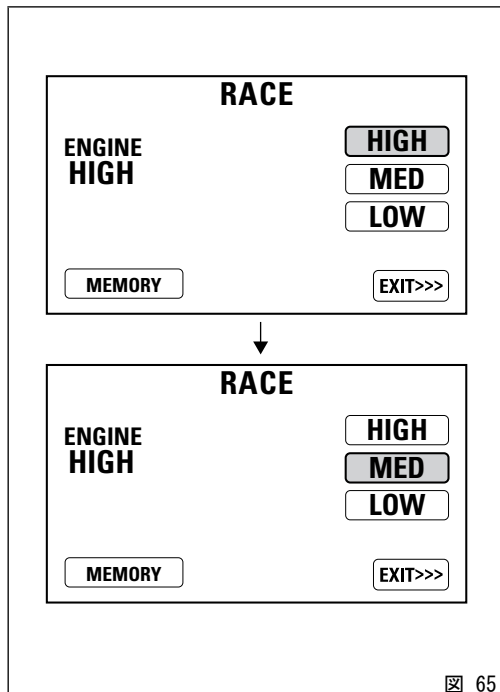
選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (ENGINE) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。



この機能に入ると、左側に現在設定されているエンジン出力が表示されます（例：ENGINE HIGH）。右側には、以下のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

- HIGH、MED、LOW。



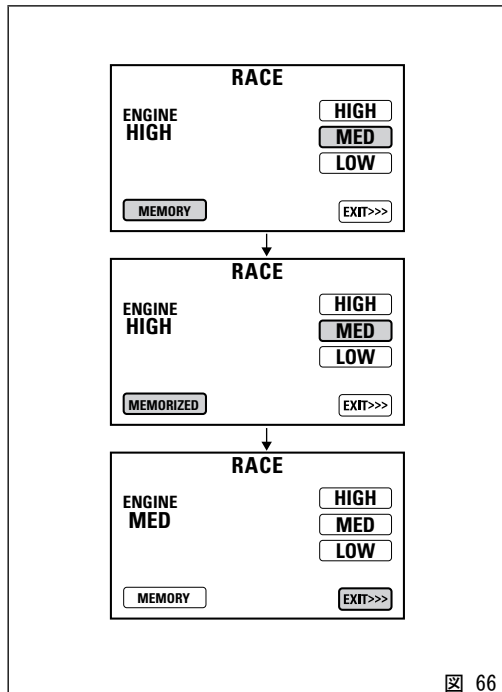
ボタン (1) および (2) を押すと希望のエンジン出力を一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のエンジン出力を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して “MEMORY” の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、“MEMORY” の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、“MEMORIZED” の文字が 1 秒間緑色に強調され、設定したエンジン出力が更新されます (更新は緑色で表示)。その後、“EXIT” の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



## ライディングモードのパーソナライズ：EBC レベルの設定

ここでは各ライディングモードに連動したリアホイールのアンチロックシステム（EBC）の干渉レベルを設定または解除することができます

設定メニューに入ります。

ボタン（1）または（2）を押して“RIDING MODE”を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。

“RIDING MODE”メニューに入ります。

ボタン（1）または（2）を押して、希望のライディングモード（RACE、SPORT、WET）を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン（1）または（2）を押して、パーソナライズするパラメーター（EBC）を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。

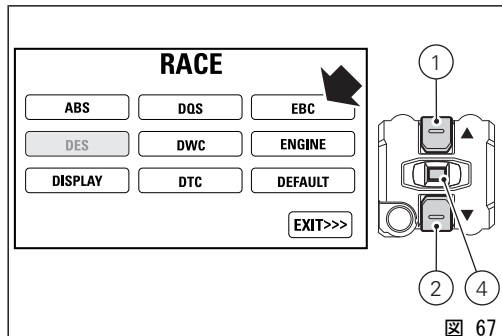
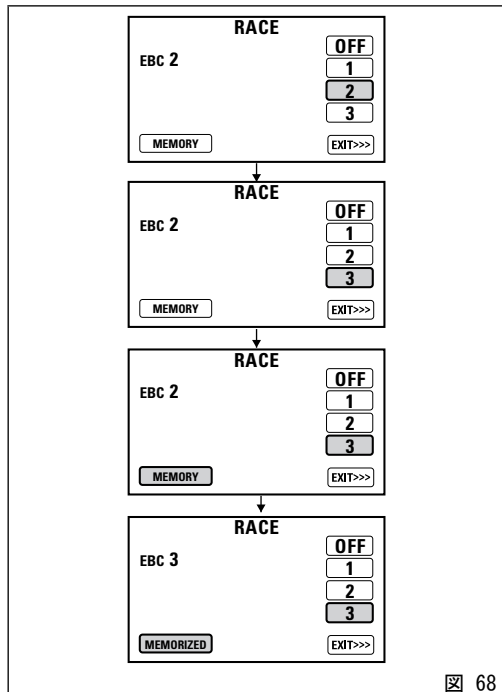


図 67

この機能に入ると、左側に現在設定されている EBC レベル、または状態が表示されます（例：EBC 1）。右側にはレベル 1 から 3、および OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。ボタン (1) および (2) を押すと希望の介入レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。希望のレベルを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して “MEMORY” の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、“MEMORY” の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。保存が正しく完了すると、“MEMORIZED” の文字が 1 秒間緑色に強調され、レベルまたは設定状態が更新されます（更新は緑色で表示）。その後、“EXIT” の文字が緑色で強調表示されます。メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。





## ライディングモードのパーソナライズ： DWC レベルの設定

この機能では各ライディングモードに連動した DWC 介入レベルの設定または解除を行うことができます。設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “RIDING MODE” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

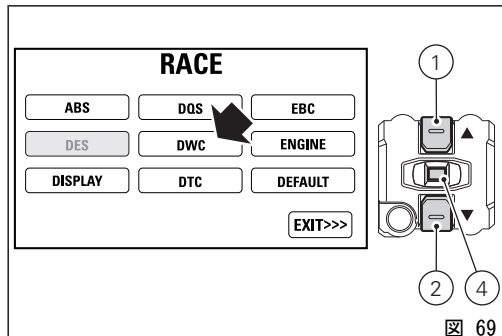
“RIDING MODE” メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DWC) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。





## 参考

DTC 制御が OFF に設定されている場合は、DWC 制御も自動的に OFF になり、該当する設定ページに入ることはできません。

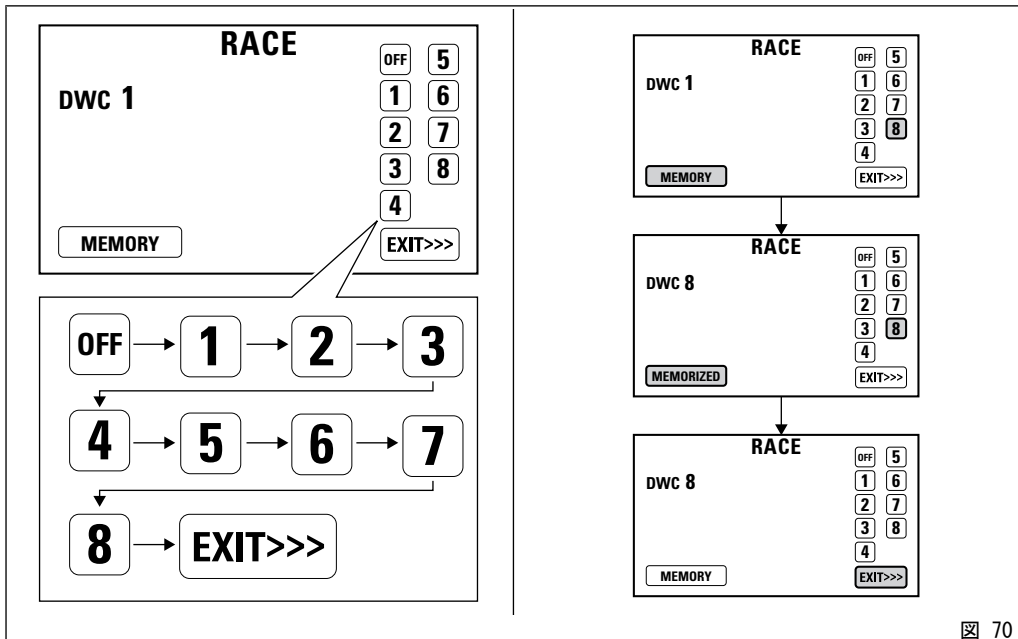
この機能に入ると、左側に現在設定されている DWC レベル、または状態が表示されます（例：DWC 3）。右側にはレベル 1 から 8、および OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。

ボタン (1) および (2) を押すと希望の介入レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。希望のレベルを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して“MEMORY”の文字を強調表示します。

新しい設定を保存するには、“MEMORY”の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

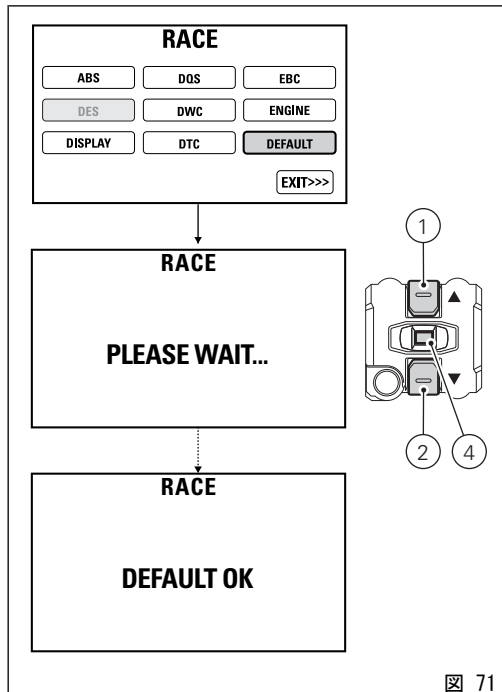
保存が正しく完了すると、“MEMORIZED”の文字が 1 秒間緑色に強調され、レベルまたは設定状態が更新されます（更新は緑色で表示）。その後、“EXIT”の文字が緑色で強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



## ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト設定の回復

ここではそれぞれのライディングモードに連動したパラメーターをドゥカティが設定したデフォルト値に回復させることができます。設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "RIDING MODE" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DEFAULT) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。



パラメーターの回復には 3 秒を要し、この間  
“PLEASE WAIT...” の文字がディスプレイに表示され  
ます。

手順が終了すると、ディスプレイに 2 秒間 “DEFAULT  
OK” の文字が表示され、パラメーターが回復された  
ことを表します。

その後、自動的にライディングモードのパーソナラ  
イズメニューの最初のページに戻り、“EXIT” の文字  
が表示されます。

メニューを終了して設定メニューの最初のページに  
戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4)  
を押します。

## エンジン回転数のデジタル表示 (RPM)

この機能はエンジン回転数 (RPM) をデジタル表示します (より正確な値を得るため、アイドリング中に行うことが推奨されます)。

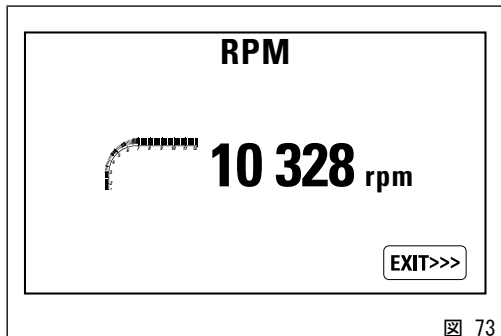
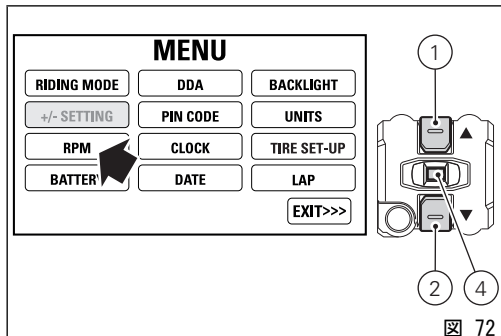
設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “RPM” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RPM” メニューに入ります。ディスプレイにエンジン回転数情報が 50 rpm 単位の数字で表示されます。インストルメントパネルが回転数データを受信していない場合、点線 “-----” が表示されます。これは値が表示できないことを示しています。

メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



## バッテリー電圧

ここでは車両のバッテリー電圧レベルを確認することができます。設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “BATTERY” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“BATTERY” メニューに入ります。ディスプレイには次のように表示されます。

- バッテリー電圧が 11.0 V 未満の場合、“LOW” の文字が点滅し、赤の背景にバッテリーのアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 11.0 V から 11.7 V の場合、電圧データが点滅し、赤の背景にバッテリーのアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 11.8 V から 14.9 V の場合、電圧データが固定表示され、通常背景にバッテリーのアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 15.0 V から 16.0 V の場合、電圧データが点滅し、赤の背景にバッテリーのアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 15.0 V を超えている場合、“HIGH” の文字が点滅し、赤の背景にバッテリーのアイコンが表示されます。

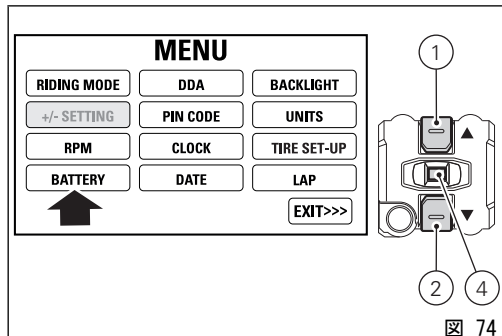
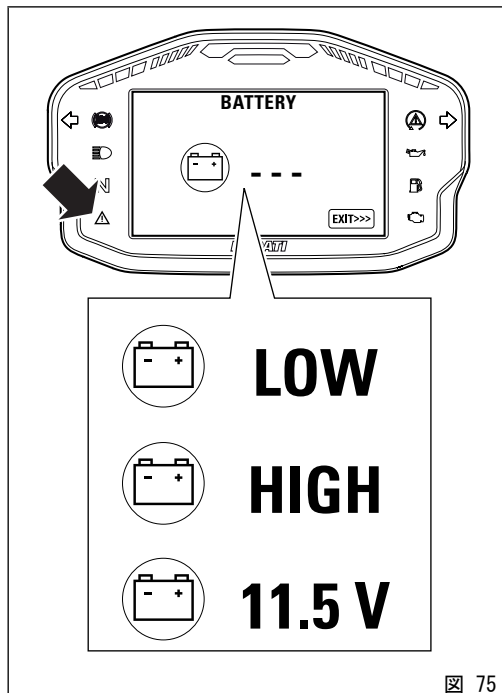


図 74

バッテリー電圧にエラーがある場合、インストールパネルには単位と共に電圧の値として“ --- ”が点滅します。一般的エラー警告灯が点灯し、該当するエラー“BATTERY”がディスプレイに表示されます。

インストールパネルがバッテリー電圧のデータを受信しない場合、単位と共に“ --- ”が固定表示されます。

メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。





## DDA

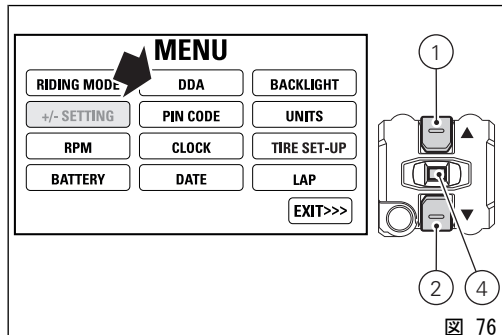
ここでは DDA 装置の起動および解除、メモリー占有率の表示、装置のメモリー削除を行うことができます。

DDA に関するページは車体に装置が搭載されている場合にのみ使用することができます。

設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “DDA” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“DDA” メニューに入ります。



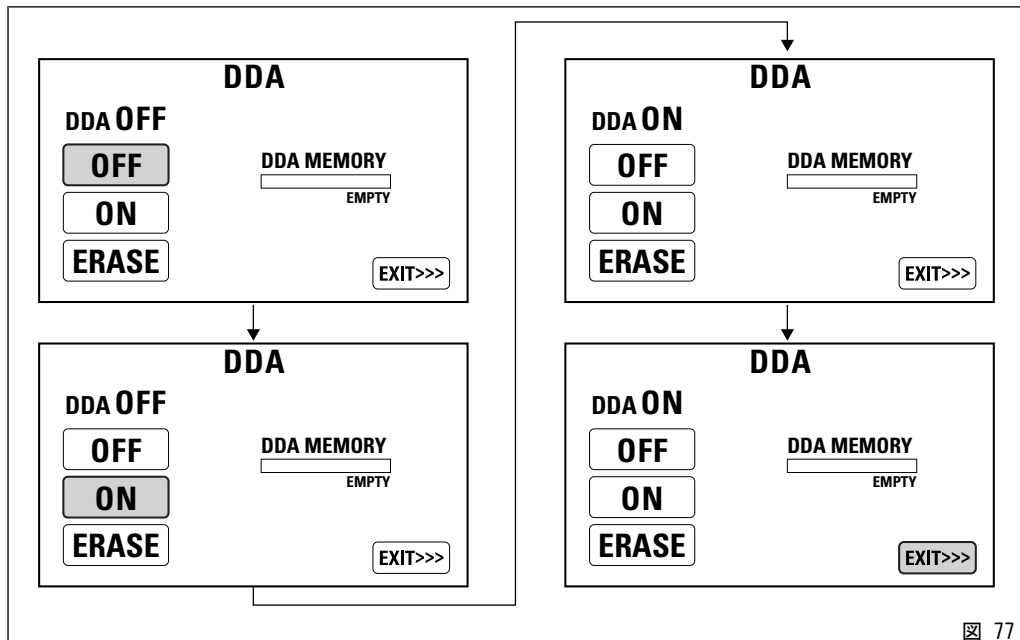
## DDA の起動/解除

この機能に入ると、左側に現在設定されている DDA のステータスが表示されます（例：DDA ON）。その下にはステータス ON またはステータス OFF のパーソナライズ可能な内容が表示されます。ボタン (1) および (2) を押すと希望のステータスを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望のステータスを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押してレベルを決定します。新しく設定したステータスに更新されます（更新は緑色で表示）。メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



### 参考

Key-OFF する度に DDA システムはインストールメントパネルにより自動的に解除されます。



## DDA メモリーの表示/削除

この機能に入ると、右側に DDA のメモリーの状態がパーセントで表示されます。

- バーに何もなく、“EMPTY” の文字が表示されている場合、DDA のメモリーが空であることを表します。
- バーの一部に色がつき、値がパーセントで表示されている場合、DDA メモリーが表示された割合だけ使用されていることを表します。
- バー全体に色がつき、“FULL” の文字が表示されている場合、DDA のメモリーがいっぱいであることを表します。

DDA が OFF の場合、メモリーを削除することができます。ボタン (1) または (2) を押して “ERASE” を選択します。

メニュー決定ボタン (4) を 3 秒間押して決定します。

3 秒後、完全にデータが消去されるまでインストールパネルに “PLEASE WAIT...” の文字が表示されます。削除するデータ量に応じて削除にかかる時間は異なります。

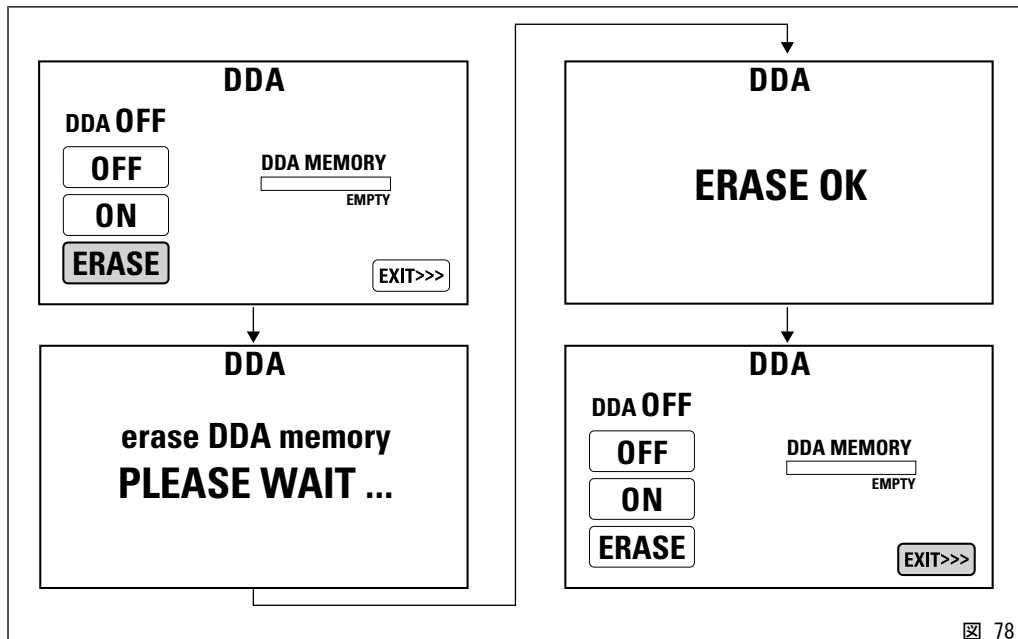
削除が正常に行われると、インストールパネルは “ERASE OK” を 2 秒間表示し、ディスプレイのメモリーステータスの表示を更新します。削除に失敗

した場合、インストールパネルはメモリー占有率の表示に戻ります。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



**警告**  
DDA 装置が “ON” の状態にある時は、削除機能や ERASE キーの選択はできません。



## Pin Code

この機能は、E-Lock システムに不具合が生じた場合に車両を一時的に起動します（ステアリングロック解除が OFF で、E-Lock システムに問題がある場合）。

PIN CODE は最初車両に登録されていませんので、ユーザーが 4 桁の PIN をインストルパネルに入力して有効にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に一時起動することができません。起動するには“PIN CODE の入力”の手順に従います。

PIN を変更するには“PIN CODE の変更”の手順に従います。

E-Lock システムに不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、車両のブロック解除の手順に従います。



### 警告

PIN CODE は車両の所有者が設定（登録）しなければなりません。PIN がすでに設定されている場合には、Ducati 正規ディーラーに本機能の“リセット”を依頼してください。その際 Ducati 正規ディーラーは、車両の所有者確認をさせていただくことがあります。

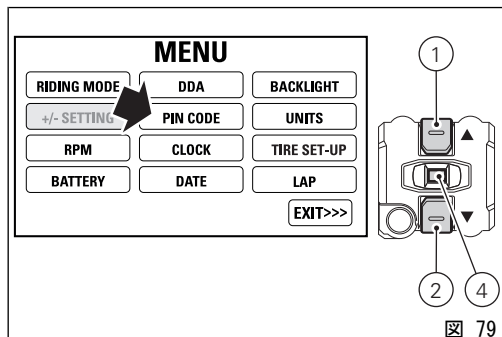
## PIN CODE の入力

PIN CODE 機能を有効にし、PIN CODE を入力するには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “PIN CODE” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“PIN CODE” メニューに入ります。

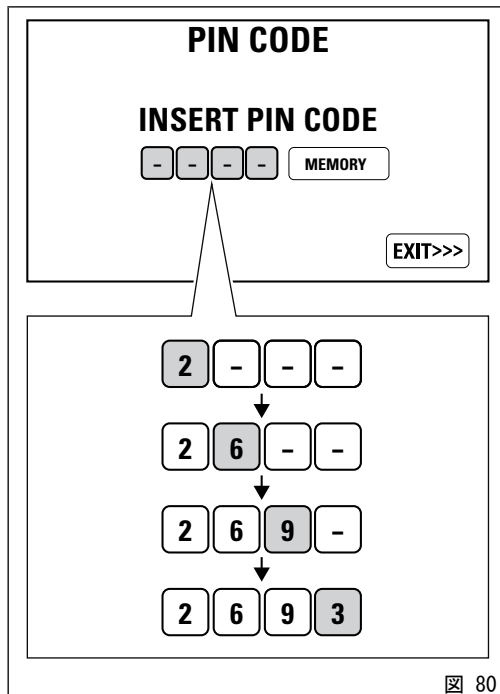


この機能に入ると、ディスプレイに“INSERT PIN CODE”の文字、その下に緑色で強調された点線“- - -”が表示されます。

コードの入力：

- 1) ボタン (4) を押すと、“0” で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン (2) を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+ 1)、その後 “0” に戻ります。
- 3) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (- 1)、その後 “0” に戻ります。
- 4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

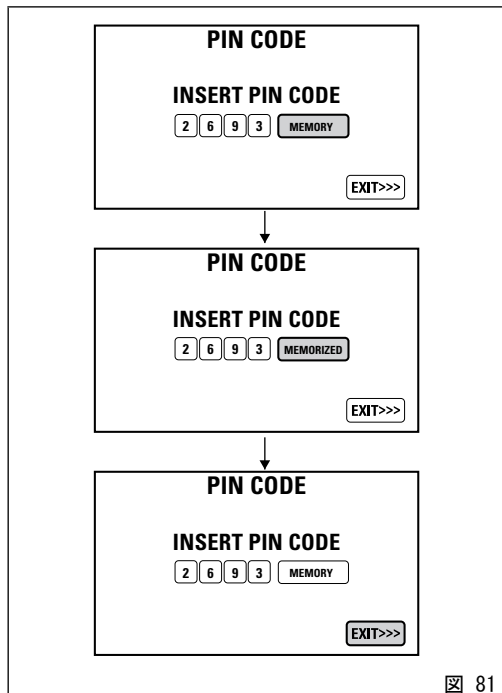




ボタン (4) を押して最後の桁を決定すると、“MEMORY” の文字が強調表示されます。新しい設定を保存するには、“MEMORY” の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、“MEMORIZED” の文字が 1 秒間緑色に強調され、その後“EXIT” の文字が緑色で強調表示されます。

最初の PIN CODE を設定して以降は、メニューから PIN CODE 登録ページに入ることができなくなり、代わりに PIN CODE の変更のページになります。PIN CODE 機能がリセットされた場合 (Ducati 正規ディーラーのみ行うことが可能) に限り、最初の PIN CODE の登録ページが有効になり、メニューから入ることができるようになります。



## PIN CODEの変更

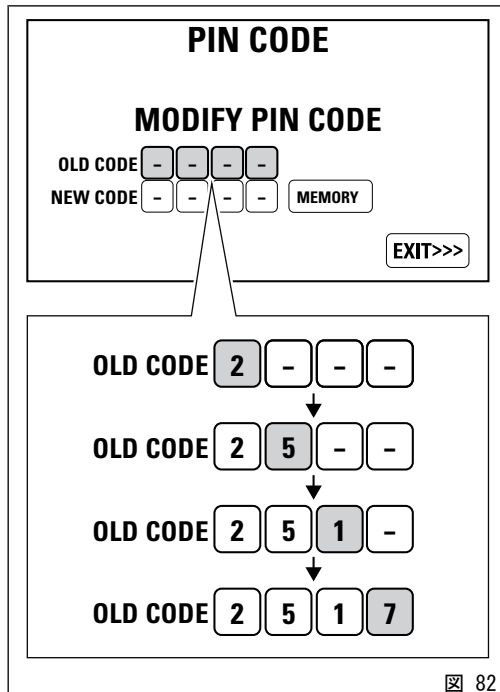
すでに登録されている PIN を変更し、新しい PIN を有効にするには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “PIN CODE” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“PIN CODE” メニューに入ります。この機能に入ると、ディスプレイに “OLD CODE” の表示とその隣には緑色で強調された点線 “- - - -” が表示され、下には “NEW CODE” の表示が表れます。

旧コードの入力：

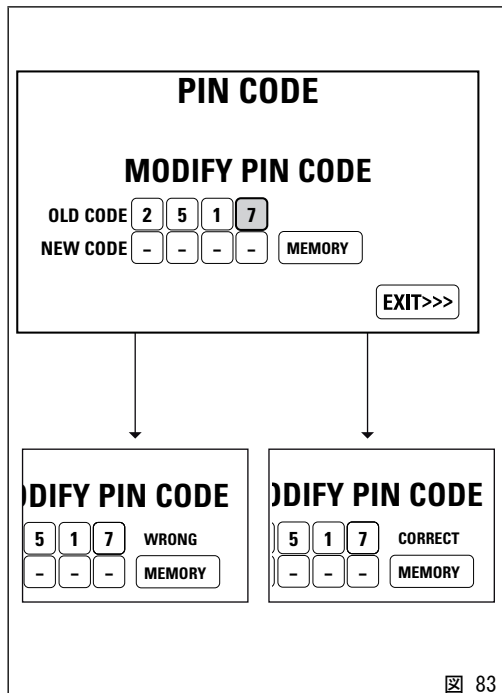
- 1) ボタン (4) を押すと、“0” で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン (2) を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+ 1)、その後 “0” に戻ります。
- 3) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (- 1)、その後 “0” に戻ります。
- 4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。



ボタン (4) を押して 4 桁すべての数字を決定した際、

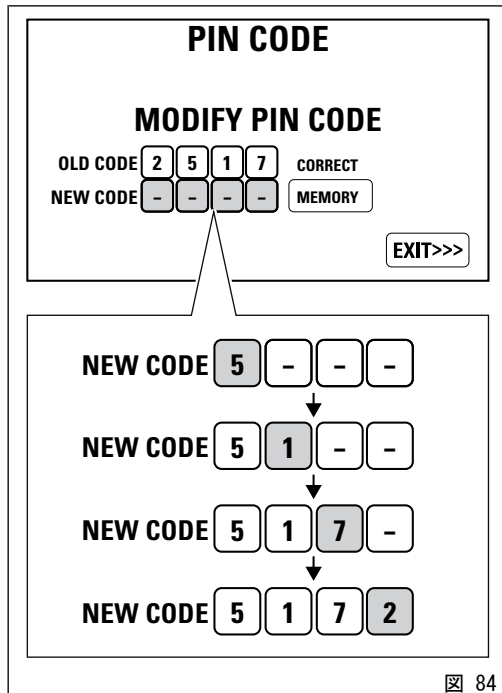
- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは “WORNG” を 3 秒間表示し、その後 OLD PIN を入力する点線 “- - - -” を強調表示します。もう一度 PIN CODE を入力してください。
- PIN CODE の確認中に問題が発生した場合、インストルメントパネルは “ERROR” を 3 秒間表示し、その後 “EXIT” の文字を強調表示します。
- 正しい PIN CODE が入力されると、インストルメントパネルは “CORRECT” を 3 秒間表示します。その後、NEW PIN を入力する点線 “- - - -” が表示されます。



新しいコードの入力：

- 1) ボタン (4) を押すと、“0” で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン (2) を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+ 1)、その後 “0” に戻ります。
- 3) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (- 1)、その後 “0” に戻ります。
- 4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

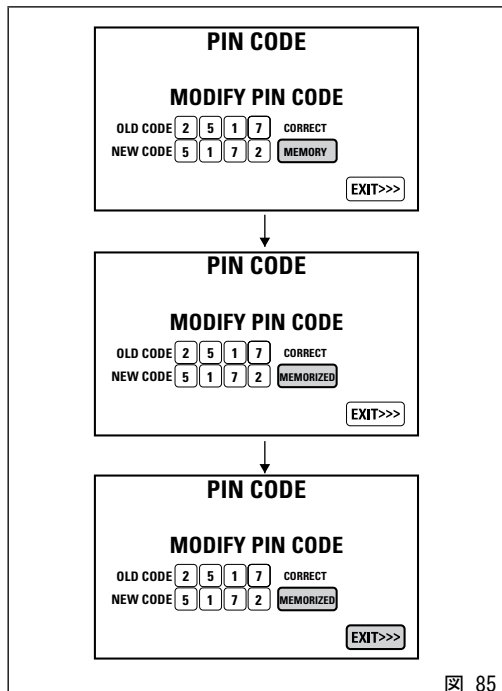
この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。



ボタン (4) を押して最後の桁を決定すると、“MEMORY” の文字が強調表示されます。新しい設定を保存するには、“MEMORY” の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 3 秒間押します。

保存が正しく完了すると、“MEMORIZED” の文字が 1 秒間緑色に強調され、その後“EXIT” の文字が緑色で強調表示されます。

保存に失敗した場合、インストルメントパネルは NEW PIN を入力する点線 “- - - -” を強調表示します。もう一度新しい PIN CODE を入力してください。

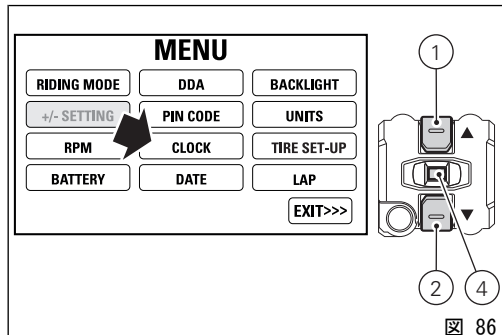


## 時計の調整

この機能は時計の調整/設定をします。

設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “CLOCK” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“CLOCK SETTING” メニューに入ります。メニューに入ると、左側に調整が可能な内容、HOUR、MINUTE、AM / PM が表示され、右側には現在の時刻が表示されます (例 : 10 :30 a.m.)。



## 時間の調整

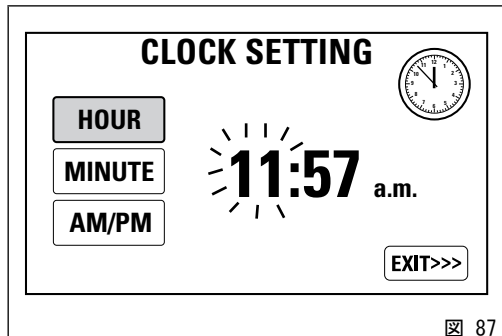
ボタン (1) または (2) を押して “HOUR” を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。時間のデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと、時間の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。0, 11, ……1, 0 (AM の場合) - 12, 11, ……1, 12 (PM の場合)。

ボタン (2) を押すと、時間の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。11, 0, 1……11 (AM の場合) - 12, 1, ……12 (PM の場合)。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された時間の値が固定表示に変わります。



## 分の調整

ボタン (1) または (2) を押して “MINUTE” を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

分のデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと、分の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。59, 58, ... 00, 59。

ボタン (2) を押すと、分の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。00, 01, ... 59, 00。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された分の値が固定表示に変わります。

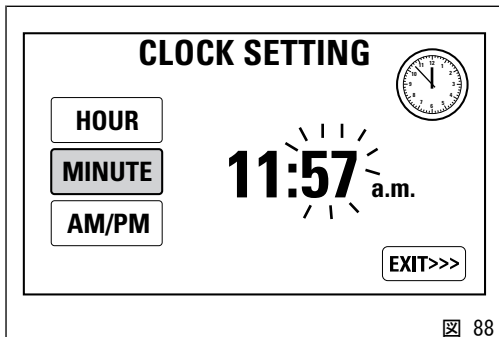


図 88



## AM/PM の調整

ボタン (1) または (2) を押して “AM/PM” を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

データが点滅し始めます。

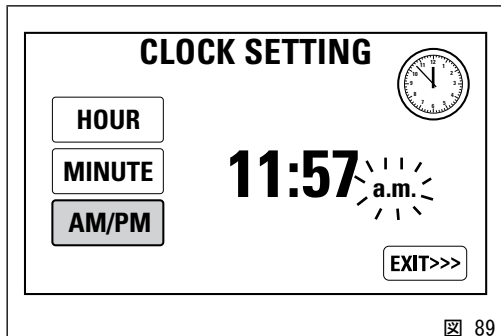
ボタン (1) または (2) を押してそれぞれに対応する AM または PM を選択します。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定されたデータが固定表示に変わります。メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

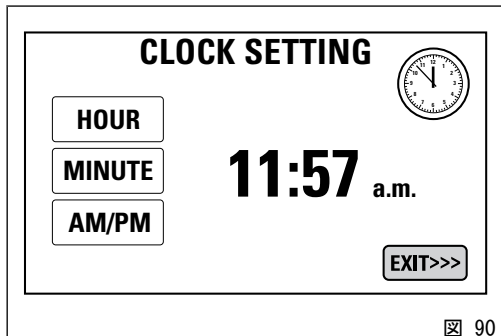


### 参考

バッテリーが切断される度に時計の情報はリセットされますので、ユーザーは再度設定する必要があります。



89



90

## 日付の調整

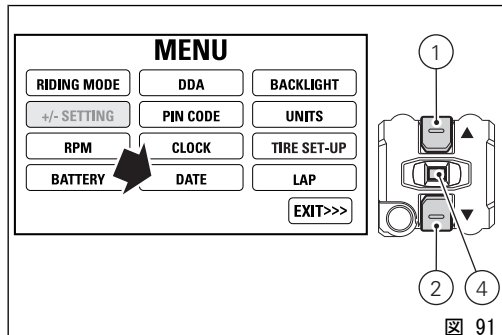
この機能は日付の表示、調整/設定を行います。  
設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “DATE” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“DATE SETTING” メニューに入ります。

メニューに入ると、左側に調整が可能な内容、YEAR、MONTH、DAY が表示され、右側には本日の日付が表示されます (例 : 2012/01/27)。



## 年の調整

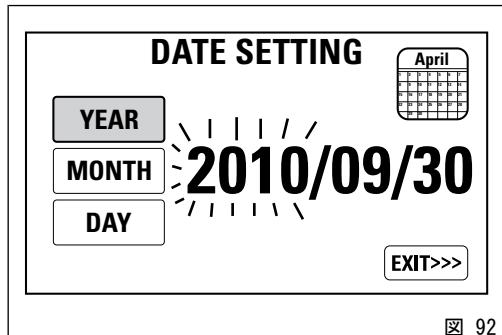
ボタン (1) または (2) を押して “YEAR” を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

年のデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと、年の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。2250, 2249, ... 2000, 2250。

ボタン (2) を押すと、年の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。2000, 2001, ... 2250, 2000。  
希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された年の値が固定表示に変わります。



## 月の調整

ボタン (1) または (2) を押して “MONTH” を選択します。

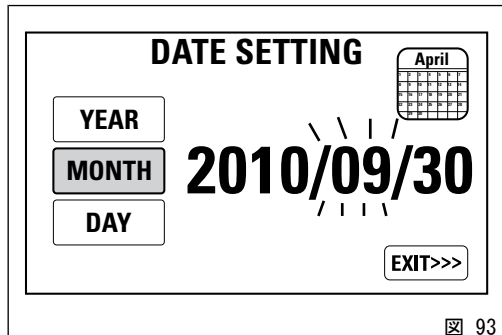
強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

月のデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと、月の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。12, 11, ……01, 12。

ボタン (2) を押すと、月の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。01, 02, ……12, 01。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された月の値が固定表示に変わります。



## 日の調整

ボタン (1) または (2) を押して “DAY” を選択します。

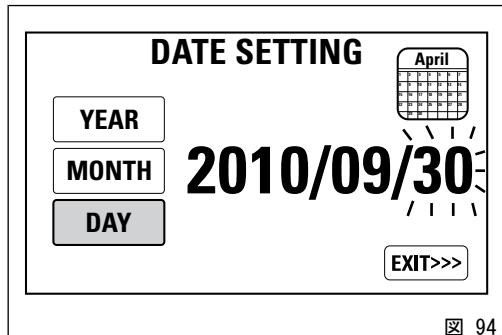
強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

日のデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと、日の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。31, 30, . . . . 01, 31。

ボタン (2) を押すと、日の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。01, 02, . . . . 31, 01。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された日の値が固定表示に変わります。

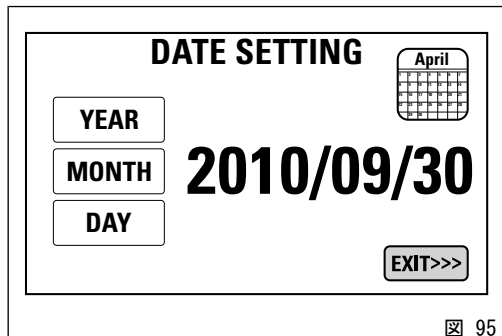


メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン（4）を押します。



参考

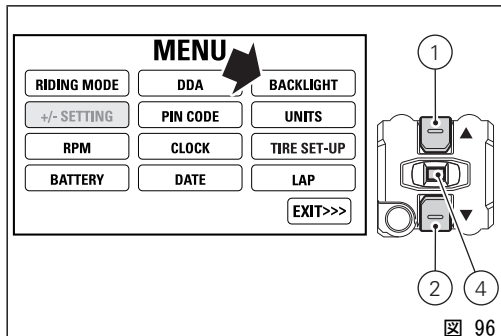
バッテリーが切断される度に日付の情報はリセットされますので、ユーザーは再度設定する必要があります。



## ディスプレイの背景の調整

この機能では、インストルメントパネルの背景を選択することができます。

設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “BACKLIGHT” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“BACKLIGHT” メニューに入ります。機能に入ると、左側に設定が可能な背景DAY、NIGHT、AUTO が表示され、右側に現在設定しているモードが表示されます。ボタン (1) および (2) を押すとインストルメントパネルの背景の種類を一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望の背景を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。インストルメントパネルは直ちにユーザーが選択したバックライトを ON にし、該当する文字が自動的に強調表示されます。

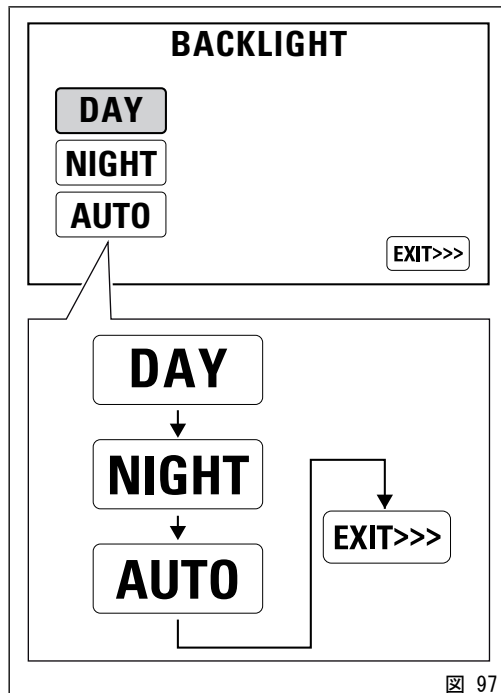


DAY 設定（昼間モード）を選択すると、ディスプレイの背景が読み取りやすい“白”に常時設定されます。強い外光下での使用に適します。

NIGHT 設定（夜間モード）を選択すると、ディスプレイの背景がソフトなコントラストの“黒”に常時設定されます。弱い外光下または暗い環境での使用に適します。

AUTO 設定（自動モード）を選択すると、ディスプレイの背景が外光の強さ（センサーが感知）に応じて自動的に調整されます。

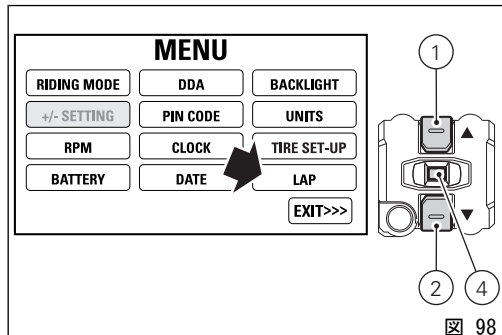
外光が強い場合ディスプレイの背景は白になり、外光が弱い場合はディスプレイの背景が黒になります。メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン（4）を押します。





## LAP

“LAP の記録” 機能（メニュー 1 の機能、ページ 87 参照）を使用して、すでにメモリーされている LAP をディスプレイに表示することができます。表示可能な情報はラップタイム、最大回転数（rpm）、最高スピードです。さらに、メモリーされている LAP を削除することができます。



## 記録済み LAP の表示

メモリーされている LAP を表示するには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “LAP” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“LAP DATA” メニューに入ります。

機能に入ると以下の内容が表示されます。

- “LAP” の文字の後、LAP 数 (例 : LAP 01)
- “TIME” の文字の後、記録済みラップタイム
- “SPEEDMAX” の文字の後、ラップ中に記録された最高速度
- “RPMMAX” の文字の後、ラップ中に記録された RPM 値
- “LEANMAX” の文字の後、“L” と左側最大リーン角、“R” と右側最大リーン角

ボタン (1) および (2) を押すとメモリーされた LAP をひとつずつ表示することができます。特に以下のように表示されます。ボタン (2) を押すと、次のラップが表示されます (LAP 01 ... LAP 02 ... LAP 03 ... LAP 30 のようにラップを昇順で表示)、その後 “EXIT” の文字が表示されます。ボタン (1) を押すと前のラップが表示され (LAP 30 ... LAP

29 ... LAP 28 ... LAP 01)、その後 “EXIT” の文字が表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



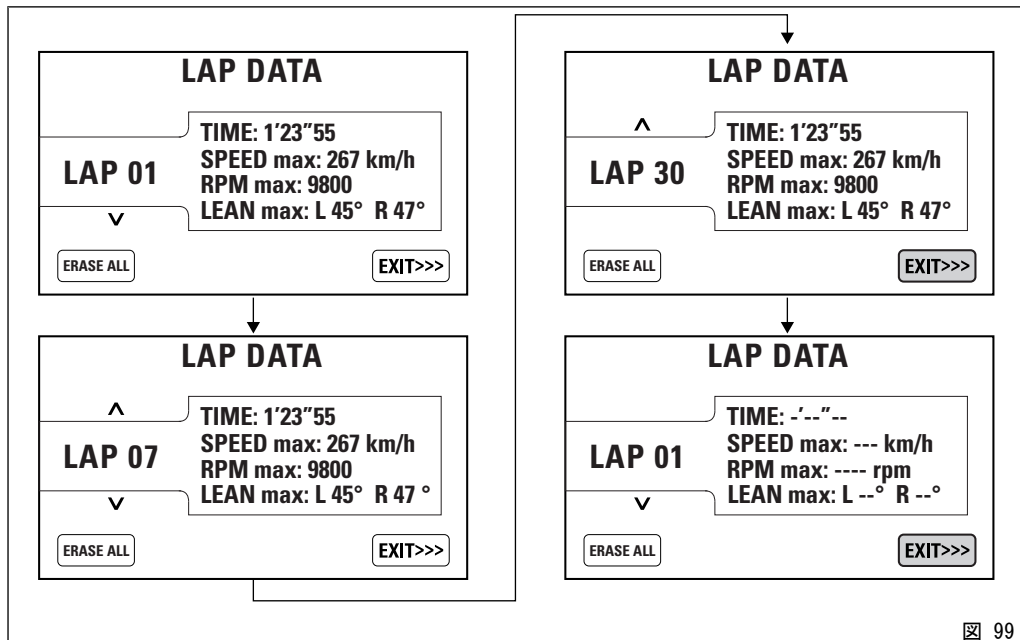
### 参考

記録最高スピードはラップ中に到達した速度です (5 % 増大させたもの)。



### 参考

メモリーにデータが記録されていない場合、ストップウォッチ “-. -. -”、最大回転数 MAX = -----、最高スピード MAX = -----、最大角 MAX = L --° R --° が表示されます。



## LAP 記録の削除

メモリーされている LAP を削除するには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “LAP” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

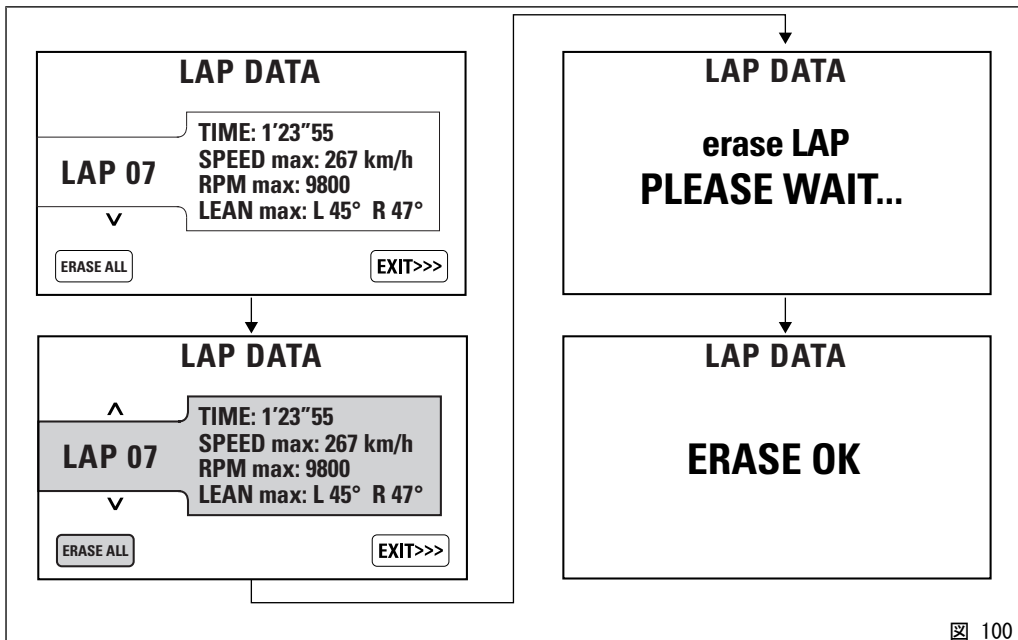
“LAP DATA” メニューに入ると、メモリーされている LAP が表示されます。

ボタン (4) を押して “ERASE ALL” を強調表示します。

ボタン (4) を 3 秒間押して削除を決定します。

3 秒後、インストルメントパネルのディスプレイには次のように表示されます。

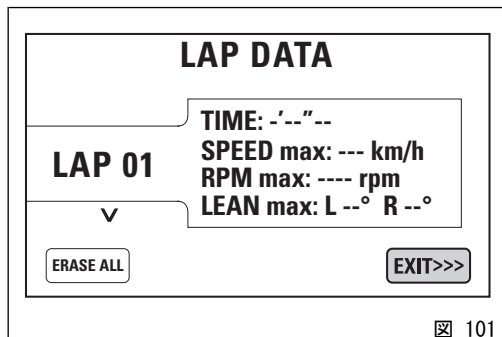
- “ERASE LAP PLEASE WAIT...” の文字が 3 秒間、
- その後、“ERASE OK” の文字が 2 秒間表示され、削除されたことを表します。



メモリーされているすべてのラップが一度に削除されます。

削除終了後、ラップ 01 から 30 のパラメーターはすべて空白表示 “-” されます（ラップタイム = -' - ' - -、回転数 = - - - - -、スピード = - - -、角度 = L --° R --°）。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン（4）を押します。



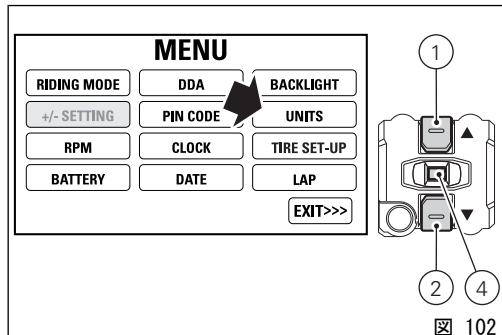
## 単位の設定

この機能では、使用する国に関わらず、表示される単位を変更することができます。

手動で単位の設定を行うには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “UNITS” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

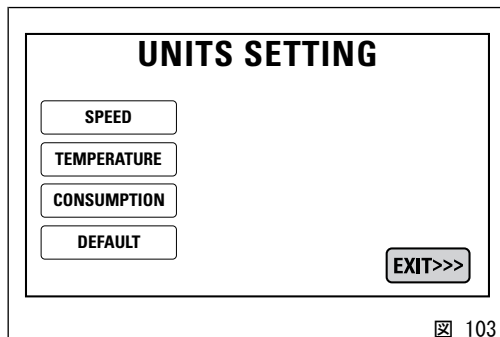
“UNITS SETTING” メニューに入ります。



この機能に入ると、左側に単位の設定が可能な項目の一覧が表示されます。

- スピード (SPEED)
- 温度 (TEMPERATURE)
- 燃費 (CONSUMPTION)
- 自動設定回復 (DEFAULT)

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。





## 単位の設定スピード

この機能では速度の単位を変更することができます（走行距離の単位も同時に変更します）。

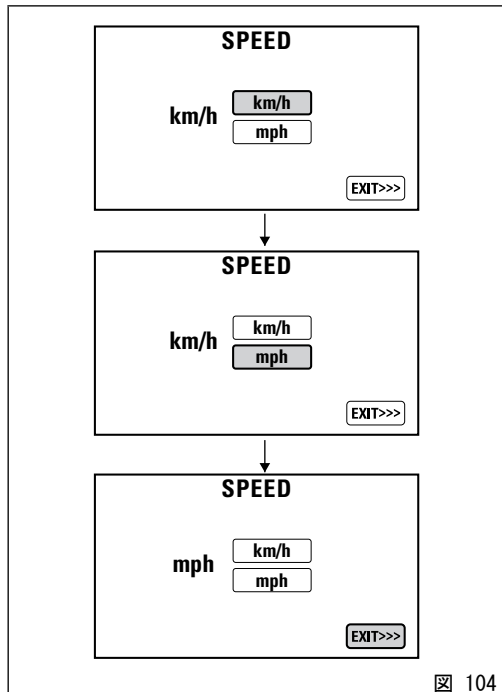
前のページの記載に従い、“UNITS SETTING”メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “SPEED” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“SPEED”メニューに入ります。

機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト km/h、mph が表示されます。

ボタン (1) および (2) を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位は保存され、“EXIT”の文字が自動的に強調表示されます。



選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 車両スピード、平均スピード (km/h または mph)
- オドメーター、TRIP1、TRIP2、TRIP FUEL (km または mi)

## 単位の設定温度

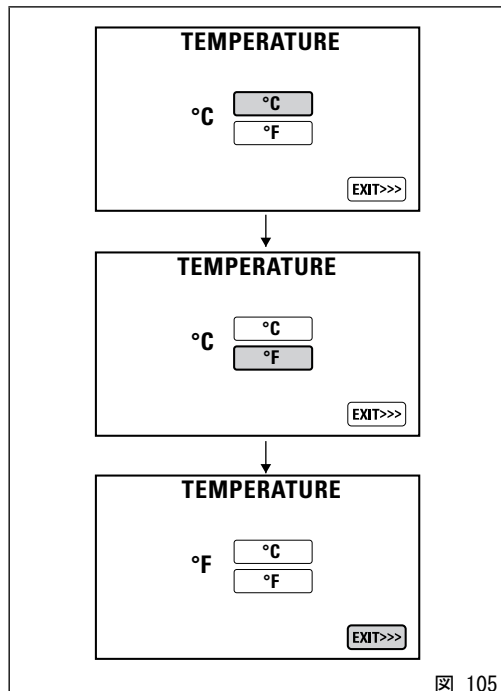
この機能では温度の単位の変更が可能です。  
前のページの記載に従い、“UNITS SETTING”メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “TEMPERATURE” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“TEMPERATURE” メニューに入ります。機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト °C、°F が表示されます。

ボタン (1) および (2) を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位は保存され、“EXIT” の文字が自動的に強調表示されます。



選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- エンジンクーラント温度および外気温

## 単位の設定燃費

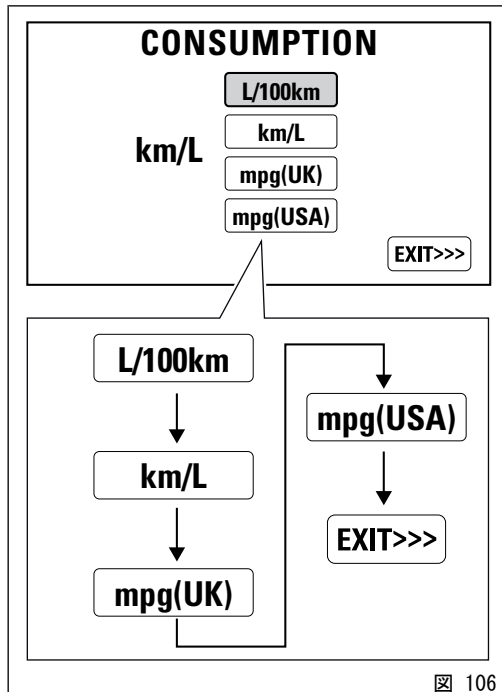
この機能では燃費の単位を変更することができます。前のページの記載に従い、“UNITS SETTING”メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して “CONSUMPTION” を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“CONSUMPTION”メニューに入ります。機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト L / 100km, km / L, mpg (UK), mpg (USA) が表示されます。

ボタン (1) および (2) を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。

希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位は保存され、“EXIT”の文字が自動的に強調表示されます。



選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 瞬間燃費および平均燃費

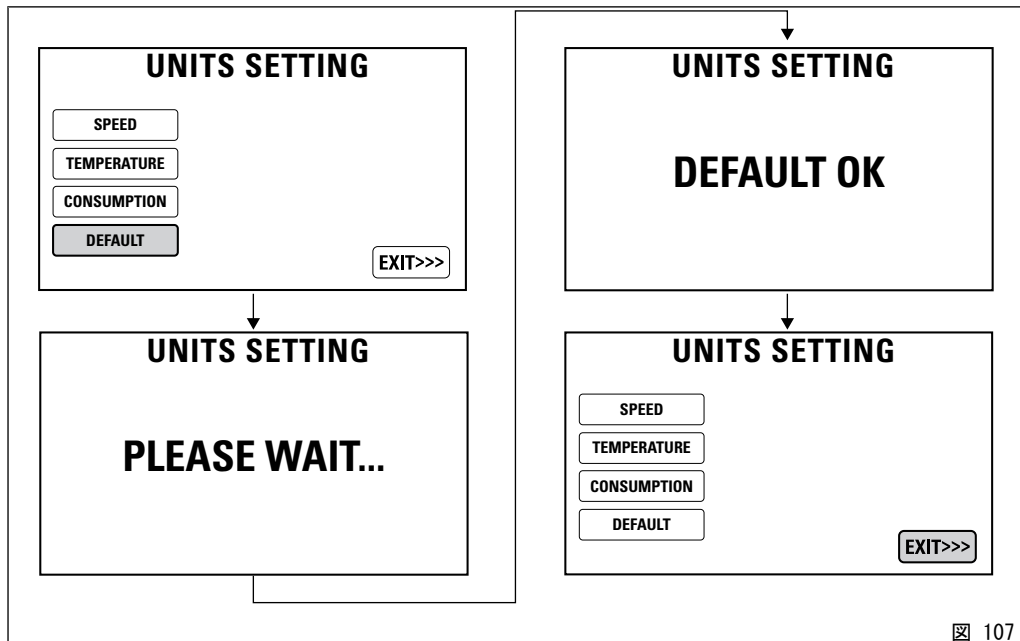
## 単位の設定自動設定回復

この機能では、インストルメントパネルに表示されるすべての測定単位の自動設定を回復することができます。

前のページの記載に従い、“UNITS SETTING”メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して“DEFAULT”を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を 3 秒間押します。ディスプレイに“PLEASE WAIT...”の文字が 3 秒間、その後“DEFAULT OK”が 2 秒間表示されます。最後に“UNITS SETTING”メニューページに移り、“EXIT”の文字が強調表示されます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT”の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。





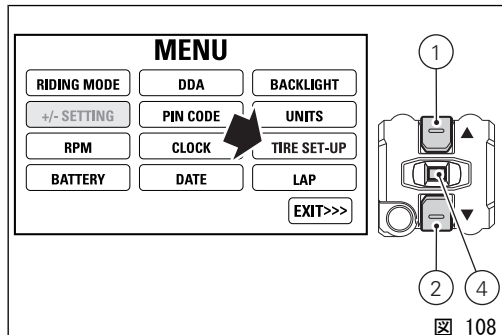
## タイヤのセットアップ

この機能は、ユーザーがドゥカティ指定のサイズクラスはそのまま標準装備とは異なるタイヤを装着する場合に、システムの再キャリブレーションを行います。またリアスプロケットとフロントスプロケットを交換した場合に、新たに導入された変更を考慮して車両に搭載されている制御装置 (DTC DWC EBC) のパラメーターを再設定するために新しいギア比の確認を行います。

ユーザーは設定メニューから、新しいタイヤ周長および最終減速比の自己学習プロセスの開始、またはOEM 装備用ドゥカティデフォルト設定の回復を行うことができます。

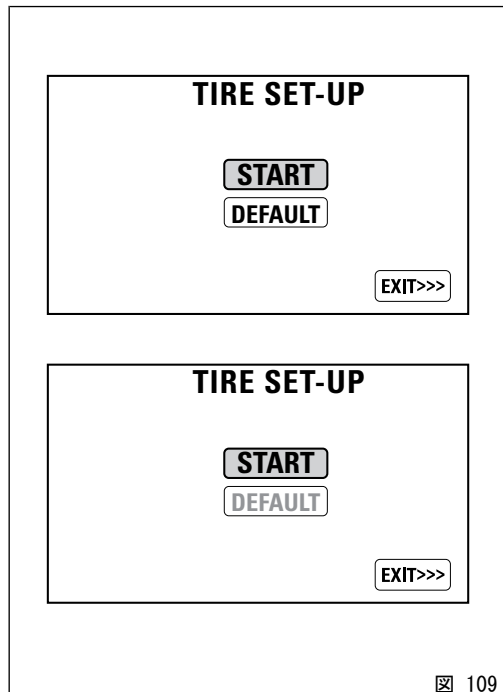
これらを実行するには、設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して “TIRE SET-UP” を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“TIRE SET-UP” メニューに入ります。



ボタン (1) および (2) を使用し、“START” または “DEFAULT” の文字を選択します。“DEFAULT” は車両の設定がドウカティデフォルト設定でない場合にのみ選択することができます。

メニューを終了して前の画面に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



## 自己学習プロセス

この機能に入ると、右側に車両速度と挿入ギアが表示されたまま、キャリブレーション操作を実施するために維持する速度範囲と使用するギアが画面中央に表示されます。

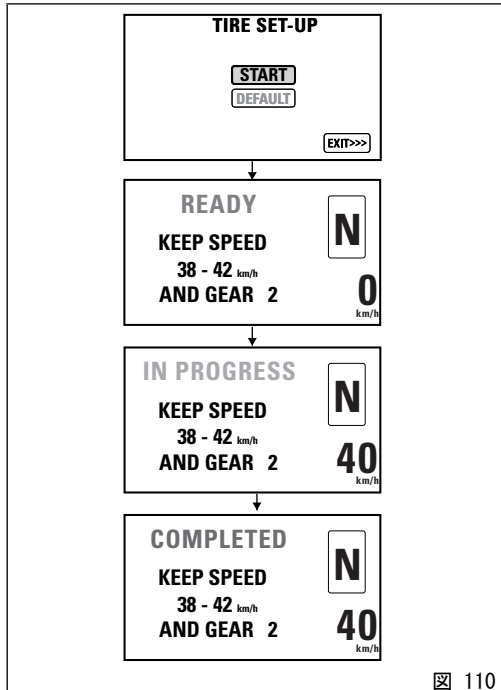
速度範囲：48 ~ 52 km/h（単位設定が mph の場合は相当する速度が mph 単位で表示されます）

ギア：2

最初の画面にはディスプレイ上部に“READY”の文字が赤色で表示され、システムはキャリブレーションを実行する準備ができていることをユーザーに知らせます。

ユーザーが車両の状態をディスプレイに表示されている車両速度とギアの状態にあわせたとき、システムのキャリブレーションが開始されます。ディスプレイ上部には“IN PROGRESS”の文字がオレンジ色で表示されます。

プロセスが正常に終了すると、ディスプレイ上部に“COMPLETED”の文字が緑色で表示され、数秒後自動的にメインスクリーンに戻ります。



“START” を決定した時点でプロセスが開始できない場合、数秒後に自動的に強調表示が“EXIT”の文字に移ります。

万ーキャリブレーションの進行中にエラーや不具合が検知されると、ディスプレイ上部に“FAILED”の文字が赤色で表示され、自動的にメインスクリーンに切り替わります。

ユーザーは“READY”の時点でも“IN PROGRESS”の時点でも、ボタン (1) を 3 秒間押ししてプロセスを中断することができます。インストルメントパネルはディスプレイ上部に“ABORTED”の文字を赤色で表示し、数秒後自動的にメインスクリーンに戻ります。図中に表示されている速度範囲およびギアの表示は参考として記載されているものであり、実際の車両設定値を示すものではありません。

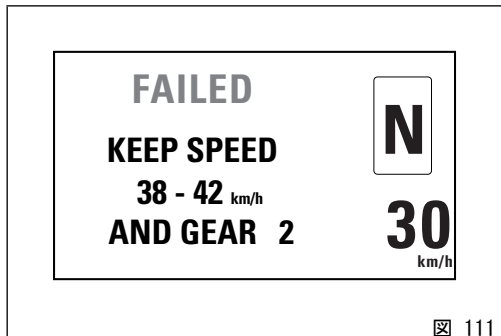


図 111

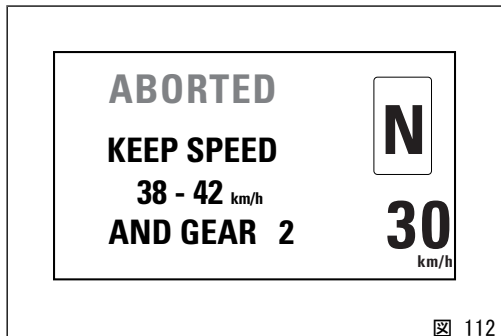
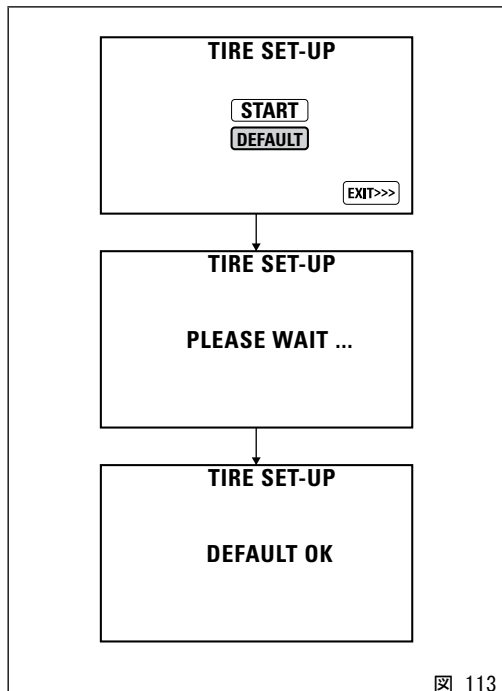


図 112

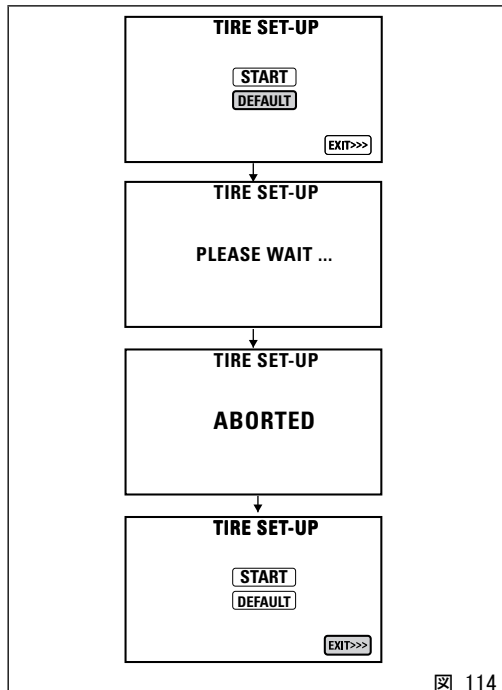
## デフォルト設定の回復

“TIRE SET-UP”メニューに入ります。  
ボタン (1) または (2) を使用して “DEFAULT” を選  
択し、ボタン (4) を 3 秒間押します。  
ディスプレイには “PLEASE WAIT...” の文字が数秒  
間表示されます。

デフォルト値の回復プロセスが正常に終了すると、  
ディスプレイに “DEFAULT OK” の文字が 2 秒間表示  
され、数秒後自動的にメインスクリーンに戻ります。



万一デフォルト設定の回復プロセスが正常に終了しなかった場合、ディスプレイには“ABORTED”の文字が 2 秒間表示されたのち、インストルメントパネルは“TIRE SET-UP”メニューの最初の画面に戻り“EXIT”の文字が強調表示されます。



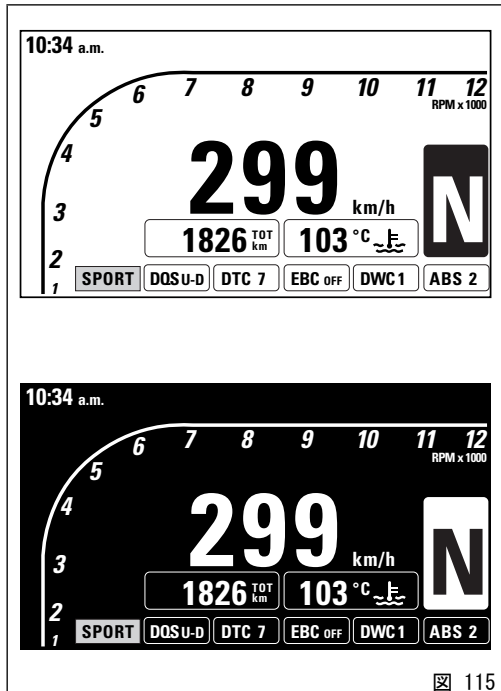
## ディスプレイの背景色

インストルメントパネルは外光の強さに応じて自動的にディスプレイの背景の色を調整することができます。BACKLIGHT - AUTO 機能が ON の場合、センサーが“弱い光”（夜）を検出するとインストルメントパネルは黒の背景の表示モード（NIGHT）に変わります。逆に“強い光”（昼）を検出するとインストルメントパネルは白の背景の表示モード（DAY）に変わります。

この機能は設定メニューからパーソナライズが可能です。“BACKLIGHT” 機能を選択し、“BACKLIGHT” メニューに入ります。

- NIGHT または DAY モードのどちらかを常時設定するか、あるいは
- 自動表示モード AUTO に設定します。

（“ディスプレイ背景の設定ページ 174”）を参照してください。





## 参考

供給電源が 16 V を超えている場合はバックライトは OFF になり、8 V 未満の場合はバックライトが消えます。



## ランプコントロール ロービーム/ハイビームランプ

ヘッドランプの点灯および消灯を調整し、バッテリーの消費量を抑えます。

Key-ON 時、ロービームランプおよびハイビームランプは消灯 (OFF) したままで、パーキングランプのみが点灯します。

エンジンを始動するとロービームランプが起動します。エンジンが起動している状態でランプの標準機能が回復します。ボタン (1) のポジション (A) でロービームとハイビームの切り替えを行います。ボタン (1) のポジション (B) でフラッシュします。

Key-ON した後にエンジンを始動しない場合でも、左側スイッチのボタン (1) をポジション (A) に押すことでロービーム/ハイビームランプを起動することができます。ボタンを 1 回押すとまずロービームランプが起動し、その後 1 回押すごとにロービームランプとハイビームランプが交互に切り替わります。

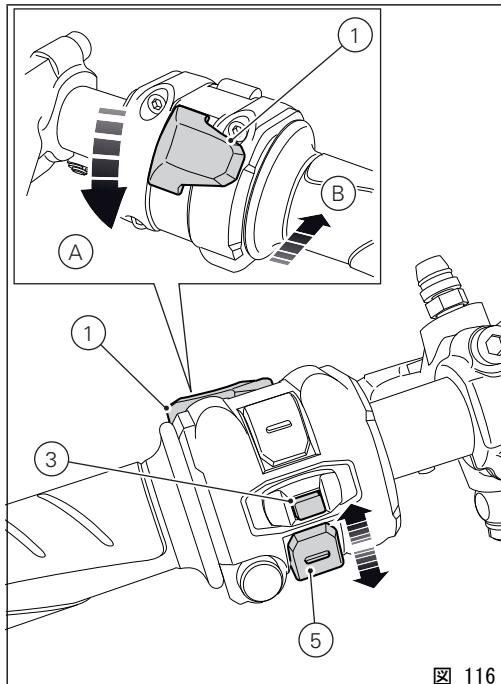


図 116

最初にボタンを押してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ロービームおよびハイビームランプは再び停止します (OFF)。

エンジン始動前に (上記の方法で) ロービームまたはハイビームランプを点灯させた場合、エンジンを始動する際ヘッドランプが自動的に消灯し、エンジンが完全に起動してから再び点灯します。

### ターンインジケータ

インストルメントパネルはターンインジケータの自動リターンを行います。

2 つのうち、どちらかのターンインジケータを点けた後、左側スイッチにあるボタン (3、図 116) で解除することができます。


ターンインジケータコマンドの手動解除が行われなかった場合、起動してから 500 m (0.3マイル) 走行すると、インストルメントパネルは自動的にターンインジケータを停止します。自動解除の際、走行距離のカウントは 80 km/h (50 mph) 以下でのみ行なわれます。

自動解除の走行距離カウントがスタートしてから速度が 80 km/h (50 mph) を上回った場合、カウントは中断されます。その後、前述の速度を下回るとカウントが再開されます。

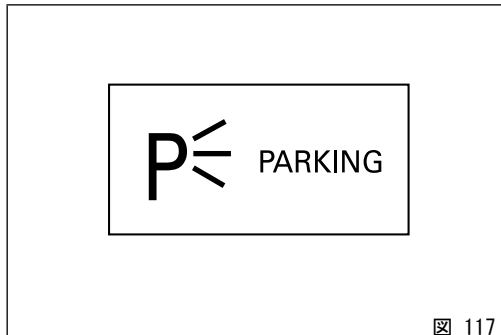
## パーキング機能

### 参考

パーキング機能作動中に突然バッテリーからの電源が遮断された場合、電源回復時にインストルメントパネルは機能を停止します。

“パーキング”機能では、車両を停止した状態でも駐車の際に目立つように、フロント/リアパーキングランプを点灯することができます。車両停止後（Key-OFF 後）60 秒以内に、ボタン（5、 116）を 3 秒間押すと起動します。

この機能を起動すると、“PARKING”のアイコンがディスプレイに 3 秒間表示され、バッテリー電圧が 12.2 V 以上ある間は点灯したままになります。バッテリー電圧が 12.2 V より低下すると、バッテリー充電状態を維持するためにランプは自動的に消灯します。



機能を中止するには、車両の起動（Key-ON）と停止（Key-OFF）を行う必要があります。

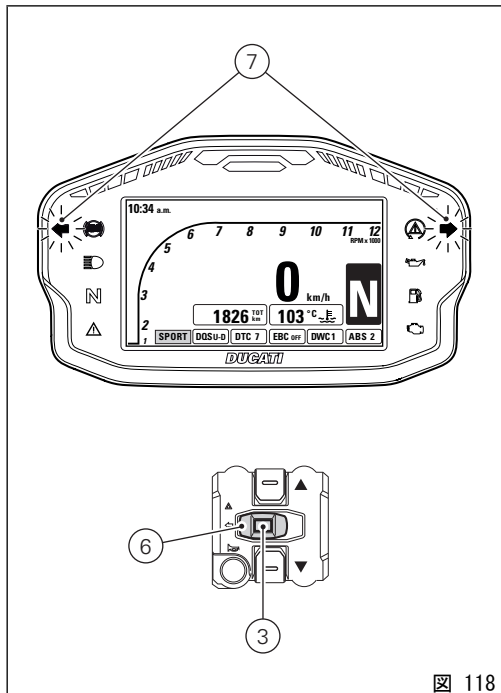


### 重要

この機能を頻繁に使用すると、バッテリーが著しく消耗する場合があります。必要な時にのみこの機能を使用するようにしてください。

## ハザード機能（ターンインジケータすべて点滅）

“ハザード”機能は、非常事態を知らせるために4つのターンインジケータすべてを同時に起動します。ボタン(3)をポジション(6)に3秒間押しすと、“ハザード”機能が起動します。車両が起動している場合のみ、この機能を起動することができます（エンジンの起動/停止状態に関係なく、キーが“ON”の位置にある時）。“ハザード”機能の作動中は、4つのターンインジケータおよびインストルメントパネルの警告灯(7)が同時に点滅します。車両が起動している場合（キーが“ON”の位置にある時）は、ボタン(3)をポジション(6)に押しするか、あるいはボタン(3)をセンター位置に押しと“ハザード”機能を解除することができます。車両が停止している場合（キーが“OFF”の位置にある時）は、ボタン(3)をポジション(6)に押し解除します。



“ハザード”機能を起動している状態で車両を停止（キーが“OFF”の位置）すると、ユーザーが手動で解除するまで、あるいはバッテリー電圧が 12.2 V 以上の間は作動したままになります。バッテリー電圧が 12.2 V より低下するとバッテリー充電状態を維持するためにターンインジケータは自動的に消灯します。



#### 参考

“ハザード”機能の作動中に車両を Key-ON した場合、ハザード機能は作動し続けます（ただし、インストルメントパネルの初期点検中にハザード機能が一時的に中断される場合があります）。



#### 参考

パーキング機能作動中に突然バッテリーからの電源が遮断された場合、電源回復時にインストルメントパネルは機能を停止します。



#### 参考

“ハザード”機能は、ターンインジケータの通常機能より優先されます。そのため、“ハザード”機能が作動している場合は左右インジケータを個別に起動することはできません。

## イモビライザーシステム

この車両には電子制御でエンジンをブロックする盗難防止システム(イモビライザー)が搭載されています。イモビライザーは、毎回エンジンを停止する度に自動的に作動します。

各キーのボディにはトランスポンダーが内蔵されています。トランスポンダーからの信号は、イグニッションスイッチ部に組み込まれたアンテナを介してコントロールユニットに送られます。

この信号はパスワードの役割を果たし、イグニッションキーがスイッチに差し込まれる度に変更し、CPUがその“パスワード”によってキーを認識した時のみエンジンが始動します。

## キー

バイクは2本のキーと一緒に納品されます。  
キーには“イモビライザーシステムコード”が内蔵されています。

キー(B)は通常のイグニッションキーで、以下の場合に使用されます：

- エンジンの始動
- フューエルプラグの開閉
- シートロックの解除。



### 警告

キーは別々に保管し、車両を使用する際は 2本のキーのどちらか一方を使用してください。

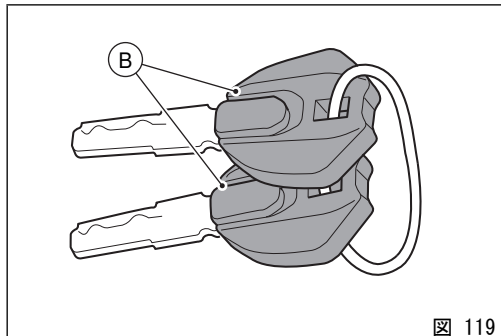


図 119

## 作業

イグニッションキーをONからOFFの位置に回す度に、システムはエンジンブロックを作動します。  
この方法でもまだブロックが解除されない場合は、Ducati サービスセンターに御連絡下さい。



### 警告

強い衝撃を受けるとキー内部の電子部品が破損するおそれがあります。作業中は常に同じキーを使用してください。異なるキーを使用した場合、挿入したキーの暗号をシステムが識別できない場合があります。



## キーの複製

追加のキーが必要な場合は、お持ちのキー全てを持ってDucatiサービスセンターにご依頼下さい。

Ducatiサービスセンターは新しいキー、およびお手持ちのキーを再プログラミングします。

Ducatiアシスタントサービスは、お客様が車両のオーナーである証明の提示を求めることがありますので、必要書類をご持参下さい。

この作業時に再メモリーされなかったキーのメモリーは削除されて無効となるため、エンジンを始動する為に使用することはできません。



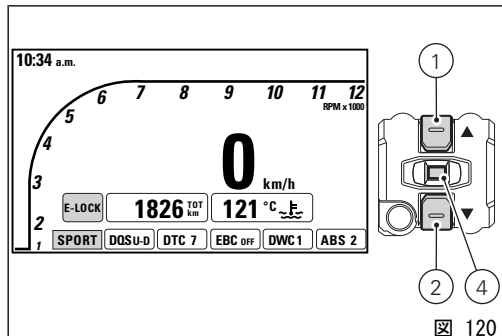
## 参考

車両の所有者を変更した場合は、必ず新規所有者にすべてのキーを譲渡してください。

## PIN CODEによる車両ブロックの解除

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力ができるようになります。PIN CODE 機能が有効でない場合、インストルメントパネルはブロック解除コード入力ページを表示せずスタンダードスクリーンを表示し、E-Lock エラーでキー読み取り/識別エラーがあることをユーザーに知らせます。また設定メニューに入ることができなくなります。次の KEY-OFF まで E-Lock エラーが表示されたままになります。

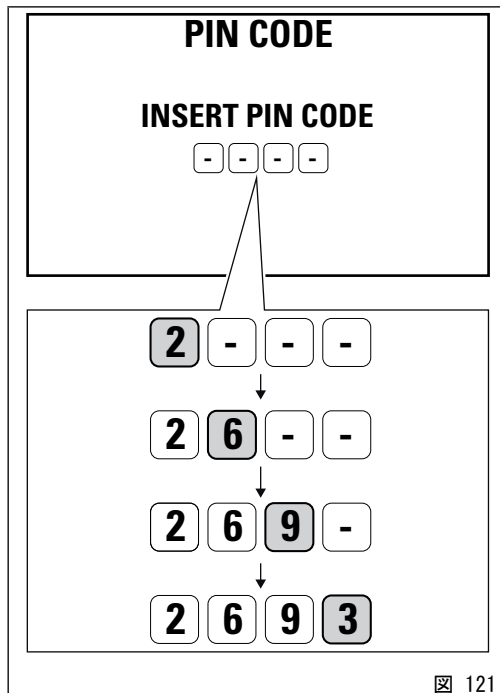
PIN CODE 機能が起動している場合、インストルメントパネルはブロック解除のコード入力ページを表示し、“INSERT PIN CODE” の文字とその下に緑色で強調表示された 4 本の点線 “- - - -” が表示されます。



コードの入力：

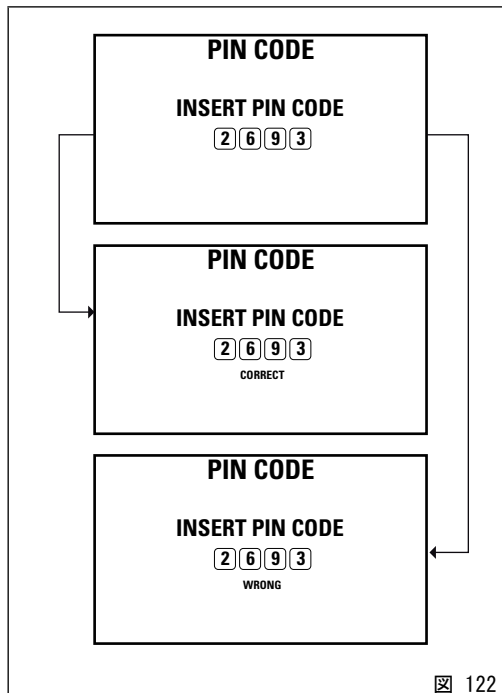
- 1) ボタン (4) を押すと、“0” で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
- 2) ボタン (2) を押す度に数字が “9” までひとつずつ大きくなり (+ 1)、その後 “0” に戻ります。
- 3) ボタン (1) を押す度に数字が “1” までひとつずつ小さくなり、その後 “0” に戻ります。
- 4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。



ボタン (4) を押して 4 桁すべての数字を決定した後、

- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは“WRONG”を 3 秒間表示し、その後再び点線“-----”を強調表示します。もう一度 PIN CODE を入力してください。入力可能時間は 2 分間に設定してあります。入力可能時間が過ぎるとスタンダードスクリーンに戻り、E-Lock エラーを起動します。設定メニューへアクセスできなくなります。
- PIN CODE の検証中に問題が発生した場合、インストルメントパネルに“ERROR”の文字が 3 秒間表示され、その後“WRONG”が表示される場合と同じになります。
- PIN CODE が正しい場合、インストルメントパネルは“CORRECT”を 3 秒間表示します。その後スタンダードスクリーンに移りますが、E-Lock エラーを起動してキーの読み取り/識別に問題があることをユーザーに通知します。





## 重要

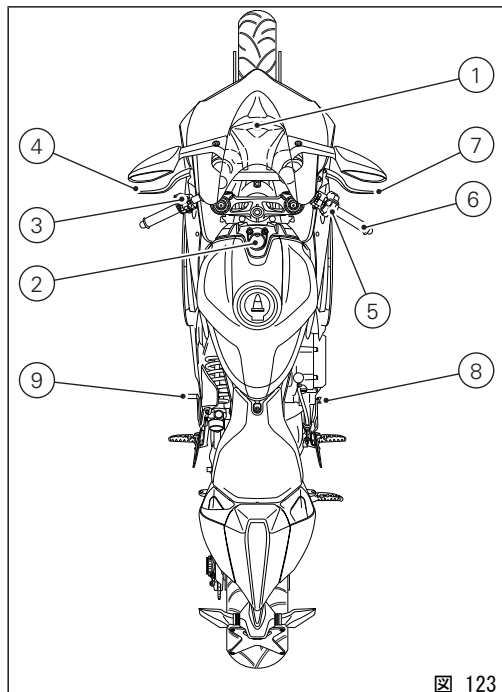
車両を起動するために上記のプロセスを踏まなければならない時は、早めに Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

# 運転時に必要なコマンド

## コマンド類の配置

**警告**  
この章では車両を運転する上で必要なすべてのコマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマンドを使用する前によくお読みください。

- 1) インストルメントパネル
- 2) イグニッションスイッチ / ステアリングロック
- 3) 左側スイッチ
- 4) クラッチレバー
- 5) 右側スイッチ
- 6) スロットルグリップ
- 7) フロントブレーキレバー
- 8) リアブレーキペダル
- 9) ギアチェンジペダル



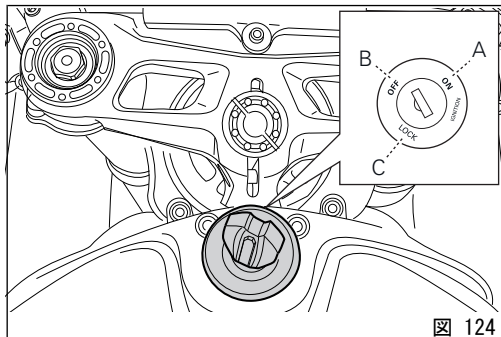
## イグニッションスイッチ / ステアリングロック

燃料タンクの前にあり、4つのポジションがあります。


- A) ON : エンジンおよびランプを ON にする
- B) OFF : エンジンおよびランプを OFF にする
- C) LOCK : ステアリングロック状態


### 参考


キーを最後のポジションに合わせるには、キーを押してから回してください。(B)、(C)の位置でキーを引き抜くことができます。




## 左側スイッチ


1) ディマースイッチ、ビームの選択、2ポジション：  
(A) 下方向に押すたびにロービームライト点灯 (  ) からロービームライト及びハイビームライト点灯への信号が伝わります。

(B) 水平に押した場合 (  )、ハイビーム点滅 (FLASH)、“Start-Stop lap” 表示。

2) 3ポジションターンインジケータボタン (  )  
中央 = OFF

ポジション (  ) = 左折

3) ターンインジケータ停止ボタン、“Riding mode” 起動とメニュー操作。

4) ボタン (  ) = 警告ホーン。

5) メニュー操作ボタン、ディスプレイスクロールとTRIP1 とTRIP2機能のリセット。

6) メニュー操作ボタン、ディスプレイスクロール。

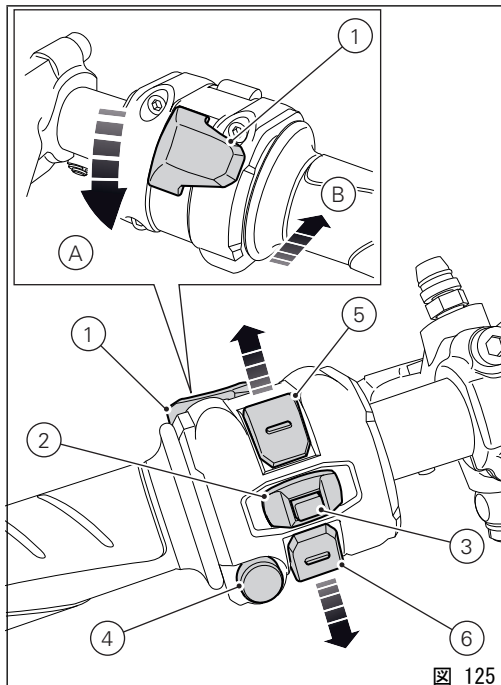


図 125



## クラッチコントロールレバー

レバー (1) でクラッチの接続を操作します。レバーにはアジャスター (2) がついており、レバーとグリップとの間隔を調整することができます。レバーの間隔はアジャスター (2) の 10 クリックで調整できます。時計方向に回すとレバーはグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。レバー (1) を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。



### 警告

クラッチおよびブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。



### 重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、エンジンの寿命を延ばすことができます。

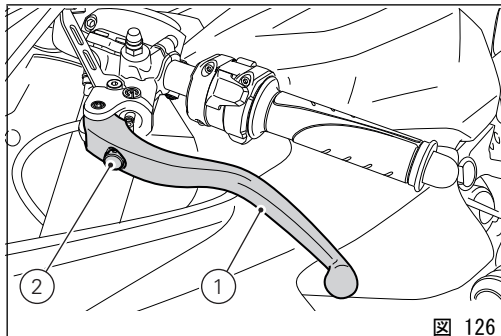


図 126



### 参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態ではエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください（この時サイドスタンドは上がっていません）。

## 右側スイッチ

- 1) 赤スイッチ ON/OFF
- 2) 黒ボタン エンジン始動

スイッチ(1)は3ポジションあります。

A) 中央 : RUN OFF このポジションではエンジンの起動は不可、全てのエレクトリックデバイスは停止します。

B) 下部に押した場合 : 起動/停止 このポジションでシステムの起動(key-on) と停止(key-off)が可能です。

C) 上部に押した場合 : RUN ON このポジションのみで、黒ボタン(2)を押しながら、エンジンの起動が可能です。

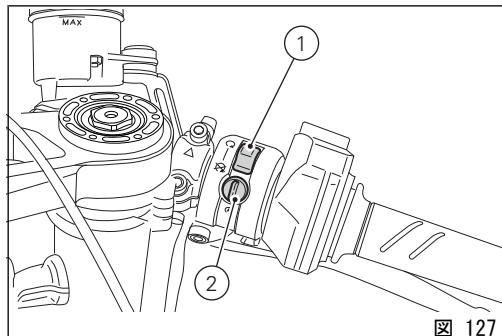


図 127

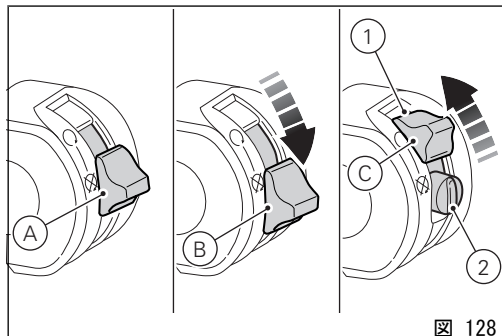
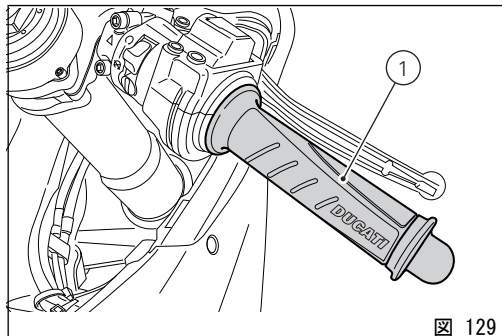


図 128

## スロットルグリップ

ハンドルバー右側のスロットルグリップ(1)は、スロットルボディの開閉を操作します。  
グリップを緩めると、自動的に元の位置(アイドリング状態)に戻ります。

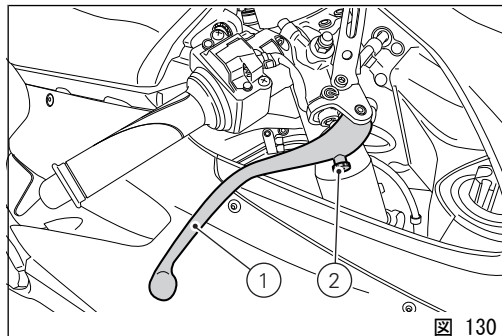


## フロントブレーキレバー

レバー(1)をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。

コントロールレバー(1)にはつまみ(2)が付いており、レバーとグリップとの間隔が調整できるようになっています。

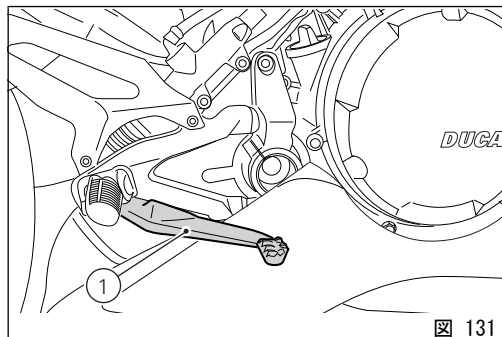
レバーの間隔はアジャスター(2)の10クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。



## リアブレーキペダル

ペダル(1)を下に踏むことで、リアブレーキが機能します。

システムは油圧式で作動します。



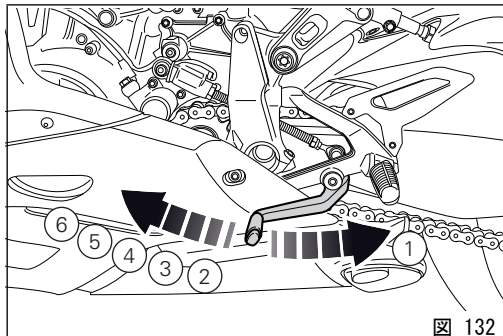
## ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダル (1) は中央のニュートラルのポジション N に自動的に戻ります。ニュートラルポジションであることはインストルメントパネルのランプ N で表示されます。

ペダルは以下のように動かします。

- 下へ=シフトダウンおよび 1 速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルのランプ N が消えます。
- 上へ=ペダルを上へ上げることで、2 速から順次 3、4、5、6 速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。



## ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの配置調整

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルのポジションは、ライダーのライディングスタイルとフットペグの位置に合わせて調整することができます。これらの調整は以下の手順で行ってください。

### ギアチェンジペダル

ロッド (1) を所定のキーソケット (A) で固定し、ナット (2) を緩めます。

ギアチェンジペダルを好みの位置に定めながら、スパナでロッド (1) の六角部分を回します。

ロッドにナット (2) を締め付けます。

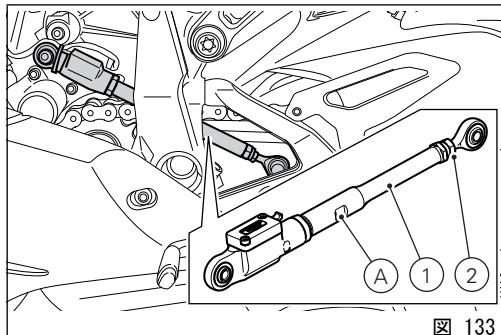


図 133

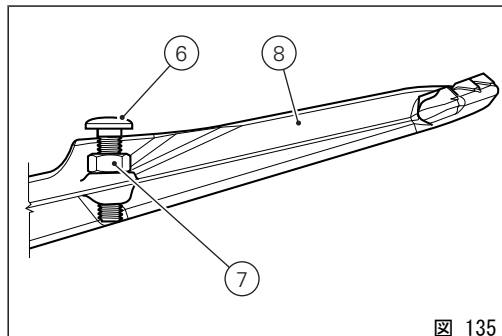
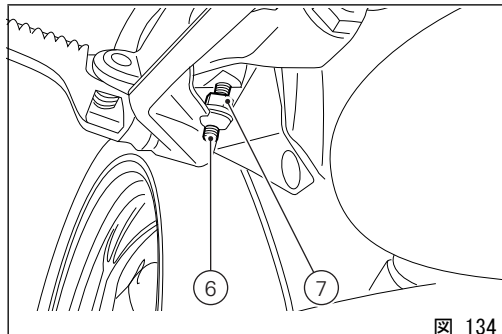
## リアブレーキペダル

ナット (7) を緩めます。  
ペダルが好みの位置になるまで、調整スクリュー (6) を回します。ロックナット (7) を締め付けます。  
ペダル (8) を手で押しながら、ブレーキがかかり始めるまでに約 1.5~2 mm の遊びがあるかを確認します。  
上記のような遊びが確認できない場合は、マスターシリンダーのロッドの長さを調整します。



### 警告

ペダルの調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

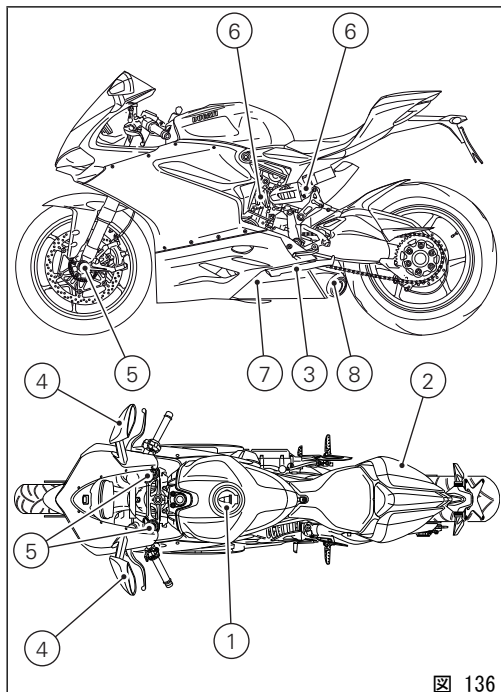




## 主要構成部品 / 装備

### 車両上の配置

- 1) フィラープラグ
- 2) シートロック
- 3) サイドスタンド
- 4) リアビューミラー
- 5) フロントフォークアジャスター
- 6) リアショックアブソーバーアジャスター
- 7) 触媒システム (両側)
- 8) エキゾーストサイレンサー (両側)



## 燃料フィルタープラグ

### 開け方

プラグの保護カバー(1)を持ち上げ、イグニッションキーを差し込み、キーを時計回りに1/4回転してロックを解除します。

プラグ(2)を持ち上げます。

### 閉じ方

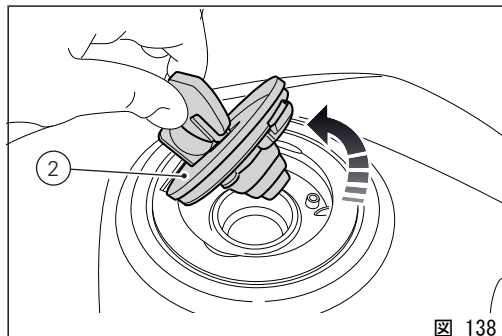
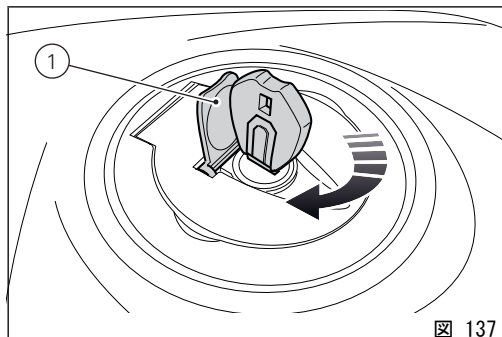
キーの差し込まれたプラグ(2)で押しながら閉じてください。キーを抜き取り、プラグの保護カバー(1)を閉じます。

### 参考

キーが挿入された状態でのみキャップを閉めることが可能です。

### 警告

燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じていることを確認してください。



## シートロック 開け方

鍵穴 (1) にキーを差し込み、シートカバー (2) の  
クリックという音が聞こえるまで回します。  
シートカバー (2) を車両の前方に抜き取ります。



### 警告

シートカバーを閉じる際は、車両前側からシート  
カバーを挿入し、カチッとロックの音が鳴るまで  
後方にスライドさせてください。

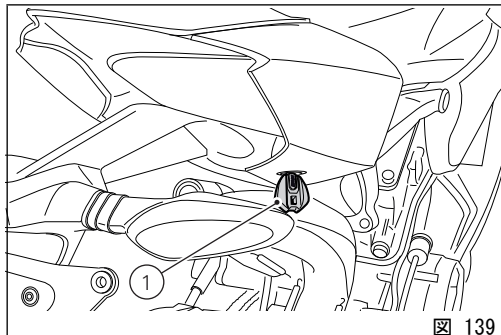


図 139

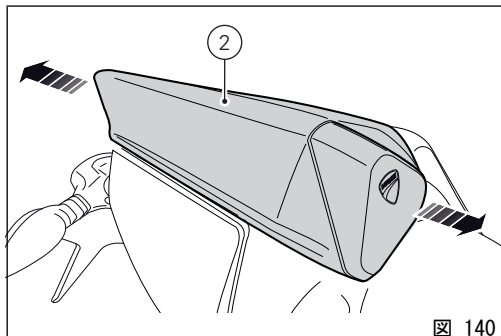
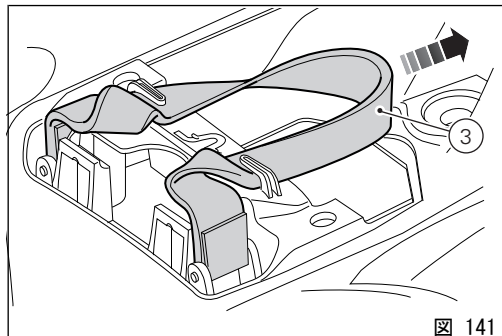


図 140

## 閉じ方

シートカバーの取り付けを行う前に、パッセンジャーベルト (3) が図に示す方向に引っ張られていることを確認してください。  
シート側からシートカバー (2、図 140) を挿入し、カバーを車両の後方に奥までスライドさせます。



## サイドスタンド

### 重要

短時間停車する場合に限り、サイドスタンドを使用して車両を支えます。サイドスタンドを使用する前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確認してください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾斜面に駐車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側にして駐車してください。

サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック (1) を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。サイドスタンドを元の位置 (水平位置) に戻すには、車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。

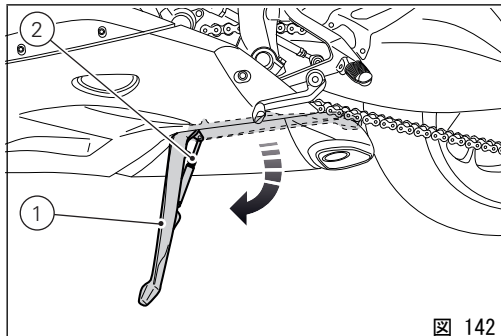


図 142

### 警告

サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないでください。

### 参考

定期的にはスタンド (内側と外側 2 つのスプリングの状態) と安全センサー (2) の作動を点検することをお勧めします。



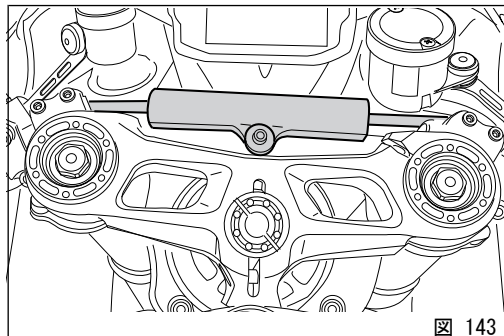
## 参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態ではエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください（この時サイドスタンドは上がっていません）。

## ステアリングダンパー

ハンドルバーの前にあり、ステアリングヘッドに固定されています。

このダンパーのお陰でステアリングはより正確で安定し、あらゆるコンディションでの操縦性がアップしました。



## フロントフォーク調整

車両のフォークは、リバウンドダンピング（リターン）、コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。

調整はアジャスターを使用して行います。

- 1) リバウンドダンピングの変更 (1、 図 144)
- 2) スプリングプリロードの変更 (2、 図 144)
- 3) コンプレッションダンピングの変更 (3、 図 145)

車両をサイドスタンドで支え、安定した場所に駐車します。

リバウンドダンピングを調整するには、各フォークレッグの先端にあるアジャスター (1) を六角レンチで回します。

コンプレッションダンピングを調整するには、各レッグのフォークボトムに設けられたアジャスター (3) をマイナスドライバーで回します。

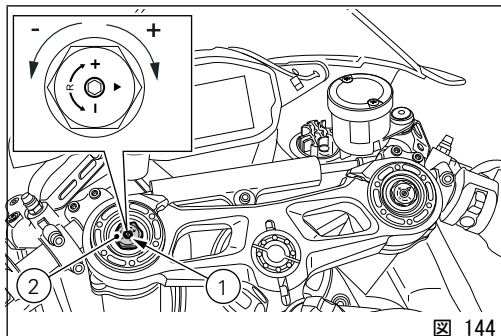


図 144

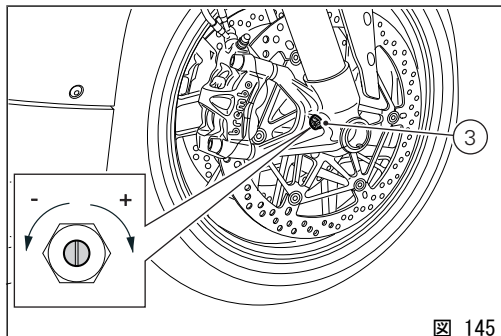


図 145



アジャスタースクリュー (1)、アジャスタースクリュー (3) を回し、ダンピングを調整します。アジャスターをいっぱいに締め込むと“0”位置になり、ダンピングが最強にセットされます。この位置から反時計回りに回し回転数を数えることができます。各レッグのスプリングプリロードを調整するには、すべて開いた位置から六角形のアジャスター (2、図 144) を 22 mm の六角レンチで回転させます (時計回り)。

すべて閉じた位置からの標準設定は以下の通りです。  
コンプレッション：すべて閉じた位置から 10 クリック  
リバウンド：すべて閉じた位置から 10 クリック  
スプリングプリロード：すべて開いた位置 (反時計回り) 6 回転



#### 警告

アジャスターは両方のレッグで同じ位置に調整してください。

## リアショックアブソーバー調節

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるようアジャスターを装備しています。クランクケースにフロントショックアブソーバーを固定している位置にあるアジャスター(1)は、油圧ブレーキのリバウンド(リターン)を調整します。

ショックアブソーバーの拡張タンクにあるアジャスター(2)は、油圧ブレーキのコンプレッションダンピングを調整します。

リングナット(3)はショックアブソーバーの外部スプリングのプリロードを調整します。

スプリングプリロードを変更するには、上部固定リングナットを緩めます。締めたり緩めたりすることで、下部リングナットはプリロードを増大させたり減少させたりします。

希望のプリロードに調整したら、上部固定リングナットを締め付けます。

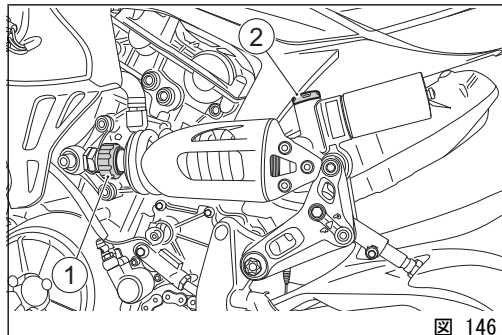


図 146

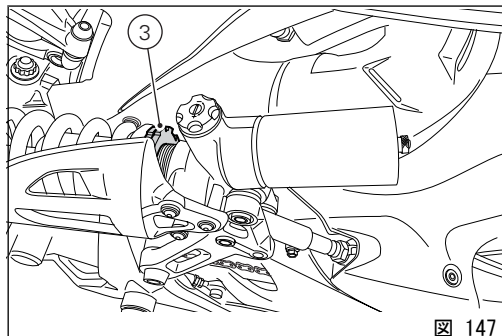


図 147

STANDARD調整：すべて閉じた状態から(時計回り)次の数だけ緩めます。

コンプレッションダンピング：すべて閉じた状態から10クリック緩めます

リバウンド：すべて閉じた状態から10クリック緩めます

スプリングプリロード：12mm。



### 警告

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

パッセンジャーと荷物を載せる場合、リショックアブソーバーのスプリングを最大にプリロードし、車両の動的挙動を改善させ、地面の干渉を避けます。この場合には、リバウンドダンピングの再調整が必要になることがあります。

## 車高の調整

モーターサイクルのセットアップは、ドゥカティの技術者が多様な条件下で実施した数多くのテスト結果をもとに決定されています。

パラメーターの変更は非常に繊細な作業です。十分な知識がない人が行くと、危険を招くおそれがあります。

ショックアブソーバーの作動位置を変えることで、ライダーは自身のライディングニーズに応じてセットアップを変更することができます。



### 警告

セットアップ作業は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

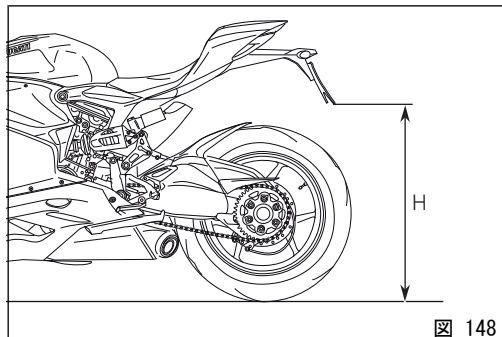


図 148



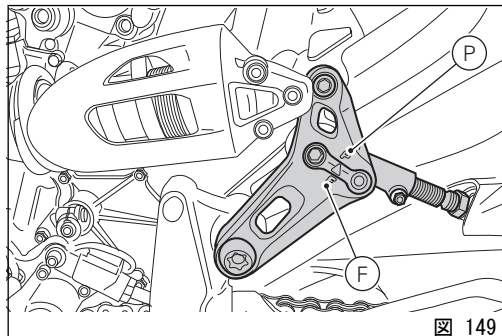
### 警告

フラット (F) 位置に設定した状態でパッセンジャーを乗せると、車両自体の安定性を損なうおそれがあります。  
リアサスペンションがフラット (F) 位置に設定された状態で、パッセンジャーを乗せて車両を使用しないでください。



### 重要

フラット (F) 位置ではレースバージョンのように異なるセットアップが可能です。パッセンジャーを乗せるときはプログレッシブ (P) 位置を使用してください。



## 運転のしかた

### 慣らし運転の方法

#### エンジン最高許容回転数

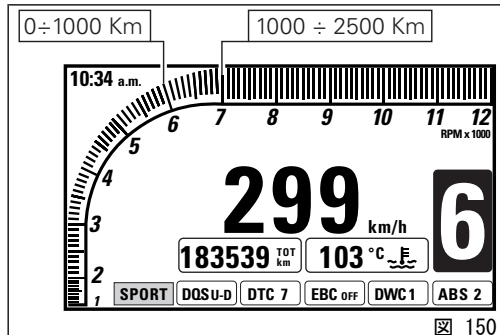
慣らし運転期間中および通常使用におけるエンジン最高許容回転数：

- 1) 1,000 kmまで
- 2) 1,000～2,500 kmまで

1,000 kmまで

最初の 1,000 km まではタコメーターに注意し、5,500～6,000 回転 (rpm) を超えてはいけません。最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジン負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧めします。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整やオーバーホールの回数を抑えることができます。





## 重要

走行距離が最初の 1000 km までの間（慣らし運転期間）、すなわちオドメーターが 1000 km 以下の値を表示している期間は、6000 rpm に達するとディスプレイにはオレンジ色で表示される予告ゾーン（オレンジゾーン）が棒グラフの目盛りとそれに相当する数字で表示されます。慣らし運転期間中はエンジン回転数を 6000 rpm 以下に維持すること、すなわちインストルメントパネルに棒グラフの“オレンジゾーン”が表示されないようにすることが推奨されます。

エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。

最初の 100 km は、ブレーキディスクにパッドをよく慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキングや長いブレーキングは避けてください。

すべての機械部分を互いに馴染ませるため、またエンジンの主要部分の寿命に悪影響を及ぼさないために、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたるエンジン高回転は避けてください。

定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑してください。

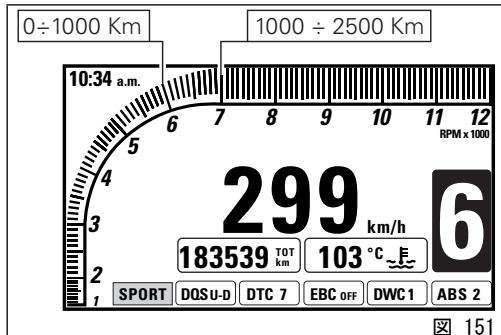
1000~2500 kmまで

この間エンジンからよりパワーを引き出す事は可能ですが、7,000 rpm を決して超えないようにしてください。

### 重要

慣らし運転期間は、保証書に指定されている点検、整備を必ず受けてください。この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整やオーバーホールの回数を抑えることができます。





## 走行前の点検事項



### 警告

走行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーを危険に晒すおそれがあります。

走行前に以下の点検を実施してください。

- タンク内の燃料量  
タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください（ページ 248）。
- エンジンオイル量  
クランクケースの点検窓でオイルレベルを確認します。必要に応じて充填してください（ページ 273）。
- ブレーキおよびクラッチフルード量  
各リザーバータンクのフルードレベルを確認します（ページ 255）。
- クーラント量  
リザーバータンクのクーラントレベルを確認します。必要であれば補充してください（ページ 253）。
- タイヤコンディション  
空気圧と摩耗度を点検します（ページ 271）。
- コマンド機能  
ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギアチェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を確認します。
- ランプ類、インジケーター  
ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換してください（ページ 294）。
- ロック類  
フィルタープラグ（ページ 225）およびシート（ページ 226）のロックを確認します。
- スタンド  
サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置にあるかを確認します（ページ 228）。

## ABS ランプ

Key-ON 後も ABS ランプ (9) は点灯し続けます。  
走行速度が 5 km/h を越えた時点でランプが消灯する場合は、ABS システムが正常に作動していることを示します。



### 警告

異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

## ABS 装置

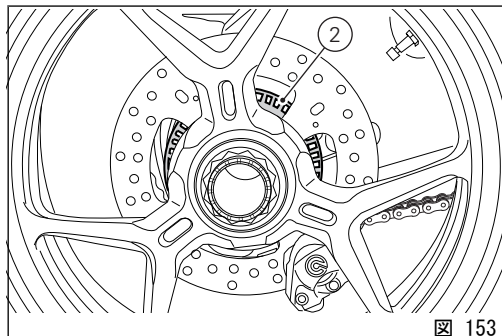
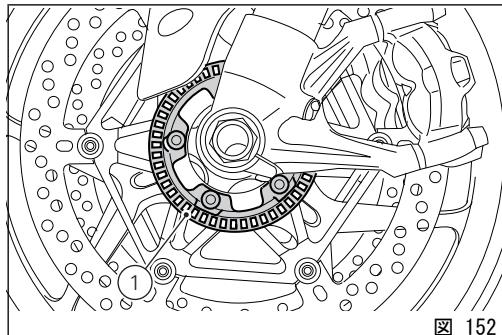
フロントフォニックホイール (1) とリアフォニックホイール (2) が汚れていないことを確認します。

### 警告

汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。泥道を走行する時には ABS システムがうまく機能しない場合があります。システムを OFF にしておくことをお勧めします。

### 警告

ウィリー走行を長く続けると、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。



## エンジンの始動



### 警告

エンジンを始動する前に、運転に必要なコマンド類の取り扱いに十分慣れておいてください。



### 警告

屋内では絶対にエンジンをかけないでください。排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

イグニッションキーを ON の位置に回します。インストルメントパネルの緑のランプ N (1) と赤のランプ (2) が点灯していることを確認してください。



### 重要

オイル圧警告ランプはエンジンを始動してから数秒後に消えなければなりません。

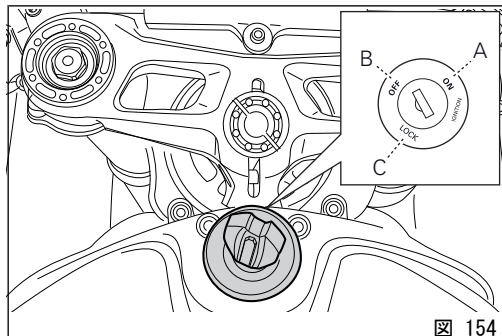


図 154

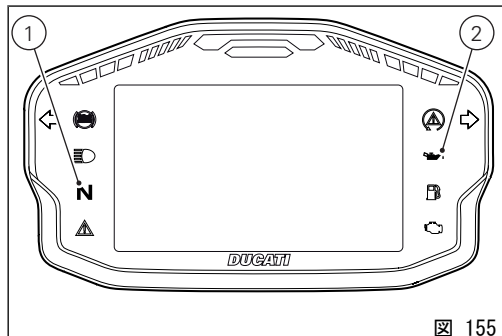


図 155



### 警告

サイドスタンドが完全に上げられて（水平）いない場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動することはできません。



### 参考

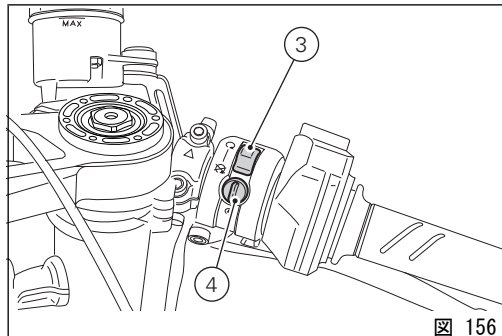
サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態ではエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態では始動させてください（この時サイドスタンドは上がっていません）。



### 重要

エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。

エンジンストップスイッチ (3) が (RUN) 位置にあることを確認してから、スタートボタン (4) を押してください。



## 車両の発進

- 1) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
- 2) 1速に変速するためにギアチェンジペダルをつま先でしっかり押し下げます。
- 3) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと、車両は発進し始めます。
- 4) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数を上げます。
- 5) シフトアップするには、エンジン回転数を落とすためにスロットルを戻し、クラッチを切り、ギアチェンジレバーをもち上げ、クラッチレバーを放します。シフトダウンは以下のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチを放します。

これらの作業は適切に素早く操作しなければなりません。上り坂を走行する際には、車速が落ちてきたらすぐにシフトダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッキングを避けて下さい。



### 警告

急な加速操作は、オーバーフローやトランスミッション機構のスナッチングを招くおそれがありますので避けてください。走行中にクラッチレバーを引いた状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩擦を引き起こすおそれがありますので避けてください。



### 警告

ウィリー走行を長く続けると、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

## ブレーキ操作

減速するには、最初にスロットルグリップを戻してエンジンブレーキをかけ、それからブレーキがかかります。エンジンが急に止まるのを防ぐため、車両が停止する前に、クラッチを切ります。

## ABSシステム

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイールがロックしそうになると、ホイールのセンサーからコントロールユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内の油圧を制御します。

一時的に油圧が下がることで、タイヤは理想的なグリップを維持したまま回転を続けることができます。コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を再び上げてブレーキを作動させます。ホイールロックのリスクが完全になくなるまでこのサイクルを繰り返します。ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。

フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABS もフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。このシステムを解除したい場合は、“ライディングモードのパーソナライズ：ABS 調整 ページ 127” を参照してインストルメントパネルから解除することができます。



## 警告

ABS システムが解除された状態では、車両のブレーキシステムは標準的なブレーキとして機能します。このため、2 つのブレーキコマンドのうち片方だけを使用した場合、車両のブレーキ性能は低下します。急激に過度の力を掛けてブレーキコマンドを操作しないでください。ホイールがロックし、車両のコントロールを失うおそれがあります。雨天時や滑りやすい路面の走行ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。規定空気圧に満たないタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

## 車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピードを落とし始めます。シフトダウンしながらクラッチをつなぎ、最後に1速からニュートラルに入れます。

ブレーキをかけると、車両を完全に停止することができます。

エンジンを停止させるには、キーをOFF にします(ページ 214)。

## パーキング

停止車両をサイドスタンドで支えて駐車します。盗難防止のため、ハンドルを左に振りきり、キーをLOCK 位置に回します。

車両をガレージやその他の建物内に駐車する際には、換気が充分され、車両の近くに熱源が無いことを確認してください。

## 重要

監視できない場所に停車するときは、キーを付けたままにしないでください。



## 警告

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があります。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。



## 警告

発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック（ディスクロック、リアスプロケットロック等）は大変危険です。車両の機能だけでなく、ライダーとパッセンジャーの安全をも損なうおそれがあります。



## 燃料の補給

給油の際、入れすぎないように注意してください。  
燃料はプラグの下縁をこえてはいけません。



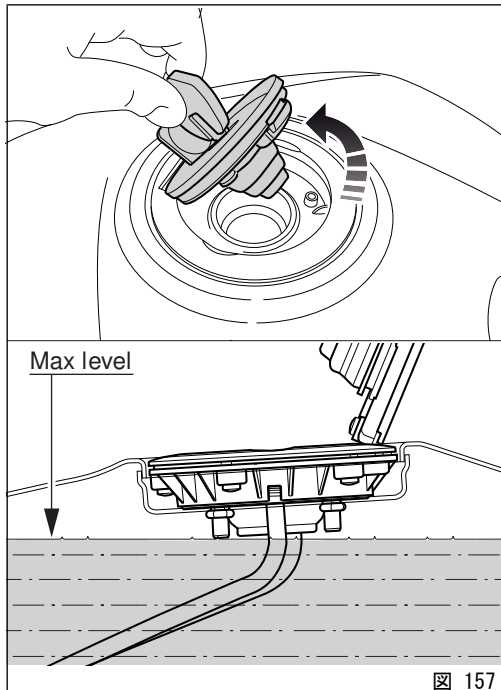
### 警告

オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。



### 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。  
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。



## 付属アクセサリ

パッセンジャーシート下には以下のツールキットが装備されています。

- スパークプラグ用六角レンチ
- プラグレンチ用ハンドル
- 差替式プラス・マイナスイドライバー
- フェアリング用六角レンチ

ツールキットにアクセスするにはパッセンジャーシートを取り外してください（ページ 226）。

以下の付属部品の取り付けは、必ず Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

- パッセンジャーシート
- 左右リアフットペグ

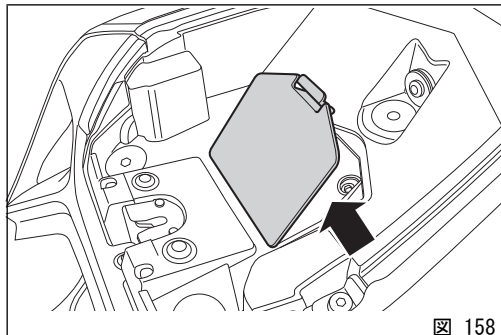


図 158

## 主な整備作業とメンテナンス

### 装飾部品の取り外し

車両を正しく整備、修理するためには、装飾部品の一部を取り外す必要があります。



#### 警告

取り外した部品を再度取り付けていなかったり、正しく取り付けられていないと、走行中に突然外れ、車両の制御がきかなくなるおそれがあります。



#### 重要

ヘッドライトフェアリングの塗装済み部品およびウィンドスクリーンを破損しないよう、取り付けの際には必ずナイロンワッシャーを固定スクリューの位置に合わせて配置してください。



#### 重要

フェアリングの取り外し作業は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

## サイドフェアリング

フェアリングを取り外すには、シート下部にある六角レンチを使用して以下の部品を緩めます。

- フェアリングブラケットに固定している 2 本のスクリュー (1)
- ヘッドライトフェアリングに固定している 4 本のスクリュー (2)
- フレームに固定している 3 本のスクリュー (3)
- 左フェアリングと右フェアリングを固定しているフェアリング下部にある 2 本のスクリュー (4)
- 中央を固定している 2 本のスクリュー (5)
- ヘッドランプフェアリングにフロント部を固定している 2 本のスクリュー (6)

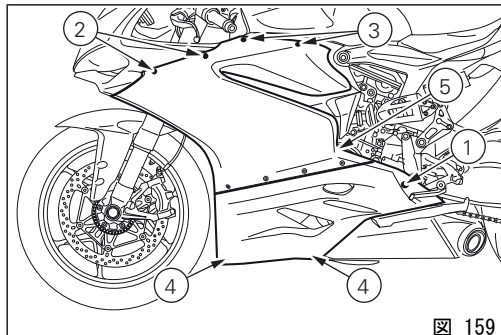


図 159

### 参考

フェアリングからフリーになっているスプラッシュガードに注意してください。

### 参考

左フェアリングを取り付けるには、サイドスタンドを下ろしてフェアリングの開口部に通します。

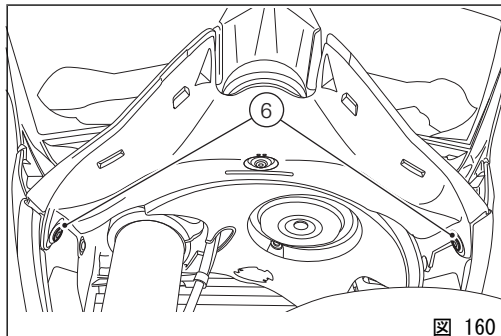


図 160

## エアフィルターの交換



### 重要

エアフィルターのメンテナンスは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

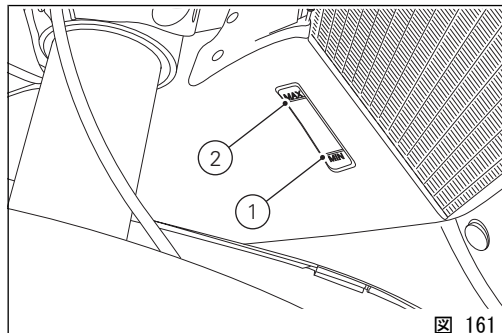
## クーラントレベルの点検および補充

車両右側にあるリザーバタンク内のクーラントレベルを点検します。

クーラントレベルがリザーバタンク脇にある MIN (1) 及び MAX (2) の目盛の間にあることを確認します。

クーラントレベルが MIN より下の場合は補充します。

右側フェアリングを取り外します (ページ 251)。



フィルタープラグ (3) を緩め、不凍液 ENI Agip Permanent Spezial を薄めずに MAX のレベルになるまで補充します。

プラグ (3) をしっかりと閉め、取り外したパーツを元通りに取り付けます。上記の混合液を使用することで最良のコンディションを保つ事ができます (-20° C/-4° F から凍結し始めます)。

冷却回路の容量 : 2.3 リットル



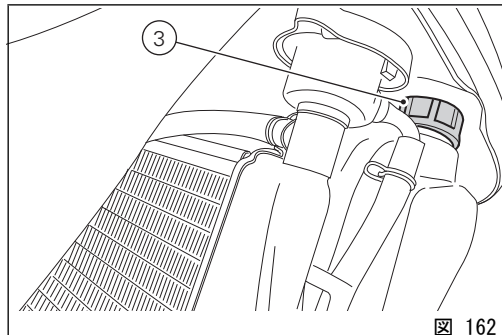
#### 警告

この作業はエンジン冷間時に、水平な場所で車両を垂直に立てた状態で実施してください。



#### 重要

クーラントの補充は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。



## ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検

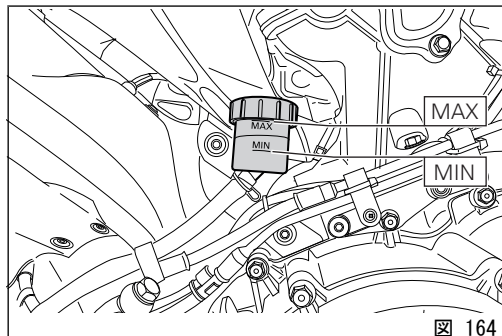
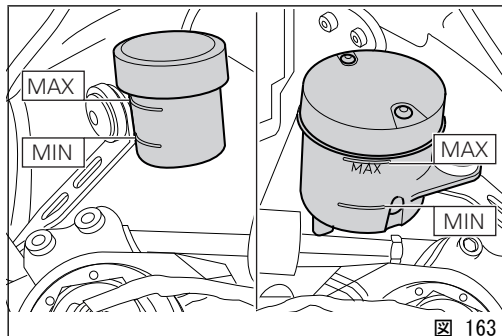
ブレーキ、クラッチ液のレベルは、絶対に各リザーバータンクのMIN 目盛りより下になってはいけません。

液体レベルが下がると、回路内に空気が混入し、システム作動に悪影響を及ぼします。

また、定期点検表で指定されているブレーキ/クラッチフルード補充及び交換は、Ducatiディーラーまたはサービスセンターに依頼して下さい。

### 重要

ブレーキ/クラッチシステムのホース類はすべて 4 年毎に交換してください。





## ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのに、ブレーキレバー、ブレーキペダルの過度の遊びに気付いた場合には、Ducatiディーラーまたはサービスセンターに連絡し、システムの点検とエア抜きを行って下さい。



### 警告

ブレーキ/クラッチフルードはプラスチック製部品や塗装部分に損傷を与えますので、これらの部分にフルードが触れないよう注意してください。これらの液体は腐食性ですの損傷やケガを引き起こすおそれがあります。異なる品質のオイルを混ぜないでください。ガスケットの状態を点検してください。

## クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの際クラッチにスナッチやジャダーが出る場合は、システム内にエアが混入している事があります。システムを点検しエアを排出する必要があるため、Ducatiディーラーまたはサービスセンターにご連絡下さい。



### 警告

クラッチフルードレベルはクラッチディスクの磨耗材が消耗すると上昇する傾向があります。規定レベルを超えないようにしてください（最低レベルの 3 mm 上）。

## ブレーキパッドの摩耗点検

キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検します。どちらか片方でもパッドの厚さが約 1 mm になっている場合は、両方のパッドを交換します。



### 警告

パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディスクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそれがあります。



### 重要

ブレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

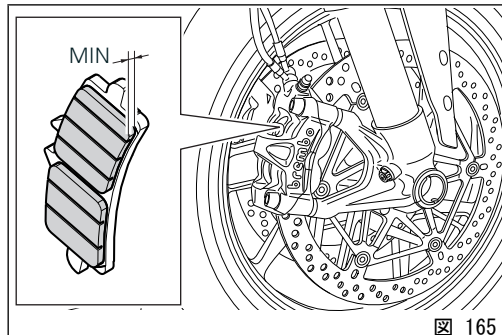


図 165

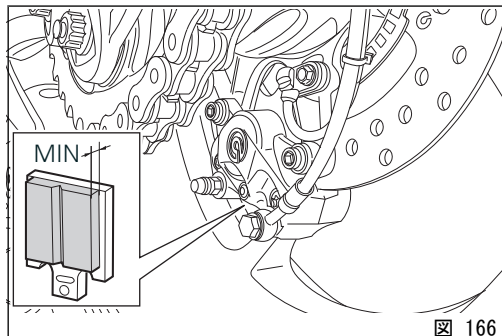


図 166

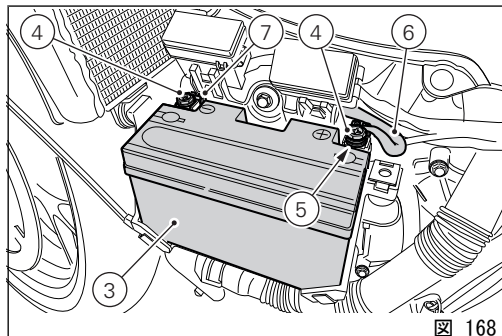
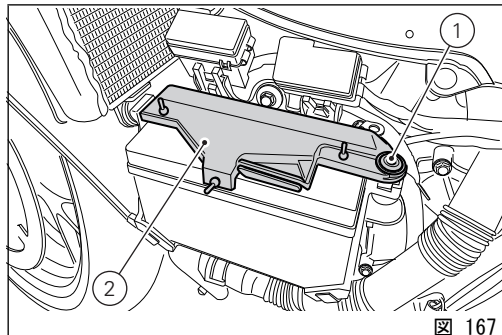
## バッテリーの充電

バッテリーを充電する際は、バッテリーを車両から取り外してください。

左側フェアリングを取り外します（ページ 251）。  
スクリュー（1）を緩め、バッテリーを固定するカバー（2）を取り外します。

所定の位置からバッテリー（3）を抜き取り、陰極端子（-）からスクリュー（4）を緩めます。

陽極ケーブル（5）、ABS 陽極ケーブル（6）を陽極から、陰極から陰極ケーブル（7）を外します。





### 警告

バッテリーは爆発性のガスを発生させます。熱源から遠ざけてください。



### 警告

バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

バッテリーを 0.9A で 5 ~10 時間充電します。  
充電は換気の良い場所で行ってください。  
端子に充電器のコンダクターを接続します。赤い端子がプラス (+)、黒い端子がマイナス (-) です。



### 重要

バッテリーを充電器に接続する前に充電器の電源を入れないでください。接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する恐れがあります。接続は常に赤のプラス (+) 端子から行ってください。

ABS システムの陽極ケーブル (6) を陽極ケーブル (5) の上に置き、スクリュー (4) をその上に差し込みます。

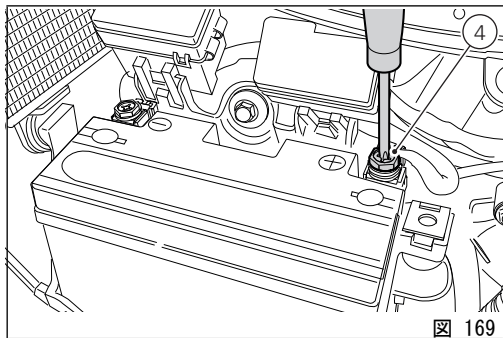


図 169

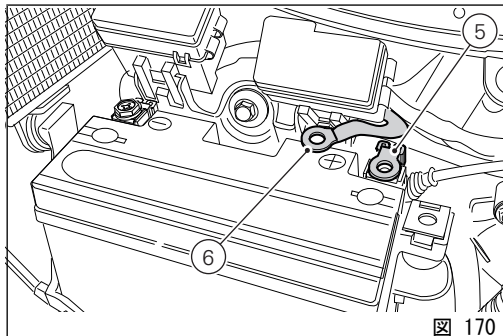
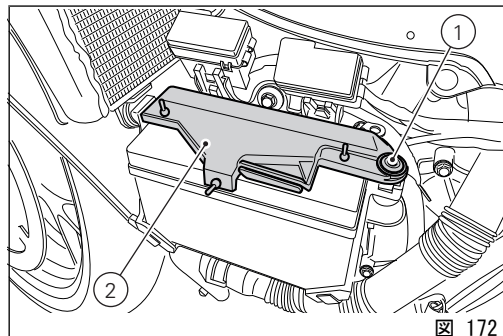
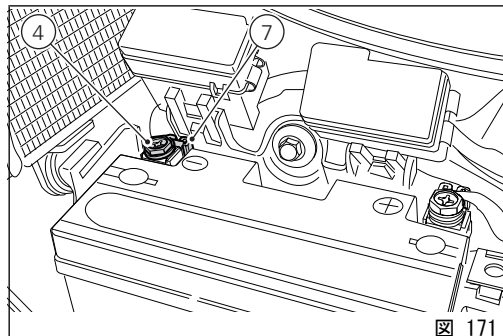


図 170

前もって ABS ケーブル (6) と組み立てておいた陽極ケーブル (5) をバッテリーの陽極に、陰極ケーブル (7) をバッテリーの陰極に接続し、スクリュー (4) を差し込みます。

電極のスクリュー (4) を  $5 \text{ Nm} \pm 10\%$  のトルクで締め付け、酸化を防ぐためにバッテリー電極周辺にグリスを塗布します。

に示す方向にケーブル (5) および (6) を向け、バッテリー (3) をマウントに取り付けます (図 168)。バッテリー固定カバー (2) を取り付け、スクリュー (1) を  $10 \text{ Nm} \pm 10\%$  のトルクで締め付けます。左側フェアリングを取り付けます (ページ 251)。



## バッテリー充電および冬季の断熱

本車両にはコネクター (1) が装備されています。このコネクターには専用バッテリーチャージャー (2) (バッテリーメンテナーキット 部品番号: 69924601A (各国) またはバッテリーメンテナーキット 部品番号: 69924601AX (日本、中国、オーストラリアのみ) を接続することができます。専用バッテリーチャージャーは当社販売店にてお求めいただけます。



### 参考

1299 Panigale の電気システムはエンジン停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。ただし、バッテリーは自然に放電しており、放電量は使用していない期間や環境条件によって変化します。

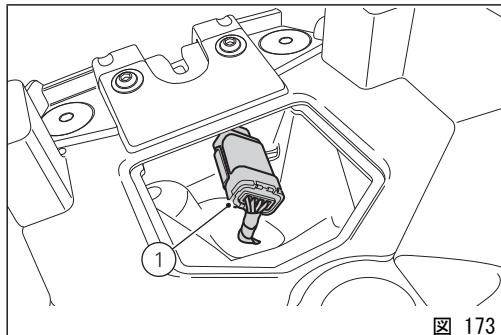


図 173

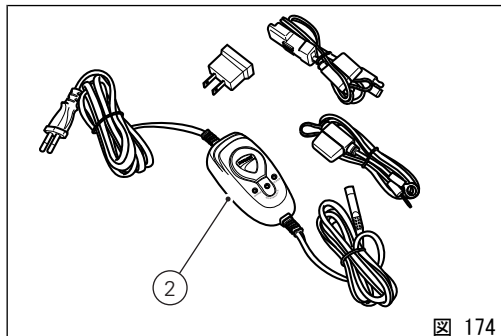


図 174



## 重要

所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、修理が不可能なバッテリーの劣化を招くサルフェーション現象が生じます。



## 参考

車両を使用しない期間（およそ 30 日以上）、Ducati バッテリーメンテナー（バッテリーメンテナーキット、部品番号：69924601A - 多くの国、バッテリーメンテナーキット、部品番号：69924601AX - 日本、中国、オーストラリアのみ）の使用をお勧めします。電力をモニターする内部エレクトロニクスが搭載されており、充電電流は最大 1.5 A/h です。メンテナーを車両後部にある診断ソケットに接続します。



## 参考

Ducati が認可していないバッテリーメンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリーが損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなし保証の対象にはなりません。

## トランスミッションチェーン張力の点検



**重要**

チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を探します。サイドスタンドで車両を支えて駐車します。チェーンの測定位置を指で下に押して放します。

チェーンピンの中心とスイングアームのアルミニウムとの間の距離 (A) を測定します。値 A = 40 ~ 42 mm でなければなりません。



**重要**

この手順は、納車時と同じ標準設定の車両に対してのみ有効です。

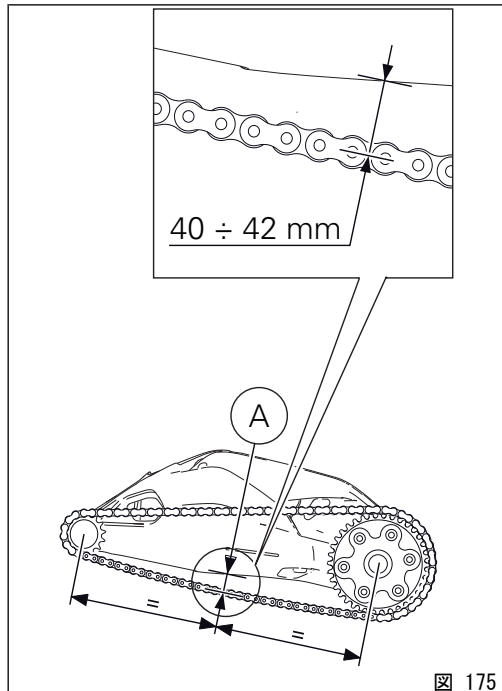


図 175



**⚠ 警告**  
安全な走行状態を維持するには、スイングアームのスクリュー (1) の正しい締め付けが重要です。

**⚠ 重要**  
チェーンの張りが不適切だとトランスミッション部品の磨耗を早めます。

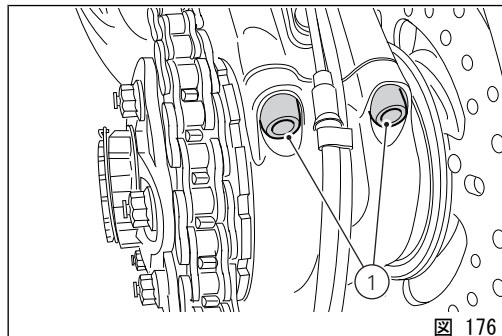


図 176

## チェーンの潤滑

この車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑をより保つ0リングシールの付いたチェーンが装備されています。

チェーンを洗浄する場合には、シールの損傷を防止するため、専用の溶剤を使用して下さい。ウォッシャー等でスチームや圧力のかかった水で洗浄しないで下さい。

洗浄後は、コンプレッションエアでチェーンを乾かし、SHELL Advance ChainまたはAdvance Teflon Chainで潤滑します。



### 重要

規定以外の潤滑剤を塗布すると、チェーン、フロント/リアスプロケットに損傷を与えるおそれがあります。

## ハイ/ロービーム電球の交換

切れた電球を交換する前に、新しい電球が ページ 294 の“電気システム”の段落に記載されている電圧、電力と同じであることを確認してください。

取り外した部品を再度取り付ける前に、必ず新しく取り付けた電球の機能を点検してください。図にはロービーム (LO)、ハイビームランプ (HI)、LED パーキングランプ (1) の位置が示されています。

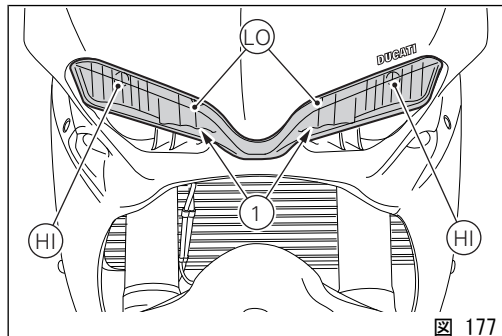


図 177

## ヘッドランプ

左の電球を交換します。  
ランプ上部のロックナットを反時計回りに回転させ、切れた電球を取り外します。  
同じ品質の新しい電球と交換します。取り付けの際、ロックナットを時計回りに回転させ、電球を固定します。  
左の電球の交換と同様の方法で右の電球を交換します。

### 重要

ヘッドランプの電球を交換する際、ヘッドランプ自体からメインケーブルの電線を切り離す必要はありません。

### 参考

レンズの部分は絶対に指で触れないでください。電球の光度が落ちる原因となります。

### 警告

雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

## パーキングランプ電球の交換

パーキングランプは LED 電球ですのでメンテナンスの必要はありません。

## リアターンインジケーター

ターンインジケーターランプはLED電球なのでメンテナンスの必要はありません。

## ヘッドランプの光軸調整

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員 1 名がシートに乗った状態で、車両を壁面またはスクリーンの前 10 メートルの場所で縦軸に対して垂直に立て、ヘッドライトが正しい向きになっていることを確認します。壁にヘッドライトの中心と同じ高さで水平に線を引き、車体の縦軸に対応する垂直線も引きます。この点検は薄暗い場所で行ってください。ロービームランプを点灯し、左右の光軸調整を行います。照射領域の上限が、床面からヘッドライトの中心までの高さの  $\frac{9}{10}$  以下でなければなりません。

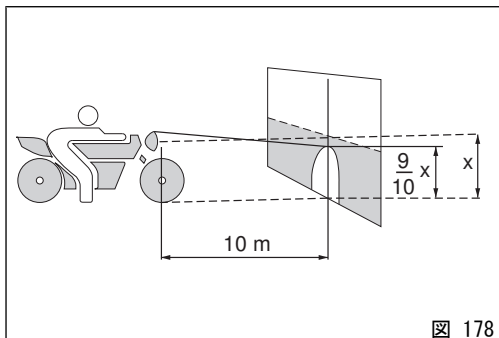


図 178



**参考** この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法律に従い光軸調整を行ってください。

ヘッドランプの垂直方向の光軸調整を行うには、車両前部、左右に設けられたスクリュー (1) を回します。



**警告**

雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

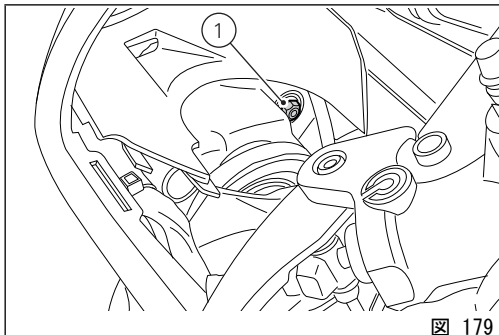


図 179

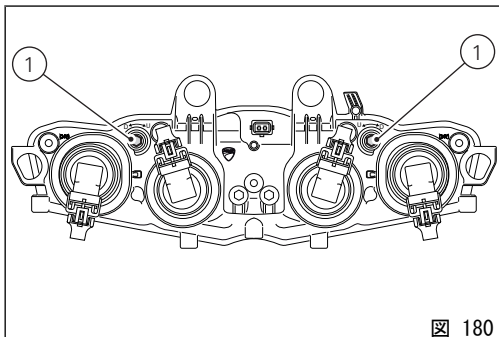
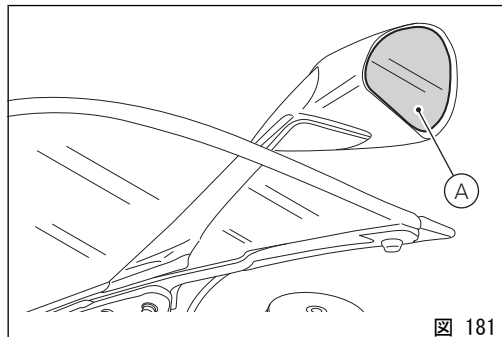


図 180

## リアビューミラーの調整

(A)を手で押し、ミラーを調整します。



## チューブレスタイヤ

フロントタイヤ空気圧：

2.3 bar (ライダーのみ) - 2.5 bar (ライダーおよびパッセンジャー)

リアタイヤ空気圧：

2.1 bar (ライダーのみ) - 2.5 bar (ライダーおよびパッセンジャー)

タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化します。標高の高い場所や気温差のある場所を走行する時は、その都度点検と調整を行ってください。



### 重要

タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してください。フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2~ 0.3 bar 上げてください。

## タイヤの修理、交換 (チューブレス)

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかることがあります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、パンクの可能性をチェックします。



### 警告

パンクしたタイヤは交換してください。交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダー、パッセンジャーに重大な危険を及ぼすおそれがあります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を行ってください。



### 警告

ホイールのバランスウェイトを外したり、移動させたりしないでください。



### 参考

タイヤの交換ではホイールを正しく着脱することが重要です。タイヤ交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。ホイールにはセンサー、フォニックホイールなどの ABS システム部品が装着されており、特別の調整が必要になります。



## タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所（S、図 182）の溝の深さを測定します。溝の深さは 2 mm 以上でなければならず、また現地法で定められた規定値以下であってはなりません。



### 重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

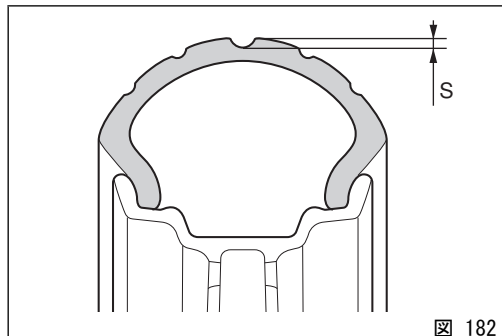


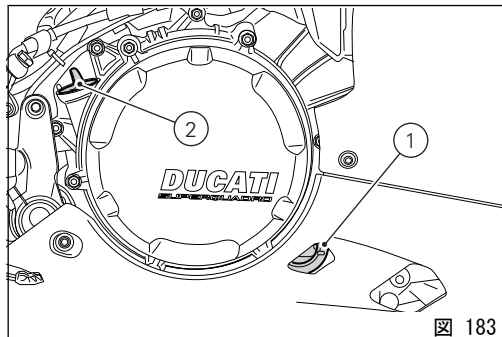
図 182

## エンジンオイルレベル点検

エンジンオイルの量は、クラッチカバーにある点検窓 (1) から見るができます。レベルチェックは車体を垂直に配置し、エンジン冷間時に行ってください。オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイルを補充してください。

ドゥカティ社推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 です。または、同じ粘度分類 SAE 15W-50 のバイク用エンジンオイルで規格 JASO : MA2、API : SM。

フィルターキャップ (2) を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。プラグを取り付けます。



### **!** 重要

保証書に記載されている定期点検表に従い、エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

## オイルに関する推奨事項

以下を満たすオイルの仕様が推奨されます。

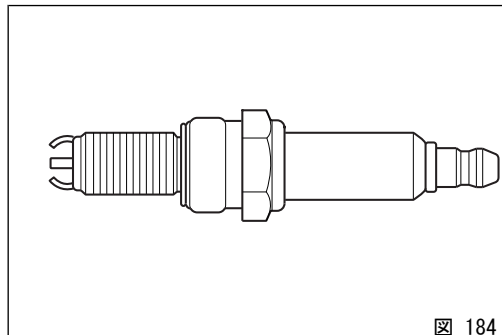
- 粘度分類 SAE 15W-50
- API 規格：SM
- JASO 規格：MA2。

SAE 15W-50 は英数字のコード番号で、粘度を基にオイルの分類を特定し、W で分けられた 2 つの数字であらわされます。最初の数字は低温でのオイルの粘度を表し、二番目の数字は高温での粘度を表します。API（米国での分類）および JASO（日本標準）は、オイルが有する特徴を表します。

## スパークプラグの清掃と交換

スパークプラグはエンジンの重要な部品ですので、定期的な点検が必要です。

スパークプラグの交換が必要な場合は、ディーラーまたはDucati サービスセンターにご連絡下さい。



## 車両の清掃

塗装部分とメタリック部分の本来の艶を長期間保つため、走行する道路の状態に合わせて、車両を定期的に清掃、洗車しなければなりません。車両に損傷を与えないように、強力な洗剤や溶剤を使用せず、専用の洗剤と水を使って洗車します。

プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤をお使いください。

定期的にアルミニウム製部品を手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。

## 参考

研磨材付きスポンジやスチールウールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象になりません。



## 重要

走行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。洗車には温水ジェットや高圧洗浄機を使用しないでください。

洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装システム、フォークガスカート、エアインテーク、エキゾーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結露（くもり）を引き起こし、結果として車両の安全性を損ねるおそれがあります。

エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トランスミッション系統（チェーン、フロント/リアスプロケット等）に脱脂剤が付着しないように注意してください。

水道水で良くすすぎ、車体全表面部をセーム革で拭きます。



## 警告

洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあります。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるおそれがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。



## 警告

洗淨、雨、湿気などにより、ヘッドランプレンズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABSシステムが効率よく作動するように、フォニックホイールを入念に清掃してください。ホイールやセンサーをいためますので、強い洗剤、溶剤の使用は避けてください。



## 参考

インストルメントパネルの清掃には、アルコールやアルコール由来の製品を使用しないでください。

ビレットアルミ製の部品があるのでホイールリムの清掃には細心の注意を払ってください。車両を使用する度に清掃し水分を拭き取ってください。

## 長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお勧めします。

- 接続を切り離し、バッテリーを取り外します。バッテリーメンテナーで定期的に充電します（ページ 261 参照）。
- 結露を防止し塗装を保護するため、車体はカバーで覆います。車体カバーは Ducati Performance にて取り扱っております。
- 車両の清掃
- 燃料タンクを空にします。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。

## 重要注意事項

国によっては(フランス、ドイツ、イギリス、ヨーロッパ、スイス等)排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。

法規に義務付けられた定期点検を行う他、規制に適合しない部品がある場合は、適合するDucatiオリジナルパーツと取り替えて下さい。

# メンテナンスプログラム

## メンテナンスプログラム：ディーラーで行うメンテナンス



### 警告

このメンテナンスプログラムは 1299 Panigale の公道での使用を想定しています。サーキットで使用する場合、競技でなくても車両のすべてのシステムに多大な負荷がかかりますので、定期点検をより頻繁に行う必要があります。



### 警告

1299 Panigale を競技で使用するためのパーソナルアドバイスをお受けになりたい場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
DDS 2.0 による不具合メモリー読取り、コントロールユニットのソフトウェアバージョンの更新確認		●	●	●	●	●	12
テクニカルアップデートおよびリコールの有無の確認		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルおよびフィルターの交換		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルインテークメッシュフィルターアセンブリの交換				●		●	-
バルブクリアランスの点検と調整				●		●	-
チェーンタイミングシステムの摩耗の目視点検						●	-



メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
スパークプラグの交換				●		●	-
エアフィルターの清掃			●		●		-
エアフィルターの交換				●		●	-
クラッチカバー、クラッチプロテクションカバーを固定しているスクリュウの締め付け点検			●	●	●	●	-
オイルパンを固定しているスクリュウの締め付け点検				●		●	-
ブレーキ/クラッチフルードレベルの点検		●	●	●	●	●	12
ブレーキ/クラッチフルードの交換							24
ブレーキパッドの点検。必要な場合は交換		●	●	●	●	●	12
ブレーキキャリパー、ブレーキディスクフランジスクリュウの締め付け点検		●	●	●	●	●	12
フロント、リアホイールナットの締め付け点検		●	●	●	●	●	12
ホイールハブベアリングの点検				●		●	-
リアホイールシャフトの点検と潤滑				●		●	-
リアスプロケットのダンパーの点検				●		●	-
ファイナルドライブのリアスプロケットのナット、フロントスプロケットのナット締め付け点検		●	●	●	●	●	12
ドライブチェーンスライダの摩耗点検		●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
ドライブチェーン張力の点検と潤滑		●	●	●	●	●	12
冷却水-オイル熱交換器の固定スクリュ-締め付け点検		●	●	●	●	●	-
ステアリングベアリングの点検と潤滑				●		●	24
フロントフォークオイルの交換							36
フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検		●	●	●	●	●	12
フレーム-エンジン、スイングアームの締め付け点検			●	●	●	●	-
サイドスタンドの作動、締め付け点検		●	●	●	●	●	12
フューエルホースの目視点検			●	●	●	●	12
フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊びと動作、取り付け位置の目視点検		●	●	●	●	●	12
ハンドルレバー、ペダルコマンドの潤滑			●	●	●	●	12
クーラントの交換						●	48
クーラントレベルの点検		●	●	●	●	●	12
電動ファンの作動点検		●	●	●	●	●	12
タイヤ空気圧、磨耗点検		●	●	●	●	●	12
バッテリー充電レベルの点検		●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
アイドリング点検		●	●	●	●	●	12
セカンダリーエアシステムの機能点検				●		●	-
電気安全装置の作動点検 (サンドスタンドセンサー、フロント/リアブレーキスイッチ、エンジン停止スイッチ、ギア/ニュートラルセンサー)		●	●	●	●	●	12
ランプ、インジケータ類の機能点検		●	●	●	●	●	12
DDS 2.0 を介したサービスインジケータのリセット		●	●	●	●	●	-
セーフティデバイス (ABS、DTC など) のテストを兼ねた路上でのテスト走行		●	●	●	●	●	12
車両のソフトクリーニング		●	●	●	●	●	12
定期点検実施の車載書類 (サービスブック) への記入		●	●	●	●	●	12

## メンテナンスプログラム：お客様が行うメンテナンス



### 重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *)	Km x1000	1
	マイル x1000	0.6
	月	6
エンジンオイルレベルの点検		●
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		●
タイヤ空気圧、磨耗点検		●
チェーン張力の点検と潤滑必要であれば正規ディーラーにお越しいただき調整を行ってください。		●
ドライブチェーンおよびリアsprocketの摩耗点検。必要であれば、ディーラーにて交換してください。		●
ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。		●

\* 走行距離 (km, mi) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

# テクニカルデータ

## 重量

総重量(燃料93/93/CEを90%入れた状態の走行時):

190.5 kg。

総重量(液体及びバッテリーを含まない): 166.5

kg。

最大許容重量(最大負荷): 370 kg。



## 警告

重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

# 寸法

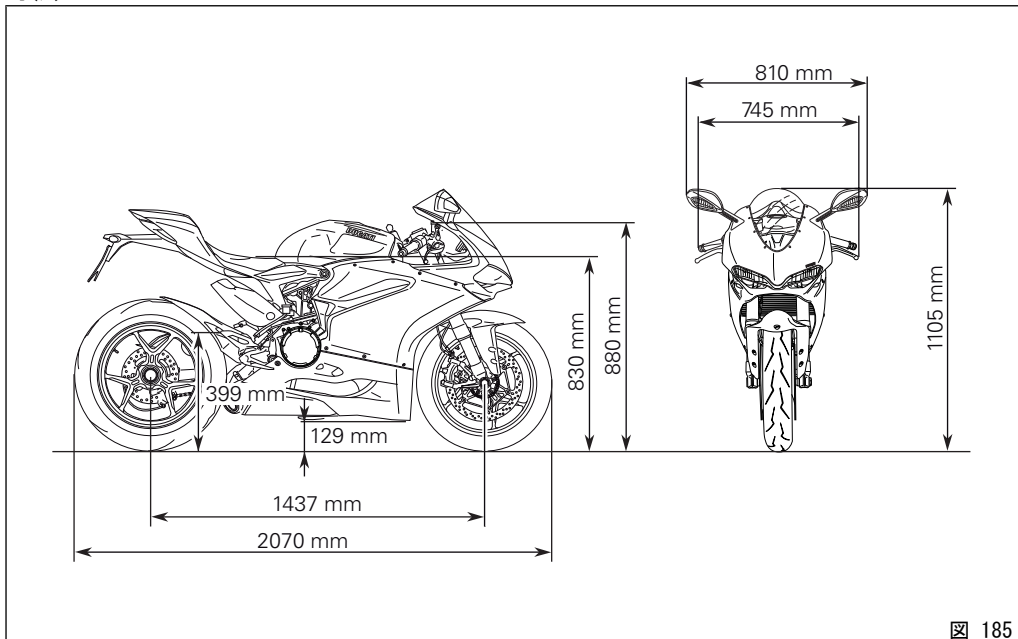


图 185

## 給油

### 補給

### タイプ

燃料タンク、リザーブ 5 リットルを含む	オクタン価 95 以上の無鉛ガソリン	17 リットル
エンジンクランクケースおよびフィルタ	ドゥカティ社推奨オイルは Shell Advance 3.7 リットル 4T Ultra 15W-50 です。または、同じ粘度分類 SAE 15W-50 のバイク用エンジンオイルで規格 JASO : MA2、API : SM。	
フロント/リアブレーキシステム、クラッチ	SHELL Advance Brake DOT 4	-
電極保護液	SHELL Advance Contact Cleaner	-
フロントフォーク	SHELL Advance Fork 7.5 または Donax TA 155 cc (各レッグ)	
冷却システム	不凍液 ENI Agip Permanent Spezial (薄 2.3 リットル 毎に使用)	



### 重要

燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないでください。このような燃料を使用すると、エンジンや車両の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。



## 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。



## エンジン

4 ストローク 90° “L” 型 2 気筒、低タンクダイキ  
キャストクランクケース

ボア mm : 116

ストローク mm : 60.8

総排気量、cm<sup>3</sup> : 1285

圧縮比 : 12.5 ± 0.5:1

## タイミングシステム

チェーンおよびスプロケット駆動ダブルオーバーヘッドカムシャフト、シリンダーごとに 4 バルブ、デスモドロミックシステム

### デスモドロミックタイミングシステム

- 1) オープニング（アッパー）ロッカーアーム
- 2) オープニングロッカーシム
- 3) クロージング（ロア）ロッカーシム
- 4) ロッカーアームリターンスプリング
- 5) クロージング（ロア）ロッカーアーム
- 6) カムシャフト
- 7) バルブ

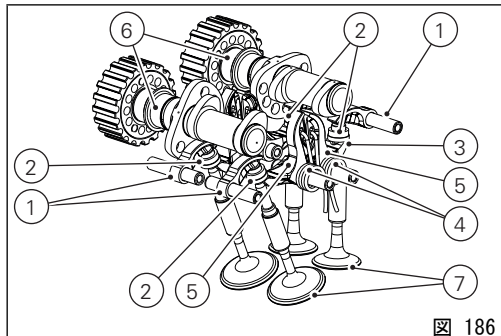


図 186

## 性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を正しく行い、適切な規定点検整備を受けた場合のみ出すことができるようになります。



### 重要

これらの条件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducati モーターホールディング社は一切責任を負うものではありません。

## スパークプラグ

メーカー：

NGK

タイプ：

MAR9A-J

## 燃料供給

MITSUBISHI 製間接式エレクトロニックインジェクションシステム タイプ：

Alpha/N およびスピードデンシティ方式

楕円スロットルボディ（相当径）：

67.5 mm

シリンダーごとのインジェクター数：2

インジェクター孔数：12

ガソリン燃料：95-98 RON



### 警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

## ブレーキ

各ブレーキのアンチブロックシステムは、両タイヤに搭載されたホール効果センサーで制御されます。ABS解除が可能。

### フロント

穴付きセミフローティングダブルディスク。

ブレーキシュー材質：スチール。

ハウジング材質：アルミニウム

ディスク径：330 mm

右側ハンドルレバーによる油圧コントロール。

ブレーキキャリパーメーカー：BREMBO。

タイプ：M50（キャリパー径 30）。

摩擦素材：TT2910 HH。

ポンプタイプ：PR16/21。

リア

穴付き固定ディスク、スチール製。

ディスク径：245 mm。

車体右側ペダルによる油圧コントロール。

メーカー：BREMBO

タイプ：P34c（ピストン付きキャリパー  $\varnothing$  34）。

摩擦素材：ライニング Ferit I/D 450 FF。

ポンプタイプ：PS 13。

3 速 18/27

4 速 20/25

5 速 22/24

6 速 24/23

チェーンによるギアボックスとリアホイール間の駆動伝達

メーカー：REGINA

リンク数：106



### 警告

ブレーキフルードは腐食性があります。

万一目に入ったりに肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。



### 重要

上記のギア比は認可時の値ですので、いかなることもあっても変更してはいけません。

## トランスミッション

湿式クラッチ、左ハンドルレバーによる操作

エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝達。

エンジンプロケット/クラッチプロケット比：

30/53

6 速コンスタントギア、車体左側ペダルによる操作

ギアプロケット/リアプロケット比：15/39

変速比：

1 速 15/37

2 速 16/30

この車両を競技用に仕様変更を望まれるお客様に、Ducati モーターホールディング社から特別なギア比に関する情報を提供することが可能です。Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。



## 警告

リアスプロケットの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

この部品の誤った交換は、ライダーおよびパッセンジャーの安全に深刻な危険をもたらす、車両に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

## フレーム

アルミニウム合金キャスト製モノコックフレーム

アルミニウム合金キャスト製リアサブフレーム

キャスト角：24°

ステアリングアングル：左側 27° / 右側 27°

トレール：96 mm

## ホイール

フロント

3スポーク軽合金鍛造リム。

寸法：MT3.50x17"

リアサスペンション

3スポーク軽合金鍛造リム。

寸法：MT6.00x17"

## タイヤ

フロント

"チューブレス"ラジアルタイヤ。

寸法：120/70。

リアサスペンション

"チューブレス"ラジアルタイヤ。

寸法：200/55。

## サスペンション

フロント

プリロード(フォークインナーสปリング)及びリバウンド/コンプレッションの外部調整システム付き油圧倒立フォーク

スタンションチューブ径：

TIN加工 50 mm。

ホイールトラベル

120 mm

リアサスペンション

ショックアブソーバーは、リバウンド、コンプレッションダンピング、スプリングプリロードの調整が可能です。

ショックアブソーバーはエンジンクランクケースに対しては前部に、ロッカーアームに対しては後部に支点があります。

フォークはエンジンを通る支点ピンの周りを回転します。このシステムは車両に高い安定性をもたらします。

ホイールトラベル

130 mm

### エキゾーストシステム

ダクトレイアウト “2 in 1 in 2”。  
ステンレス製サイレンサー2つ及びアルミニウム合  
金製アウタージャケット。  
ラムダセンサー2つ、触媒2つ。

### カラーバリエーション

Ducati アニバーサリーレッド  
ベースプライマー アクリフレックスホワイト、部品  
番号 : L00440652 (Lechler)  
Ducati レッドベース、部品番号 : 473.101 (PPG)  
クリアー、部品番号 : 228.880 (PPG)  
レッドフレーム、ブラックホイール。

## エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです。

ヘッドライトタイプ：

H11 12V 55W 電球（ロービーム） 2 個

H11 12V 55W 電球（ハイビーム） 2 個

パーキングランプタイプ：

LED SEOUL STW8Q14B Bin A 8 個

テールライトタイプ：

LED REBEL LXM2-PH01-0060 2 個

LED ストップランプタイプ：

LED LA G6SP-CBEA-24-1 8 個

LED ナンバープレートランプタイプ：

LED CREE CLA1A-WKW-CXAYB453 3 個

ハンドル上スイッチ

LED フロントターンインジケータタイプ：

LED OSRAM LYE6SF-ABBB-45 PLCC4 15 個

LED リアターンインジケータ（ヨーロッパパージ

ョン）タイプ：

LED CREE 4 個

警告ホーン

ストップランプスイッチ

バッテリー12 V - 6.5 AH 密閉タイプ

システム電圧 12 V

ジェネレーター 12V-380W

電子レギュレーターは 30A ヒューズで保護されています。バッテリー（G、図 189）下のスターターコンタクター上に配置されています。

スターターモーター：12V-0.6 kW

リアターンインジケータランプ（USA パージョン）：RY10W（12V-10W）オレンジ色



## 参考

電球の交換は、“ハイ/ロービーム電球の交換”を参照してください。

## ヒューズ

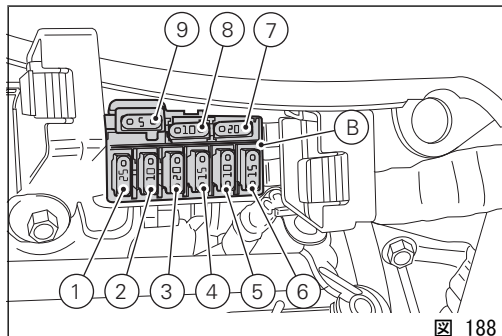
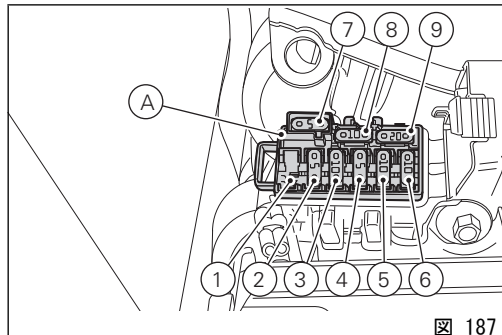
電装品の保護ヒューズはフロントヒューズボックス内に 12 個、スターターコンタクター上に 1 個あります。各ヒューズボックス内には予備ヒューズが 1 個あります。

ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を参照してください。

左フロントヒューズボックス (A、図 187) および右フロントヒューズボックス (B、図 188) は、バッテリー上に配置されています。

ヒューズの作業をするには左フェアリングを取り外します (ページ 251)。

ヒューズを交換するには、各ヒューズの配置と定格が表記された保護カバーを外します。





左フロントヒューズボックス凡例		
配置	保護装置	容量
1	-	-
2	IMU	5 A
3	Key-sense	10 A
4	診断	5 A
5	スロットルオープンリレー (ETV)	10 A
6	インストルメントパネル	10 A
7	スペア	5 A
8	スペア	10 A
9	スペア	20 A

右フロントヒューズボックス凡例		
配置	保護装置	容量
1	ABS 2	25 A
2	ABS 1	10 A
3	インジェクションリレー	20 A

右フロントヒューズボックス凡例		
4	ランプ	15 A
5	エンジンコントロールユニット	10 A
6	Black Boxシステム (BBS)	15 A
7	スペア	20 A
8	スペア	10 A
9	スペア	5 A

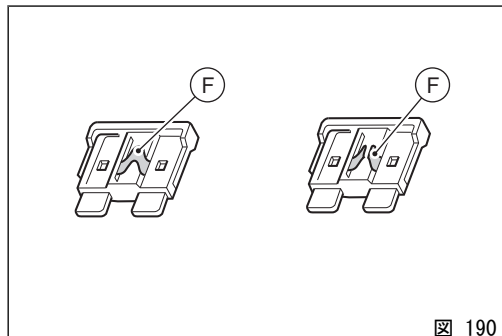
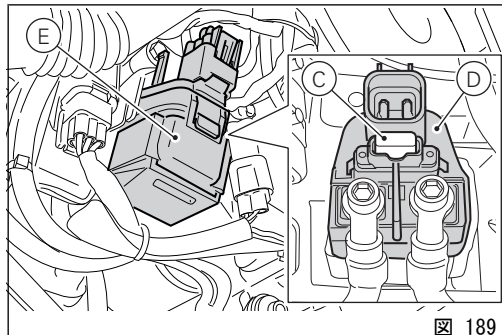
メインヒューズの作業をおこなうには、左フェアリングを取り外します (ページ 251)。  
メインヒューズ (C、図 189) はバッテリー近く、スターターモーター (D、図 189) 上に設置されています。ヒューズの作業をおこなうには、保護キャップ (E、図 189) を取り外します。切れたヒューズは、インナーフィラメント (F、図 190) が溶断しているかどうかで確認することができます。

### 重要

回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。

### 警告

表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないでください。上記事項を守らなかった場合、電気システムへの損傷や火災を引き起こすおそれがあります。



## インジェクション/電気システム配線図凡例

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1) ハンドルバー右側スイッチ        | 24) ギアセンサー            |
| 2) E-Lock コントロールユニット   | 25) リアスピードセンサー        |
| 3) E-Lock リレー          | 26) フロントスピードセンサー      |
| 4) ヒューズボックス 1          | 27) パーチカルコイル          |
| 5) ヒューズボックス 2          | 28) ホリゾンタルコイル         |
| 6) エンジンコントロールユニット      | 29) エンジン回転数/タイミグセンサー  |
| 7) APS センサー            | 30) パーチカルラムダセンサー      |
| 8) スターターモーター           | 31) ホリゾンタルラムダセンサー     |
| 9) ヒューズコンタクター          | 32) クイックシフト           |
| 10) バッテリー              | 33) オイル圧センサー          |
| 11) エンジンアース            | 34) リアストップスイッチ        |
| 12) レギュレーター            | 35) サイドスタンドスイッチ       |
| 13) ジェネレーター            | 36) クラッチスイッチ          |
| 14) ファン                | 37) フロントストップスイッチ      |
| 15) 右リアターインジケーター       | 38) フューエルポンプリレー       |
| 16) テールライト             | 39) パーチカル ETV リレー     |
| 17) 左リアターインジケーター       | 40) ホリゾンタル ETV リレー    |
| 18) ナンバープレートランプ        | 41) パーチカル MAP センサー    |
| 19) 診断コネクター            | 42) ホリゾンタル MAP センサー   |
| 20) フューエルポンプ           | 43) クーラント温度センサー       |
| 21) 燃料レベル              | 44) 気温センサー            |
| 22) 車両コントロールユニット (BBS) | 45) ホリゾンタル TPS        |
| 23) EX-UP モーター         | 46) パーチカル TPS         |
|                        | 47) ホリゾンタルメインインジェクター  |
|                        | 48) ホリゾンタルアッパーインジェクター |
|                        | 49) パーチカルメインインジェクター   |

- 50) パーチカルアッパーインジェクター
- 51) ホリゾンタル ETV モーター
- 52) パーチカル ETV モーター
- 53) セカンダリーエアアクチュエーター
- 54) ABS コントロールユニット
- 55) ハンドルバー左側スイッチ
- 56) ハイビームランプ
- 57) ロービームランプ
- 58) パーキングランプ
- 59) 警告ホーン
- 60) 慣性センサー
- 61) 左フロントターンインジケーター
- 62) インstrumentパネル
- 63) 右フロントターンインジケーター
- 64) ロービームランプ
- 65) ハイビームランプ
- 66) ロービームランプリレー
- 67) ハイビームランプリレー

- R 赤
- Lb ライトブルー
- Gr グレー
- G 緑
- Bn 茶
- O オレンジ
- P ピンク



参考

配線図はマニュアルの最後部にあります。

#### 配線カラー表

- B 青
- W 白
- V 紫
- Bk 黒
- Y 黄

# 定期点検メモ

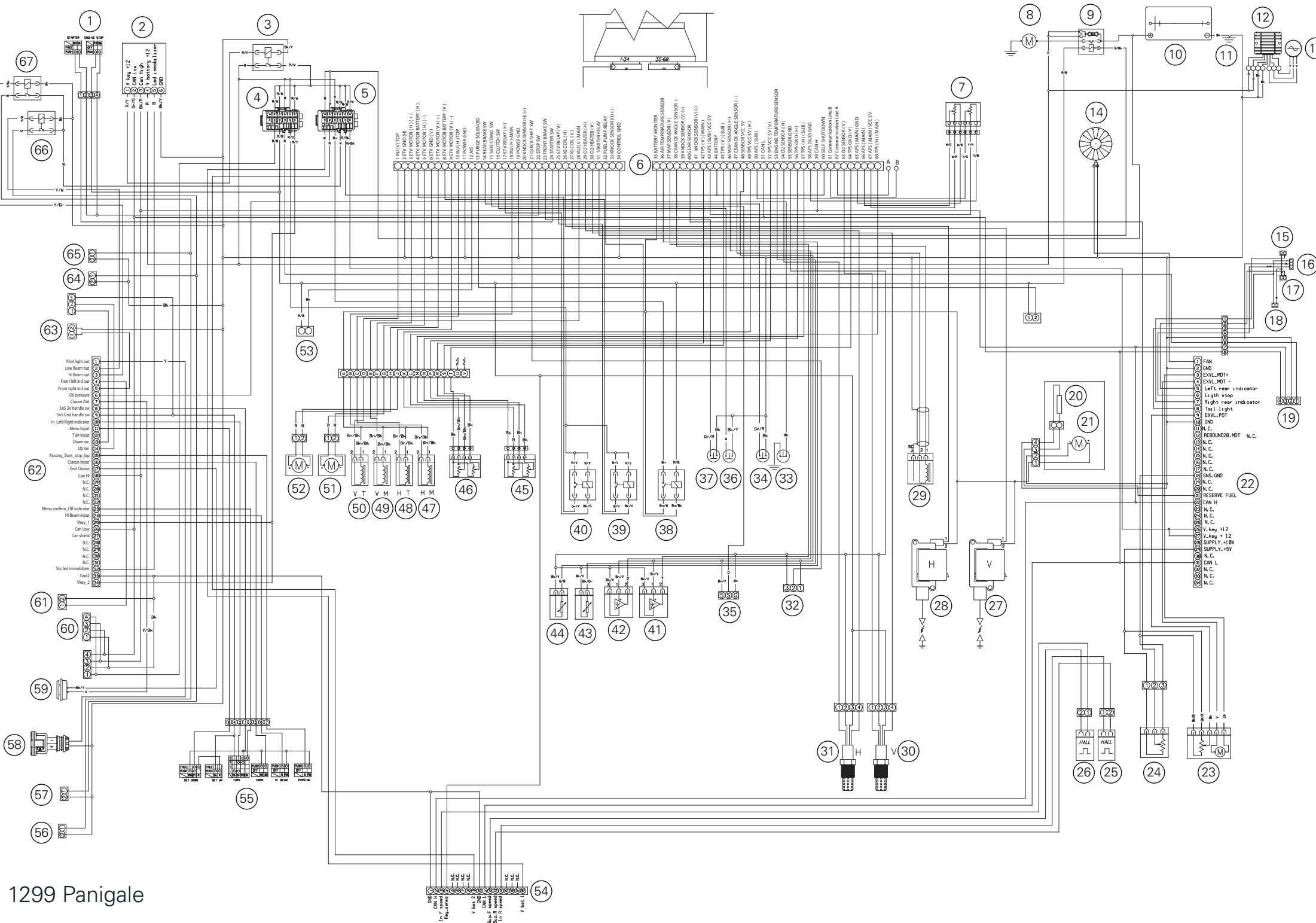
## 定期点検メモ

km	名前 ドゥカティ・サービス	走行距離	実施日
1000			
12000			
24000			
36000			
48000			
60000			



Stampato 09/2016

Cod. 913.7.313.1B





Ducati Motor Holding spa  
[www.ducati.com](http://www.ducati.com)

Via Cavalieri Ducati, 3  
40132 Bologna, Italy  
Ph. +39 051 6413111  
Fax +39 051 406580

A Sole Shareholder Company  
subject to the Management and  
Coordination activities of AUDI AG